

brother

ファクシミリ取扱説明書 FAX-1100CL/CLW

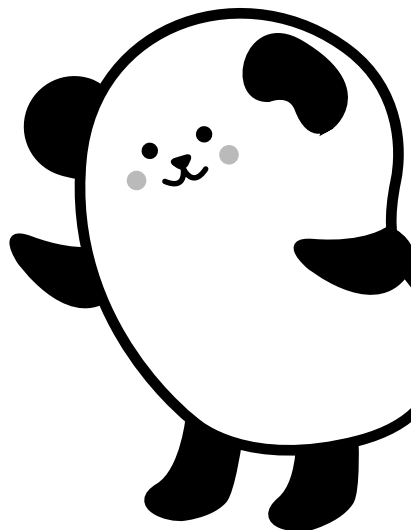
本書をよくお読みになって製品をご利用ください。

brother

ファクシミリ

FAX-1100CL/CLW

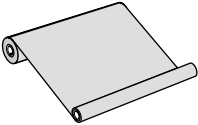
取扱説明書



1章	ご使用の前に		▶
2章	電話		▶
3章	ファクス		▶
4章	コピー		▶
5章	オプション サービス		▶
6章	活用する		▶
7章	こんなときには		▶
8章	付録		▶

お客様相談窓口 0120-161170
本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。
受付時間 午前9:00～午後7:00
営業日 月曜日～土曜日（日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。）

インクリボンは「当社指定」のものをお買い求めください。
（詳しくは、115、139ページをご覧ください）



本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

特長

環境にやさしいペーパーレス
「みるだけ受信」



ファクスが届いたらディスプレイで確認できます。印刷することもできますが、見るだけですませることもできるので紙とインクリボンのむだになりません。(☞ 54ページ)

わかりやすい操作ガイド表示
文字サイズが選べる電話帳画面



約6×8cmの液晶ディスプレイで操作の状況や、次に何をやるのかがわかりやすく表示されます。(☞ 7ページ) 電話帳表示では、お好みに合わせて大・中・小の文字サイズが選べます。(☞ 8ページ) 通信結果や、リボンの残量などもピクト(絵文字)でわかりやすくお知らせされます。

バリエーション豊富。
4和音着信・保留メロデト



親機に50曲、子機に3曲の着信メロディがセットされています。(☞ 86ページ)

子機には、親機に登録されている50曲の中から好きなメロディを転送し、着信メロディとして使うことができます。(☞ 87ページ)

※子機は単音メロディです。

ピクト付4行ディスプレイ付きコードレス子機
(文字3行+ピクト1行)
子機間通話(トランシーバー方式)対応



FAX-1100CLWをお使いの場合や、子機を増設しているときは、子機どうして通話(トランシーバー方式)ができます(☞ 43ページ)。

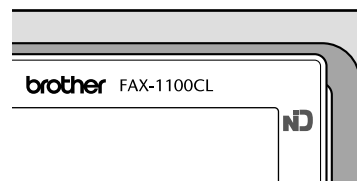
子機の電話帳には電話番号が100件まで登録できます。また、バックライト付の明るい液晶部分を見ながら簡単に検索することができます。

豊富なオプション類。



別売の専用ケーブルを使うと、携帯電話と電話帳データを交換することができます。対応機種など、詳しくは101ページを参照してください。

NTTの「ネーム・ディスプレイ」に対応
(親機のみ)



電話をかけてきた相手の電話番号だけでなく、名前も表示されるサービス「ネーム・ディスプレイ」(平成14年7月サービス開始予定☞ 69ページ)に対応しています。※「ナンバーディスプレイ」のご契約と、「ネーム・ディスプレイ」のご契約が必要です。(有料) ※相手の名前を本機の電話帳に登録していなくても表示されます。 ※子機は対応していません

目次

■ 安全にお使いいただくために i

1章 ご使用の前に 1

■ 付属品を確認する 2

■ 各部の名称とはたらき (親機) 3

- ・ 正面図 3
- ・ 背面図 3
- ・ ハンドスキャナーの取り付け、取り外し 4
- ・ ハンドスキャナー 4
- ・ 操作パネル 5
- ・ ディスプレイ 7
- ・ ディスプレイと操作のしかた 7
- ・ ディスプレイの文字サイズ 8

■ 各部の名称とはたらき (子機) 9

- ・ 正面図 9
- ・ ディスプレイ 9

■ 親機を準備する 10

- ・ 原稿受けと記録紙トレイを取り付ける 10
- ・ 接続する 10
- ・ 回線種別をチェックする (自動) 11
- ・ 手動で回線種別を設定する 12
- ・ 接続に関する制限事項を確かめる 13
- ・ 記録紙をセットする 14
- ・ 記録紙について 14

■ 子機を準備する 15

■ 初期設定をする 17

- ・ 現在の日付と時刻を設定する 17
- ・ 名前とファクス番号を登録する 18
- ・ 音量を設定する 19

■ 受信のしかた 21

- ・ 留守にするとき 21
- ・ 家にいるとき 22

■ 文字の入れかた (親機) 23

- ・ 入力できる文字と入力制限 23
- ・ 入力画面とボタン操作 24
- ・ 入力例 24

■ 文字の入れかた (子機) 25

- ・ 入力できる文字と入力制限 25
- ・ 入力画面とボタン操作 26
- ・ 入力例 26

2章 電話 27

■ 基本的なかけかた / 受けかた 27

■ いろいろなかけかた / 受けかた (親機) .. 29

- ・ 名前で検索してかける 29
- ・ 受話器をとらずにかける 29
- ・ 最後にかけた相手にかける 29
- ・ 最近かけた相手にかける 30
- ・ 最近かかってきた相手にかける 30
- ・ 受話器をとらずに受ける 30
- ・ 「はい」と返事するだけで受ける 30

■ いろいろなかけかた / 受けかた (子機) .. 31

- ・ 名前で検索してかける 31
- ・ 子機を置いたままかける 31

- ・ 最後にかけた相手にかける 31
- ・ 連続再ダイヤル 31
- ・ 最近かけた相手にかける 32
- ・ 最近かかってきた相手にかける 32
- ・ 子機を置いたまま受ける 32

■ 電話帳に登録する 33

- ・ 親機の電話帳 33
- ・ 子機の電話帳 35
- ・ 電話帳転送 37

■ ハンズフリーで電話を受ける 39

- ・ ハンズフリーで電話を受ける 39
- ・ ハンズフリー着信を設定する 40

■ 通話のときは 41

- ・ 電話を取り次ぐ 41
- ・ 通話を切り替える 41
- ・ 通話を録音する 41
- ・ 通話を保留にする 42

■ 内線で話す 43

- ・ 親機と子機で話す 43
- ・ 子機と子機で話す 43
- ・ 親機から子機へ呼びかける 43

■ 留守番機能を利用する 45

- ・ 出かけるとき 45
- ・ 帰ってきたとき 46

■ 外出中の便利な使いかた 47

- ・ 暗証番号設定 47
- ・ リモコンアクセス 47
- ・ 留守録転送 49
- ・ ファクス転送 49

3章 ファクス 51

■ ファクスを送る 52

- ・ ファクスだけをすぐに送る 52
- ・ 話しをしてから送る 52

■ ファクスを受ける 53

- ・ 自動的に受ける 53
- ・ 子機で受ける 53
- ・ 電話に出てから受ける 53
- ・ 受けた内容をディスプレイで見る (みただけ受信) / 印刷する 54

■ いろいろな送りかた 55

- ・ 電話予約 55
- ・ タイマー送信 55
- ・ 海外送信 55
- ・ 送付書送信 57
- ・ メモリー送信 59
- ・ 一括送信 59
- ・ 送信設定の解除 59
- ・ ハンドスキャナーで読み取った内容を送信 59

■ いろいろな受けかた 61

- ・ 親切受信 61
- ・ A4自動縮小受信 61
- ・ みただけ受信 61
- ・ ポーリング受信 61

4章 コピー.....63**■ コピーする.....63**

- ・ こんなコピーができます.....63
- ・ コピーする.....64

■ ハンドスキャナーを使う.....65

- ・ ハンドスキャナーで原稿を読み取る.....65
- ・ ハンドスキャナーで読み取った内容を印刷する
(画面で確認する).....66

5章 オプションサービス.....67**■ ナンバーディスプレイを利用する....68**

- ・ ナンバーディスプレイサービスとは.....68
- ・ ナンバーディスプレイサービスを設定する..70
- ・ 相手によって着信音を変える.....71
- ・ 迷惑電話を防止する.....72
- ・ 番号非通知の電話を拒否する.....73
- ・ 公衆電話からの着信を拒否する.....73
- ・ 着信拒否モニターを設定する.....74
- ・ キャッチホンディスプレイサービスを設定する..74
- ・ 着信記録を利用する(親機).....75
- ・ 着信記録を利用する(子機).....77

■ キャッチホンを利用する.....78

- ・ キャッチホンを受ける(親機).....78
- ・ キャッチホンを受ける(子機).....79

■ ダイヤルインサービスを利用する....80

- ・ ダイヤルインサービスとは.....80
- ・ ダイヤルインサービスの使いかた.....80
- ・ ダイヤルインサービスの設定.....81

■ その他のサービスを利用する.....82

- ・ トーン信号によるサービスを利用する.....82

6章 活用する.....83**■ 原稿に合わせて調整する.....84**

- ・ 濃度の調整.....84
- ・ 原稿に合わせて画質を調整.....84
- ・ 原稿に合わせて濃度を調整.....84

■ 着信音と保留音を設定する.....85

- ・ 着信音.....85
- ・ 保留音.....85
- ・ 子機にメロディを転送する.....87

■ 受信のしかたを設定をする.....89

- ・ 着信回数の設定.....89
- ・ 留守応答メッセージの選択.....89
- ・ メッセージの録音時間の設定.....89
- ・ 留守録モニターの設定.....89
- ・ 在宅応答メッセージの切替え.....89
- ・ 応答メッセージの設定.....91

■ ディ스플레이の明るさを設定する....93**■ モーニングメロディを設定する.....94****■ レポート、リストを印刷する.....95**

- ・ 送信レポート.....95
- ・ 通信管理レポート.....95
- ・ 電話帳リスト.....95

- ・ 設定内容リスト.....95
- ・ メモリー使用状況リスト.....97
- ・ 消耗品オーダーシート.....97
- ・ 一括送信レポート.....97
- ・ 機能案内リスト.....97

■ ユーザー辞書に登録する.....99**■ 携帯電話を接続して利用する(別売り品)...101**

- ・ 使用できる携帯電話一覧.....101
- ・ 本機に携帯電話を接続する.....102
- ・ 電話帳データを転送する.....103

■ 他の機器を接続して使う.....105

- ・ パソコンと接続する場合は.....105

■ ドアホンを使う.....106**7章 こんなときは.....109****■ 黒線消去をする.....110****■ お手入れのしかた.....111****■ 紙がつまったら.....113****■ リボンが少なくなったら.....115****■ 子機のバッテリーを交換する.....118****■ 停電になったときは.....119****■ エラーメッセージが表示されたら..120****■ 故障かな?と思ったら.....122****8章 付録.....129****■ 原稿について.....130****■ 機能一覧.....131****■ 主な仕様.....136****■ 消耗品などのご注文について.....138****■ リモコンアクセスカード.....140****■ 索引.....142**

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



⊘記号は「してはいけないこと（禁止）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。（左の例は分解禁止を意味しています。）



お願い

誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



メモ

本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。



●記号は「しなければいけないこと（指示）」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。（左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。）



「してはいけないこと」を示しています。



「さわってはいけないこと」を示しています。



「分解してはいけないこと」を示しています。



「電源プラグを抜くこと」を示しています。



「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。



「水場で使ってはいけないこと」を示しています。



「しなければいけないこと」を示しています。

〈お客様へのお願い〉

- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口 0120-161170」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- **電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ずプリントして保管してください。**（電話帳に登録した内容をプリントする ☎95 ページ、メモリーに受信したファクスメッセージをプリントする ☎54 ページ）

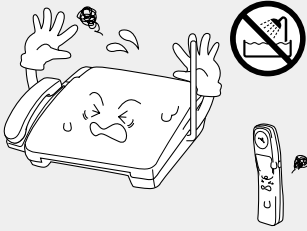
本製品は、静電気・電氣的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（☎138 ページ）へご注文ください。

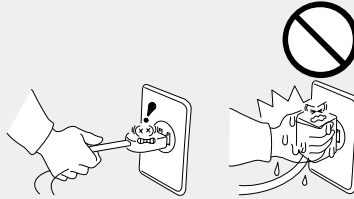
■ 設置、配線についてのご注意

⚠ 警告

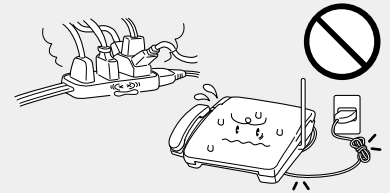
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所には設置しないでください。
故障や変形、火災の原因となります。



- 電源コードや AC アダプターを抜くときは、コードを引っばらないでください。
ぬれた手で電源コードや AC アダプターを抜き差ししないでください。
感電ややけどの原因となります。



- たこ足配線はしないでください。
電源コードや AC アダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。
火災の原因となります。



- バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
- バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
- 専用の充電器を使用してください。



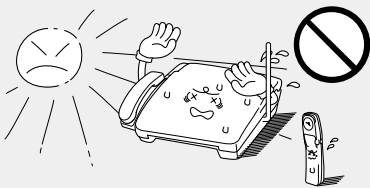
- 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。
電源は AC100V 50Hz、または 60Hz でご使用ください。
それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。



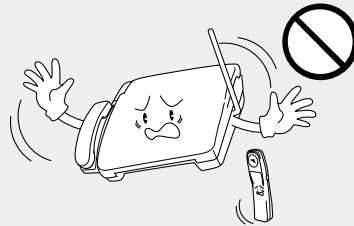
⚠ 注意

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

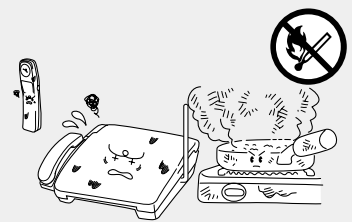
- 直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所



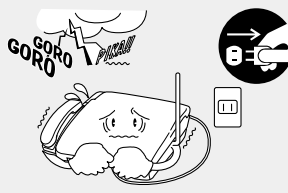
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所



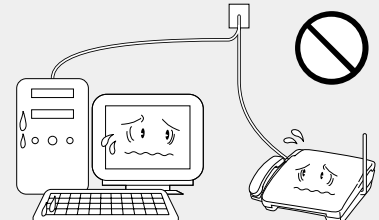
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気のアたる場所



- 電源コードや AC アダプターはコンセントに確実に差し込んでください。(本機には電源スイッチが付いていません。)
雷がはげしいときは、電源コードや AC アダプターをコンセントから抜いてください。(電源コードは抜きやすい所に差し込んでください。)



- 1つの電話回線に複数台の電話機を接続(並列接続)すると、ナンバーディスプレイサービスやダイヤルインサービスなどに不具合が発生し、誤作動の原因となります。

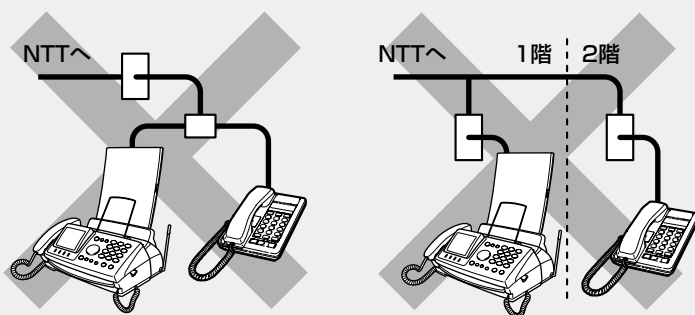


⚠ 注意

ブランチ接続（並列接続）はしないでください。

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の手話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないことがあります。
- コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- 本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
- 並列電話機から親機や子機への転送はできません。
- ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホンディスプレイ、ダイヤルインなどのサービスが正常に動作しません。
- パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



ブランチ接続（並列接続）とは

一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

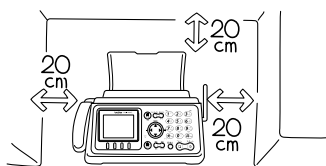


●本機をお使いいただける環境は次のとおりです。

温度：5～35℃

湿度：45～80%

●本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



●電波障害時の対処

本機の近くに置いたラジオに雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

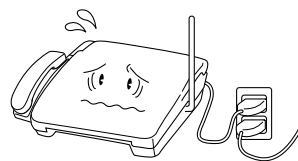
- ・本機をテレビなどから遠ざける。
- ・本機、またはテレビなどの向きを変える。

●以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

- ・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気が発生する場所
- ・いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所
- ・クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
- ・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- ・換気の悪い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

●電源コンセントの共用にはご注意ください。

複写機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。

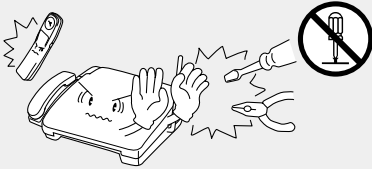


■ 使用する際のご注意

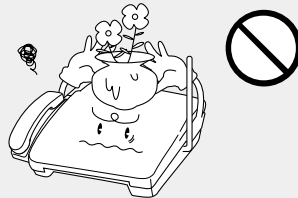
警告

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

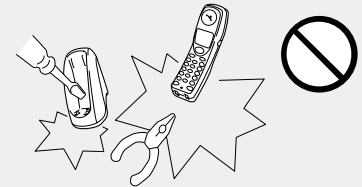
- 分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。(法律で罰せられることがあります。)



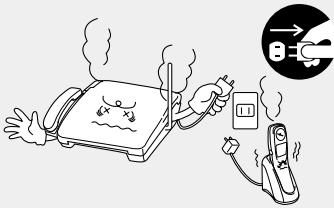
- 本機の上に水、薬品などを置かないでください。



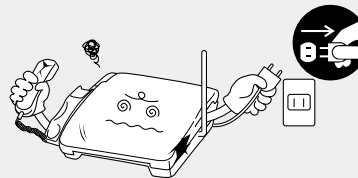
- 充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。



- 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



- 本機を落としたり、破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

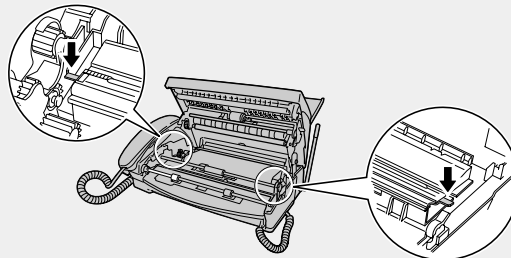


- 異物が入ったときは、電源コードやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。



けがをするおそれがあります。

- さわらないでください。

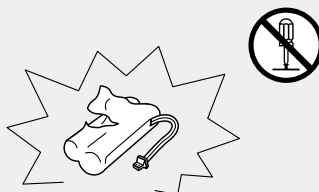


バッテリーについて

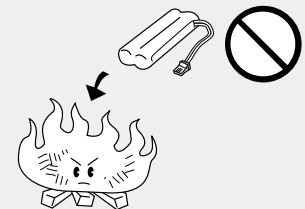
- 液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



- 分解、改造をしないでください。
- バッテリー端子をショートさせないでください。
- コードの被覆や保護フィルムをはがしたり、傷をつけたりしないでください。



- バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。

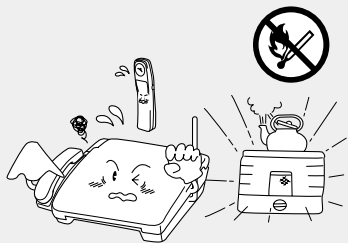


- バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
- 温度の高いところでは充電しないでください。
- 金属製品と一緒に保管しないでください。
- バッテリーの極性(+/-)を間違えないように入れてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

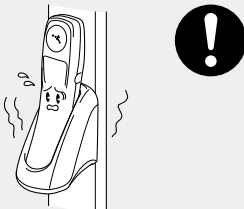


⚠ 注意

- 火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。



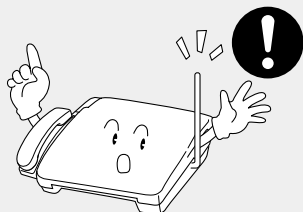
- 子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。(P.15 ページ)



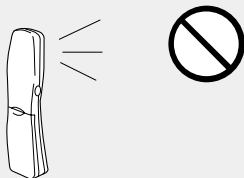
- 長期間不在にするときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。



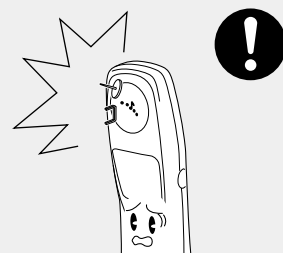
- 本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがあります。



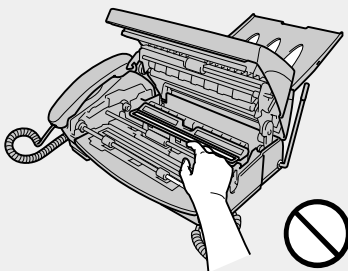
- 待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。



- 子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片(ステープラーの針、がびょう、針など)がついていたら取り除いてご使用ください。



- 記録ヘッドは発熱している場合があります。手が直接記録ヘッドにさわらないようにしてください。また、カバーを閉めるときに指などをはさまないように注意してください。



ハンズキャナーについて

- ハンズキャナーを落としたり、ぶついたりしないでください。落下によりガラスが割れて、ケガの原因になることがあります。
- 乳幼児の手がふれないところに置いてください。
- 水の近くには置かないでください。
- 読み取り面のガラスが汚れたり、ローラーの中にゴミが入り込むおそれがあるので、糸くずやゴミ、ホコリのあるような汚れた机や原稿の上では使用しないでください。



- 落下、衝撃を与えないでください。
- 本機のディスプレイを持って移動させたり、引っ張ったりしないでください。
- 動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。
- 室内温度を急激に変えないでください。装置内部が結露するおそれがあります。
- 指定以外の部品は使用しないでください。
- 原稿排出の妨げになりますので、本体前方には物を置かないでください。
- 海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないことがあります。
- NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店・営業所へご相談ください。(116番)
- 本機に貼られている注意ラベル類ははがさないでください。

■ 停電になったとき (☞ 119 ページ)



停電時のデータについて

消去されないデータ

電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信記録（子機）、発信記録（子機）

数時間以上たつと消去されるデータ※

着信記録（親機）、発信記録（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、モーニングメロディ設定内容

停電後すぐ消去されるデータ

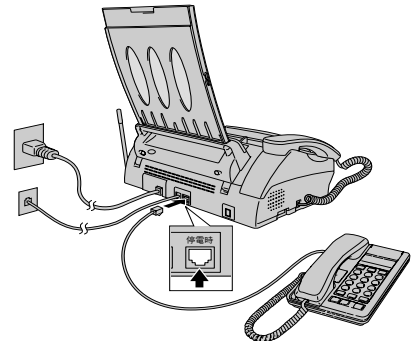
送信メモリー文書

半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。
(☞ 17 ページ)

※ただし、停電前に連続 1 週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。



本機は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話（AC 電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをおすすめします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機を使って電話をかけたり受けたりできます。



■ コピーについて

● 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- ・ 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・ 未使用の郵便切手や官製はがき
- ・ 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● 著作権のあるもの

- ・ 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

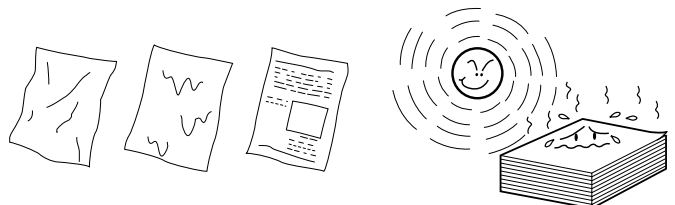
● その他注意を要するもの

- ・ 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- ・ 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

■ 記録紙について



- A4 サイズ以外の紙、しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。



第1章



ご使用前に

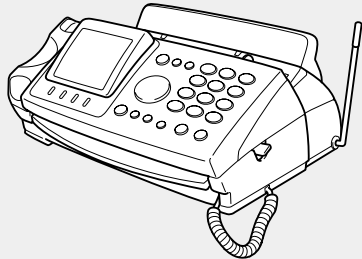
付属品を確認する.....	2
各部の名称とはたらき（親機）.....	3
正面図.....	3
背面図.....	3
ハンドスキャナーの取り付け、取り外し.....	4
ハンドスキャナー.....	4
操作パネル.....	5
ディスプレイ.....	7
ディスプレイと操作のしかた.....	7
ディスプレイの文字サイズ.....	8
各部の名称とはたらき（子機）.....	9
正面図.....	9
ディスプレイ.....	9
親機を準備する.....	10
原稿受けと記録紙トレイを取り付ける.....	10
接続する.....	10
回線種別をチェックする（自動）.....	11
・手動で回線種別を設定する.....	12
接続に関する制限事項を確かめる.....	13
記録紙をセットする.....	14
記録紙について.....	14
子機を準備する.....	15
バッテリーをセットする.....	15
充電する.....	15
親機のアンテナをのばす.....	15
壁にかけて使用する.....	15
子機の設置、使用範囲を確かめる.....	16
初期設定をする.....	17
現在の日付と時刻を設定する.....	17
名前とファクス番号を登録する.....	18
音量を設定する（キー確認音、着信音量、スピーカー音量、受話音量）.....	19
受信のしかた.....	21
留守にするとき.....	21
・自動で受ける.....	21
家にいるとき.....	22
・電話もファクスも適度に使う.....	22
・ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する.....	22
・主に電話として使う.....	22
文字の入れかた（親機）.....	23
入力できる文字と入力制限.....	23
入力画面とボタン操作.....	24
入力例.....	24
文字の入れかた（子機）.....	25
入力できる文字と入力制限.....	25
入力画面とボタン操作.....	26
入力例.....	26

付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。

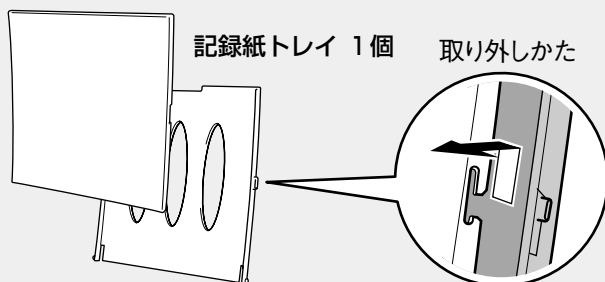
万一不足しているものがあつたり、取扱説明書に乱丁、落丁があつたときは、「お客様相談窓口 0120-161170」にご連絡ください。

本体 1台
(ハングスキャナー・リボンカートリッジセット済)



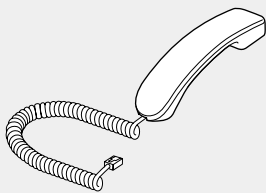
※本体の中にはA4サイズで約30枚分印刷可能な「お試し用インクリボン」を取り付けたリボンカートリッジがセットされています。

ダストカバー 1個



※開封時は、組み合わされています。設置するときは、取り外してください。

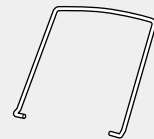
受話器 1台



電話機コード 1本



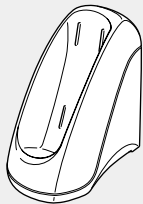
原稿受け 1個



子機 1台

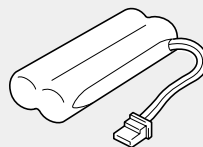


子機充電器 1台

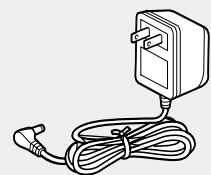


壁掛け用木ネジ 2本
(※15ページ)

子機用バッテリー 1個



子機用 AC アダプター 1個



子機用バッテリーカバー 1個

※ FAX-1100CLW には 2 台分の子機 (および子機の付属品) が同梱されています。

取扱説明書 1部

保証書 1部

設置ガイド 1部

記録紙 (A4)

製品に付いている保護材や青いテープなどは、設置前にはがしてください。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

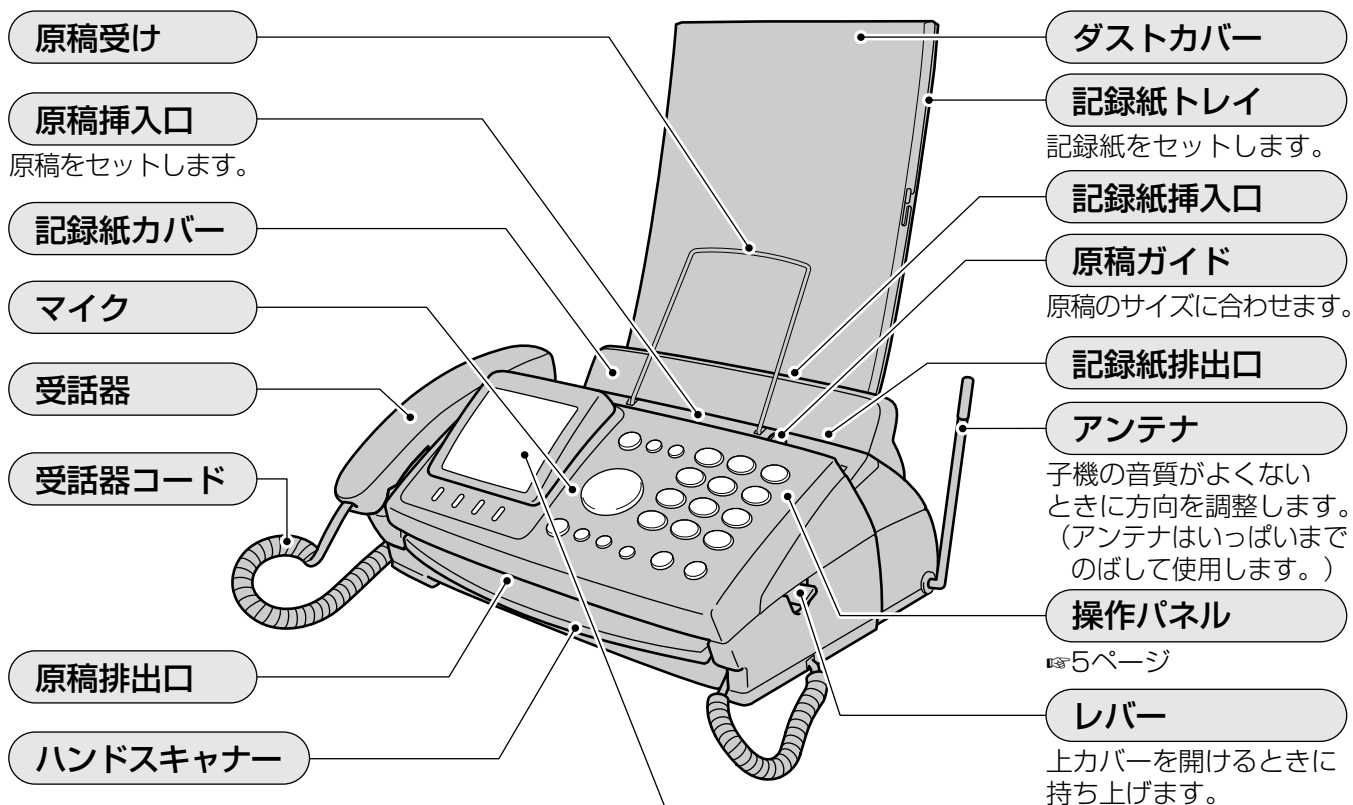
こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

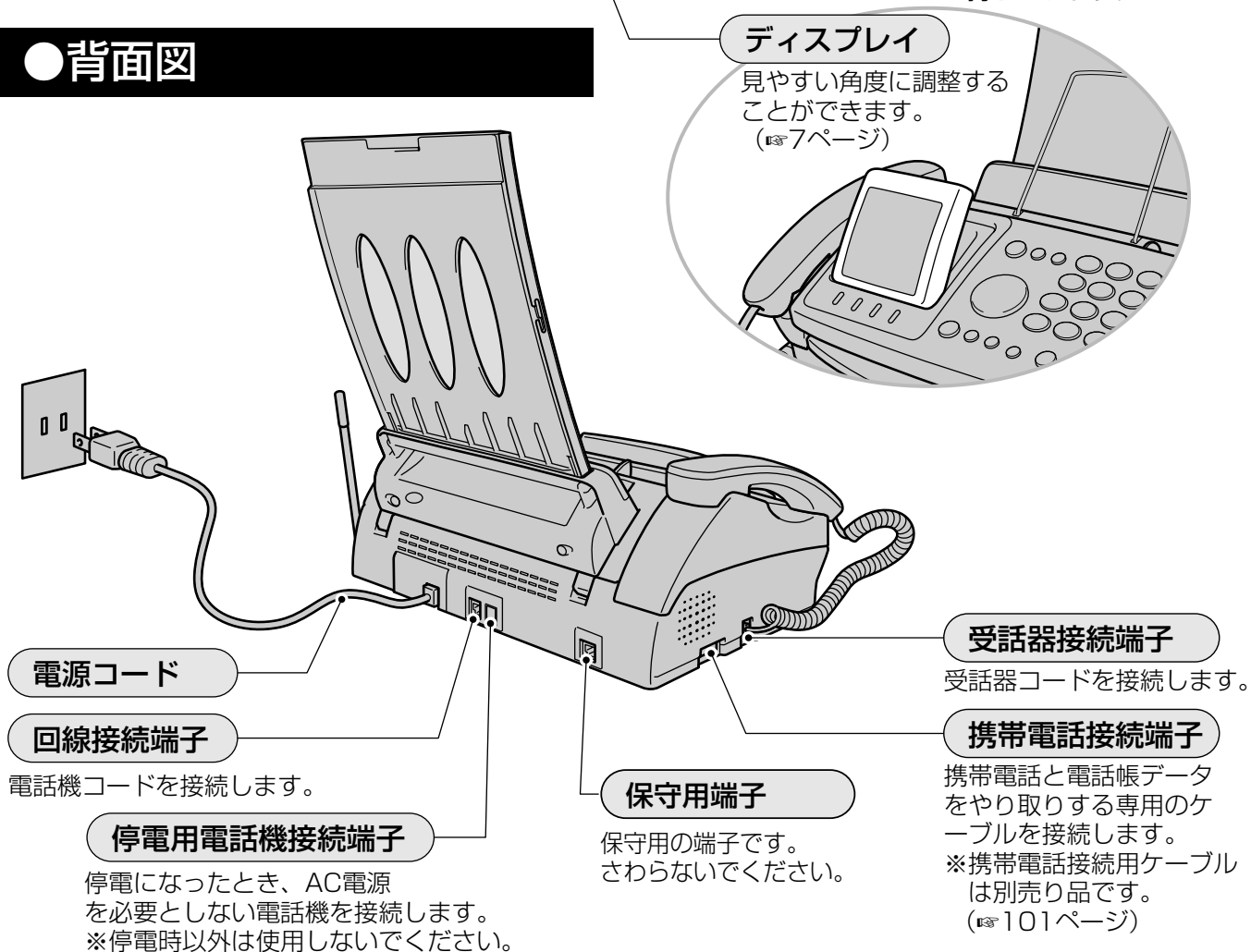


各部の名称とはたらき(親機)

● 正面図



● 背面図



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

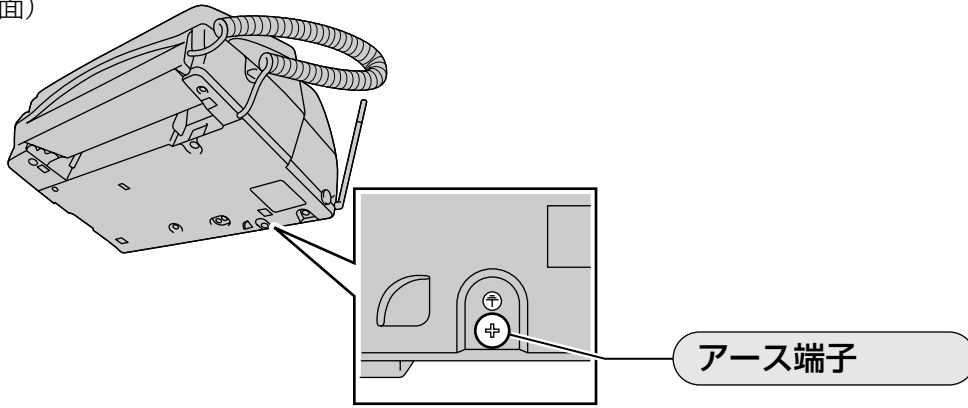
オプションサービス

活用する

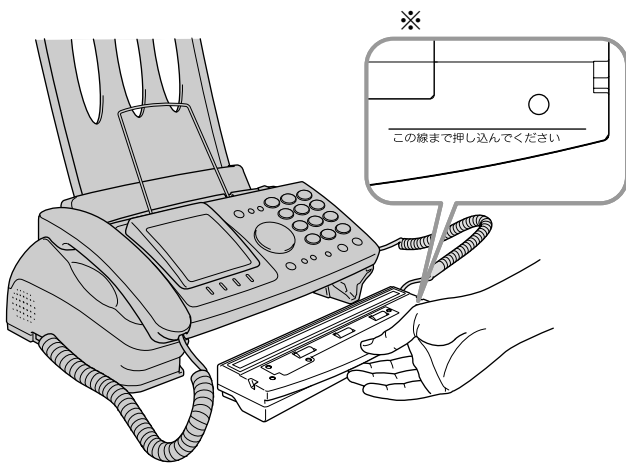
こんなときには

付録

(裏面)



● ハンドスキャナーの取り付け、取り外し



厚みのある原稿などを読み取るときはハンドスキャナーを取り外して原稿を読み取ります。

■ 取り外す

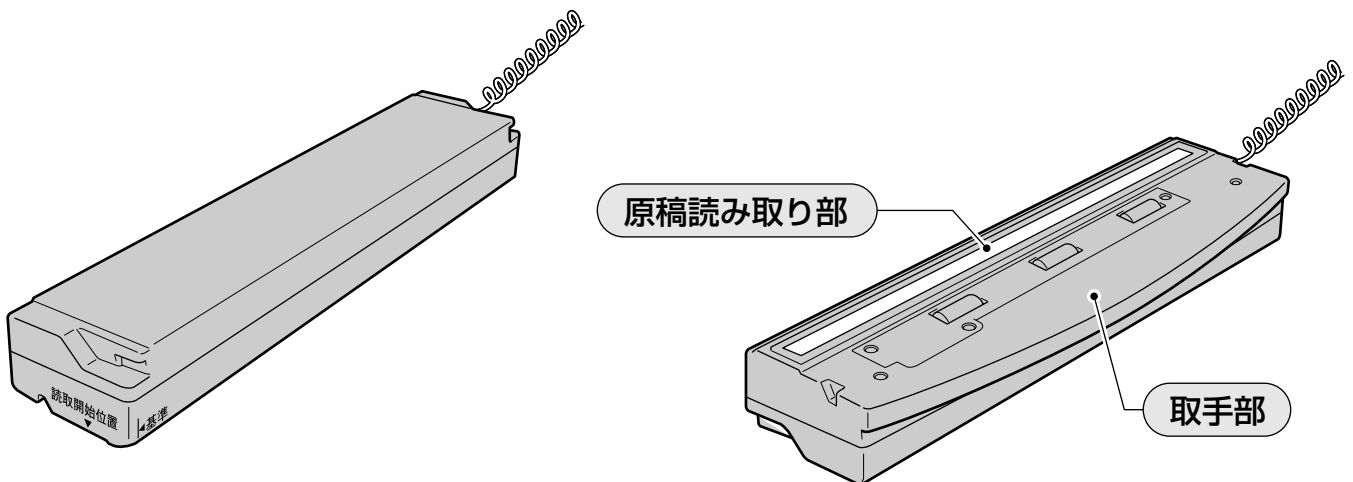
ハンドスキャナーの取手部を下に押し下げ、手前に引きます。

■ 取り付ける

原稿読み取り部を上にしてハンドスキャナーの取手部を持ち、ハンドスキャナーを本体に押し込みます。

※ 目印の線まで確実に押し込んでください。

● ハンドスキャナー



ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

● 操作パネル

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

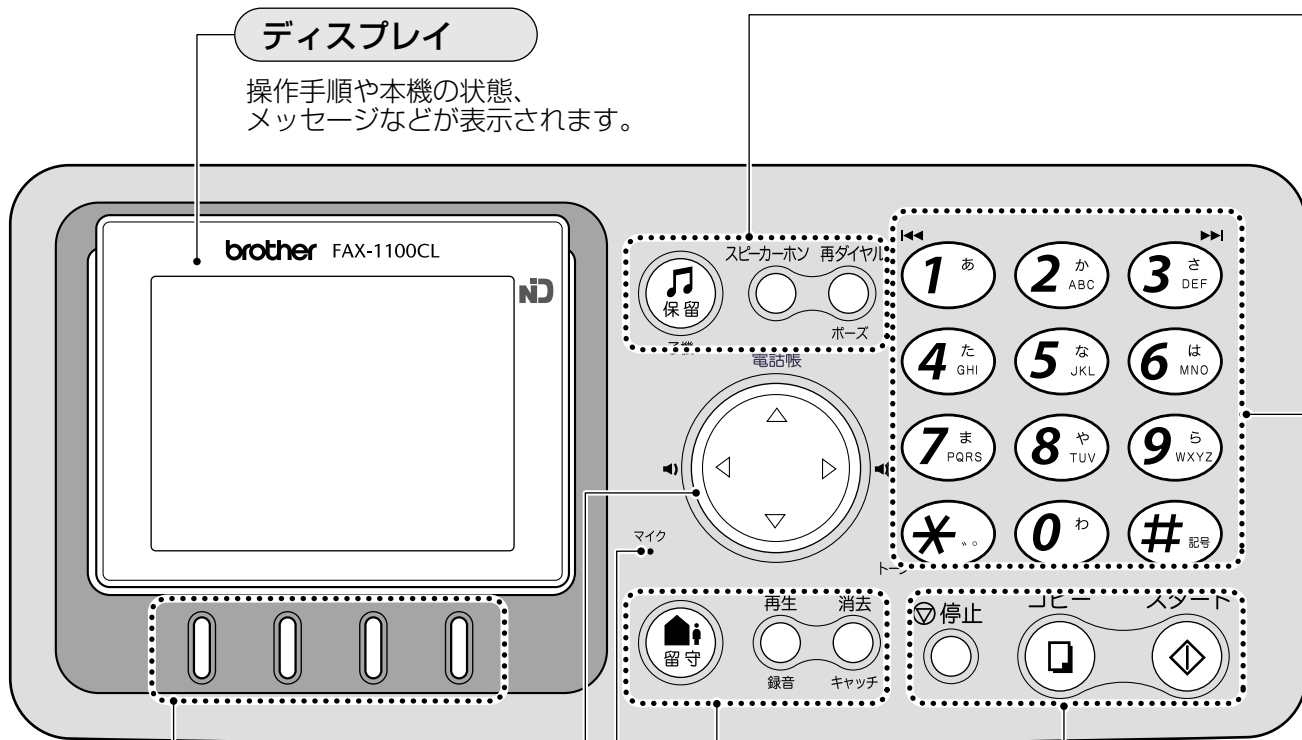
コ
ピー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



ディスプレイ

操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

選択ボタン

画面に表示された項目を選択します。



マルチセレクトボタン

ディスプレイの項目を選択します。待ち受け画面で \odot (▲▼) を押すと電話帳が表示されます。また、 \odot (◀▶) を押すと着信音量の調整ができます。(☞19ページ)

マイク

スピーカーホーンで通話するとき、またはハンズフリーで電話を受けるときに使用します。(☞39ページ)



停止ボタン

操作を途中で中止するとき、または待ち受け画面に戻るときに押します。



コピーボタン

コピーするときに押します。(☞63ページ)



スタートボタン

送信／受信するときに押します。



保留/子機ボタン

電話を保留にしたり、子機を呼び出すときに押します。
(☎41, 43ページ)



スピーカーホンボタン

受話器を持たずに通話するときに押します。
(☎30ページ)



再ダイヤル/ポーズボタン

最後にかけた相手にかけ直したり、発信記録を表示するとき (☎29, 30ページ)、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるとき (☎23ページ) に押します。



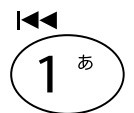
ダイヤルボタン

ダイヤルするときや文字を入力するときに使用します。



*** トーンボタン**

一時的にブッシュホンサービス (トーン信号によるサービス) を利用するときに押します。
(☎82ページ)



戻しボタン

録音された前のメッセージを聞くととき (☎46ページ) に押します。



送りボタン

録音された次のメッセージを聞くとときに押します。
(☎46ページ)



留守ボタン

留守モードにするとき押します。
(☎28, 45ページ)



再生/録音ボタン

メッセージを再生するとき (☎46ページ)、または通話を録音するとき (☎41ページ) に押します。



消去ボタン/キャッチボタン

メッセージ (☎46ページ)、着信記録 (☎75ページ)、発信記録 (☎30ページ)、または電話帳に登録された内容を消去するとき (☎33ページ) に押します。また、キャッチホンを使うときに押します。
(☎78ページ)

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

●ディスプレイ

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。通話をしていない状態では、「待ち受け画面」が表示されています。表示の内容と意味は次の通りです。

ご使用の
前に
電話
ファクス
コピー
オプション
サービス

現在の日付と時刻が表示されます。

(待ち受け画面)

再ダイヤル待機中
タイマー送信待機中
留守録転送

00件 00件 20:00

ファクス一覧 着信記録 機能

選択ボタンで使用できる項目が表示されます。

〈ピクト（絵文字）〉

- ファクス通信のあと、結果が表示されます。正常に送信できたときは 、エラーが発生したときは が表示されます。
- 再ダイヤル待機中 再ダイヤルの待機中に表示されます。
- タイマー送信待機中 タイマー送信を設定しているときに表示されます。
- 留守録転送 留守録転送を設定しているとき表示されます。ファクス転送を設定しているときは、**ファクス転送**が表示されます。
- メモリーに受信したファクスの件数が表示されます。
- 録音されている音声メッセージの件数が表示されます。
- モーニングメロディを設定しているとき、設定時刻と一緒に表示されます。
- リボンの残量が表示されます。(115ページ)

メモ ● ディスプレイの右側面が強く光るのは、光源があるからです。故障ではありません。

●ディスプレイと操作のしかた

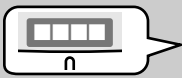
本機では、ディスプレイに表示された項目を、（マルチセレクトボタン）や、選択ボタンで選択します。

● 選択できる項目が表示されます。下記の方法で選択します。

選びかた1
 で選び、下部の選択ボタンで操作を決定する。

選びかた2
ダイヤルボタン **1**[※] ~ **9**[※] _{WVY} で直接選ぶ。

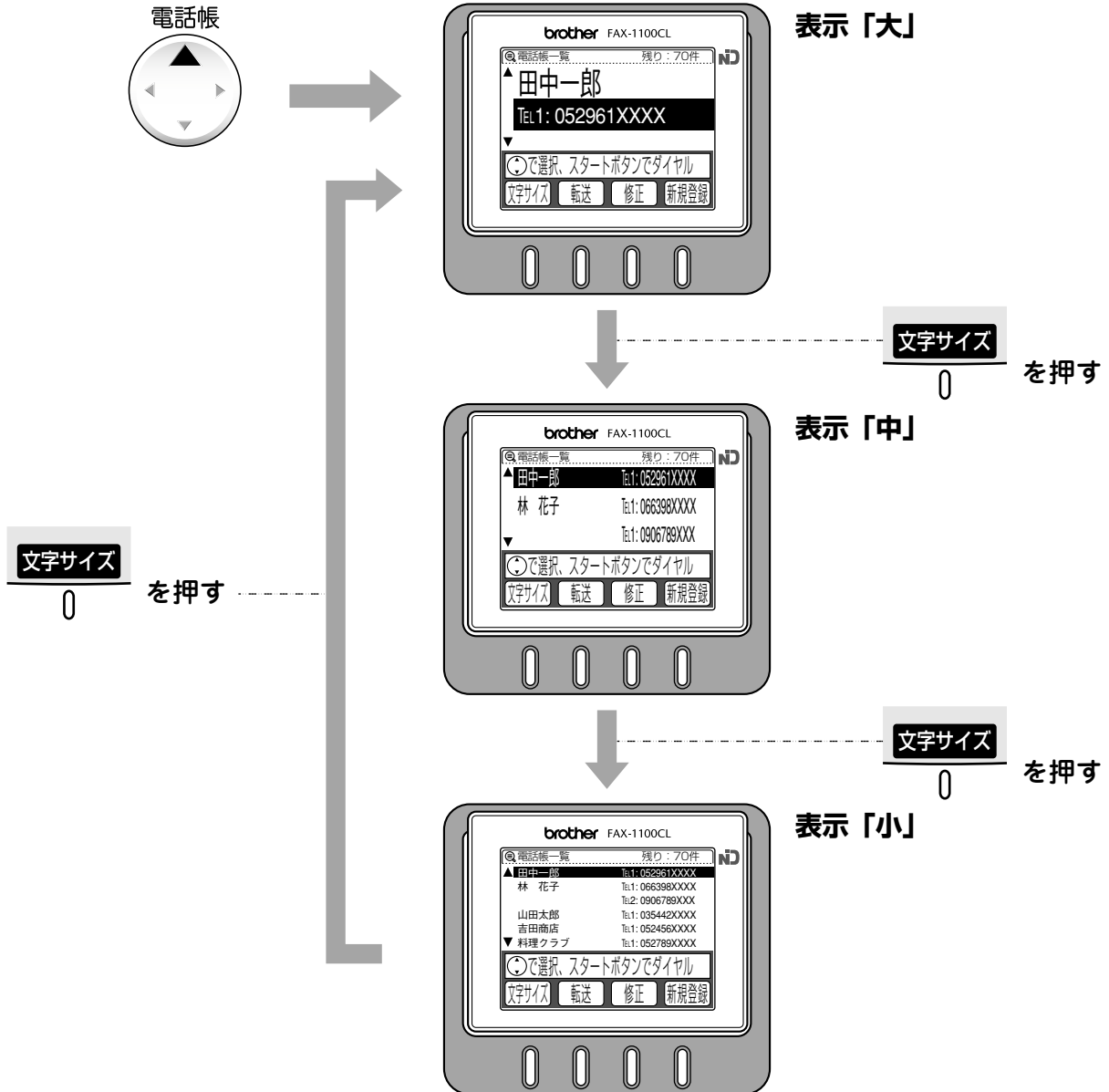
● 次に行なう操作が案内されます。
● 選択ボタンで選択できる操作が表示されます。
● 選択ボタン（本文中では **確定** のように表記しています。）



登録 入力 修正 確定 このボタンを示しています。

● ディスプレイの文字サイズ

電話帳を表示しているときは、ディスプレイに表示されている文字のサイズを3段階に切り換えることができます。



ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

各部の名称とはたらき (子機)

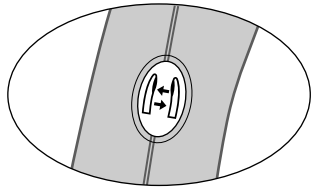
● 正面図

スピーカーと受話口

着信音や相手の声が聞こえます。

子機間通話ボタン

子機同士で通話するときに押します。(P.43ページ)



再ダイヤル/P/文字切替ボタン

最近かけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。

外線

電話をかけるときに押します。

内線/クリア

保留

外線を保留にするとき、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。

切

電話を切るときに押します。充電中は点灯しています。

トーンボタン

ダイヤル回線のとき一時的にプッシュホンサービスを利用するときに押します。

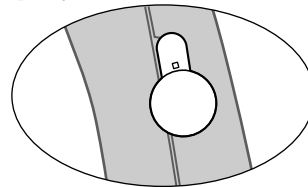
スピーカーホンボタン

子機を持たずに通話するときに押します。

マイク

保守用端子

保守用の端子です。さわらないでください。



ディスプレイ

操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。

マルチセレクトボタン

ディスプレイの項目を選択するとき、電話帳を表示するとき、文字入力でカーソルを動かしたり、音量を調整するときに使用します。

機能/確定ボタン

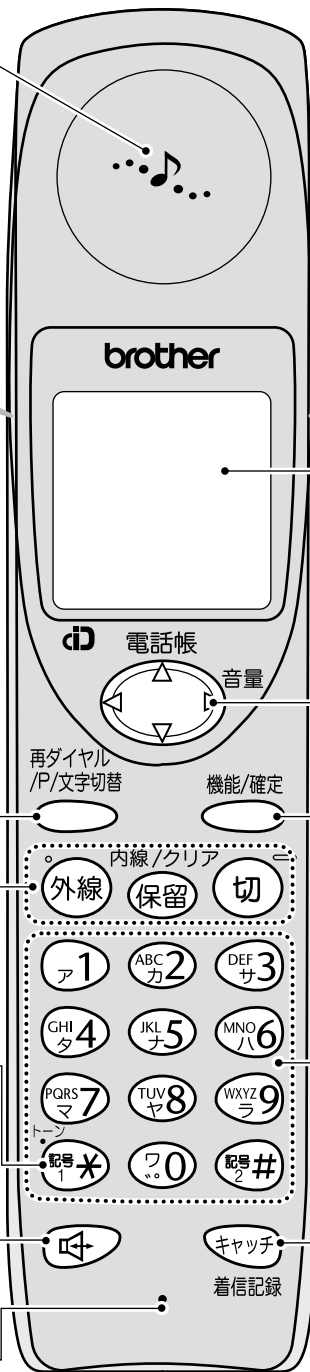
機能を設定するとき、設定内容を決めるときに押します。

ダイヤルボタン

ダイヤルするとき、文字を入力するときに押します。

キャッチボタン

キャッチホンを使うとき、着信記録を表示するときに押します。



● ディスプレイ



英 カ

入力できる文字の種類が表示されます。
英：アルファベット(大文字、小文字)、数字が入力できます。
カナ：半角カタカナが入力できます。

要充電

バッテリー残量が少なくなると表示されます。

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

コ
ピー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



記録紙トレイと原稿受けを取り付ける

2 片方を先にセットする

1 記録紙カバーを開ける

3 内側に押しながらセットする

4 記録紙カバーを閉じる

5 記録紙トレイを起す

6 外側にひろげて原稿挿入口にセットする

原稿受けが記録紙トレイに当たっている

取り付ける向き



接続する

受話器コード、電話機コード、電源コードの順に接続します。電源コードをコンセントに接続すると続けて、回線種別の設定が行われます。(必ず、下記の手順にしたがって接続してください。接続の順番を間違えると、回線種別の設定が正しく行われなかったりすることがあります。)

セットする

受話器コード

電話機コード (6極2芯)
: 付属品

差し込む

(AC100V)

1 受話器コードを接続する

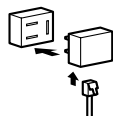
2 電話機コードを接続する

3 電源コードを接続する

補足

電話コンセントがモジュラー式ではないとき

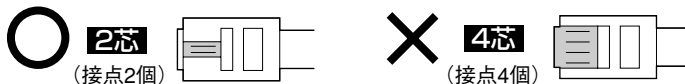
- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。



- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。最寄りのNTT窓口(116番)にお問い合わせください。



- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。



- ドアホンに接続する場合は106ページを、パソコンに接続する場合は105ページをお読みください。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

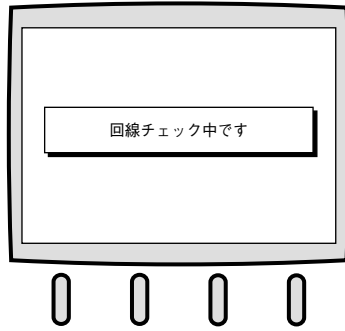
付録



回線種別をチェックする(自動)

電源コードをコンセントに接続すると自動的に電話回線の種別をチェックし、設定します。

チェックしているとき

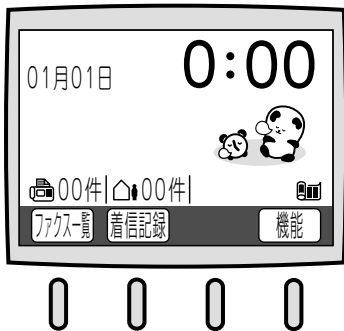
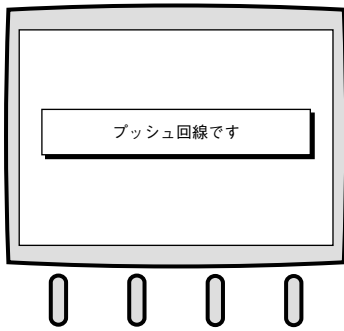


- 「電話機コードを接続してください」と表示されたときは、電話機コードを接続し直してください。そのままにしていると回線の判断ができません。
- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。
- 回線によっては自動で正しく判別できないときがあります。そのときは、手で回線種別を設定してください。(P.12ページ)

成功したとき

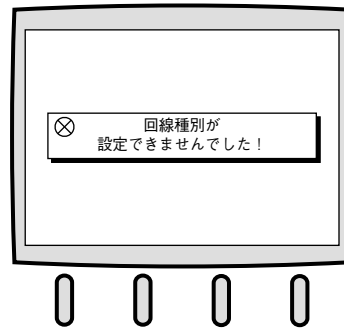
失敗したとき

チェック終了



回線種別の設定が終了すると時計表示になります。

チェック終了



- 自動的にチェックできなかったときに表示されます。手で回線種別を設定してください。(P.12ページ)
- 「回線種別を設定してください」と表示されている時も同様に手で回線種別を設定してください。
- 「回線種別を設定してください」というメッセージが表示されたあとそのまま約3分放置するとデモ画面が表示されます。その時は \odot (停止) を押してデモ画面を終了し、手で回線種別を設定してください。



デモ画面の表示

- \odot (消去) と \odot (再生/録音) を同時に押すと、おもに販売店の店頭で使われるファクスの機能紹介画面を表示できます。
- 中止したいときは、 \odot (停止) を押してください。

リボンカウンタについて

- 本機は出荷時に、約30枚分を印刷できる「お試し用インクリボン」があらかじめセットされています。

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

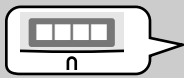
コ
ピー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



登録 入力 修正 確定 このボタンを示しています。

● 手動で回線種別を設定する

電話回線に何らかの問題があり、自動で回線を種別できないことがあります。「回線種別を設定してください」というメッセージが表示されたときは、次の手順で設定してください。

1

機能 0

1 あ 1 あ

[機能] → [1.初期設定] → [1.回線種別設定] を押す

2

回線の種類を選ぶ

プッシュ回線/
10PPS/
20PPS/
自動設定

3

確定 0

[確定] を押す

終了

利用している電話回線の種別は次のようにして調べてください。もしもわからないときは、最寄りの NTT の支店、営業所または NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。

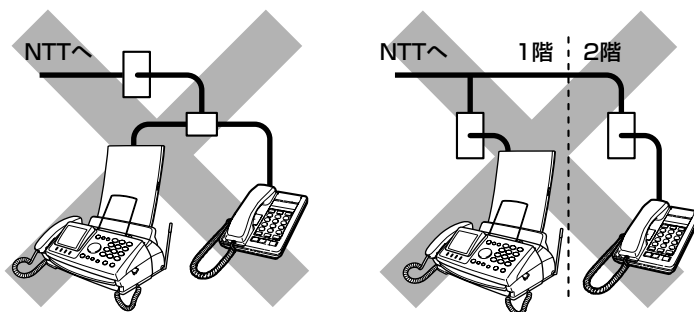
<p>今までお使いの電話機が押しボタン式の時</p> <p>押しボタン式</p>	<p>ダイヤルしたときに受話器から「ピッポッパ」という音が聞こえる</p>	<p>プッシュ回線です。「プッシュ回線」に設定してください。</p>
	<p>ダイヤルしたときに受話器から「ピッポッパ」という音が聞こえない</p>	<p>本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10 PPS」に設定してください。</p> <p>本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20 PPS」に設定してください。（そのままご使用ください。）</p>
<p>今までお使いの電話機が回転ダイヤル式の時</p> <p>回転ダイヤル式</p>	<p>本機から「117」（時報）にかけて、かからなかったときは「10 PPS」に設定してください。</p> <p>本機から「117」（時報）にかけて、かかったときは「20 PPS」に設定してください。（初めは「20PPS」に設定されているので、そのままご使用いただくことができます。）</p>	

● 接続に関する制限事項を確かめる

■ ブランチ接続（並列接続）はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機を受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- ・ 電話がかかってきたとき、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないことがあります。
- ・ コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
- ・ 本機で保留にした場合、並列電話機では本機の保留状態を解除できません。
- ・ 並列電話機から親機や子機への転送はできません。
- ・ ナンバーディスプレイ、キャッチホン、キャッチホンディスプレイ、ダイヤルインなどのサービスが正常に動作しません。
- ・ パソコンを接続すると、本機が正常に動作しない場合があります。



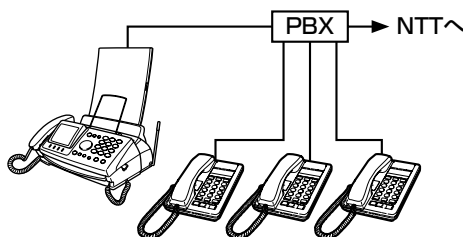
ブランチ接続（並列接続）とは

一つの電話回線に複数台の電話機を接続することです。

■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどに接続する場合

構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンなどをお使いになる場合は、各製造メーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、接続する場所によっては「ナンバーディスプレイサービス」がご利用になれないので、「ナシ」に設定してください。（☎70 ページ）

例）構内交換機（PBX）の場合



ビジネスホンとは

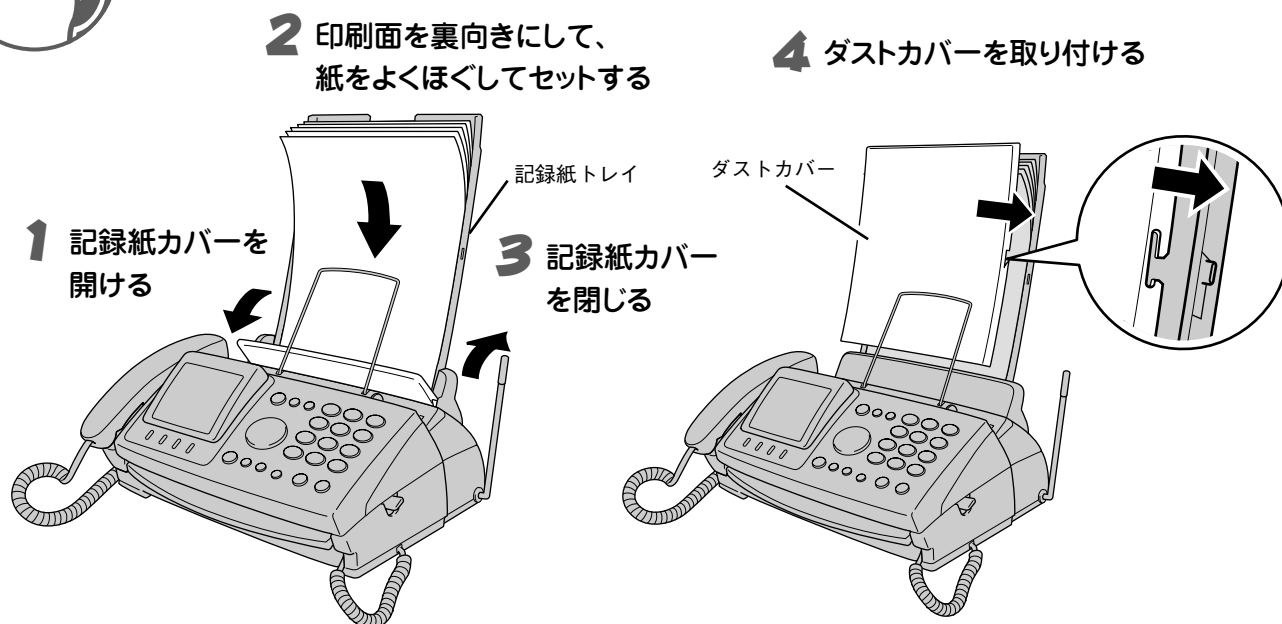
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンとは

電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話なども可能な家庭用の簡易交換機です。



記録紙をセットする



補足

紙をほぐさずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。
紙づまりを防止するため、印刷された用紙をためないよう取り除いてください。



記録紙について

用紙の厚さとサイズが適当な、市販されている普通紙、またはコピー用紙を使ってください。

用紙のサイズと紙厚

- 用紙サイズ
A4サイズ(210×297 mm)
- 重量
64g/m²(55kg紙)または81.4g/m²(70kg紙)

用紙の厚さによってセットできる枚数が異なります。
64g/m²の用紙であれば約50枚、81.4g/m²の用紙であれば約30枚セットできます。

※この取扱説明書に使用されている用紙は64g/m²(55kg紙)です。

使用できない紙

次のような用紙をセットしないでください。用紙がつかったり、故障の原因になります。

- そり、折れ、しわのある用紙
- 穴、破れのある用紙
- 薄くてやわらかい用紙
- つるつるすべる用紙
- 感熱紙、アート紙のように表面が加工された用紙
- 新聞広告
- すでに印刷されている用紙(裏紙)

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

子機を準備する



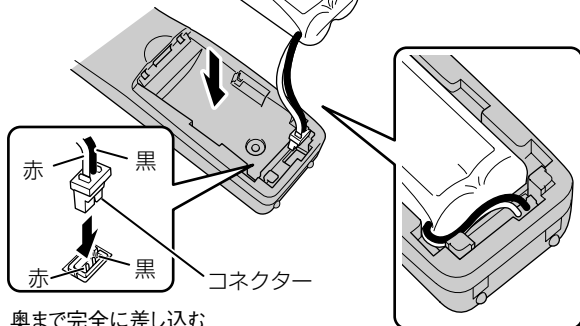
バッテリーをセットする



- バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。

保護フィルム
(※はがさないで
ください！)

バッテリー

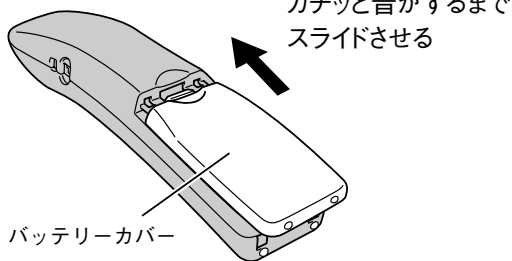


コネクター

奥まで完全に差し込む

- 1 上図の向きにコネクターを差し込む
- 2 バッテリーをセットする

- 3 バッテリーコードを押し込みながら、カバーを閉める



バッテリーカバー

※バッテリーのコードをはさまないように注意する。



- 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店または消耗品オーダーシート(※139ページ)でお求めください。
- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

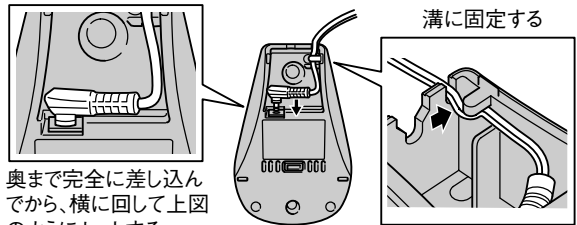


充電する

はじめてお使いいただくときは、必ず15時間以上充電してください。



- 1 ACアダプターの電源プラグを充電器に差し込む



奥まで完全に差し込んでから、横に回して上図のようにセットする

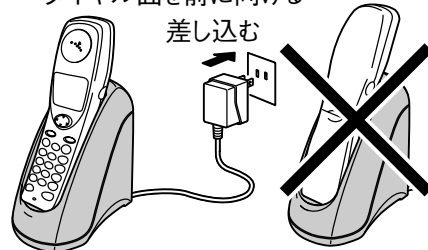
溝に固定する



- 2 ACアダプターをコンセントに差し込み、子機をセットする

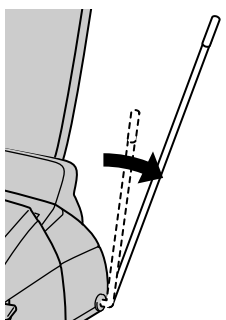
ダイヤル面を前に向ける

差し込む



- 充電器に子機をセットするとディスプレイに「充電中」と表示され、充電ランプが点灯します。バッテリーの容量が少なくなっているときは、充電器にセットしても「充電中」と表示されなかったり、充電ランプが点灯しないことがあります。しばらく充電すると表示されます。
- いっぱいまで充電されても「充電中」の表示や充電ランプの点灯は消えませんが、そのまま充電を続けても問題はありません。
- 充電器の端子が汚れていると、充電できなかったり子機が使用状態になることがあります。こまめに掃除してください。(※111ページ)

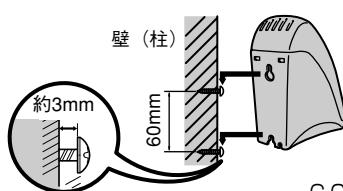
●親機のアンテナをのばす



親機のアンテナをいっぱいまでのばします。

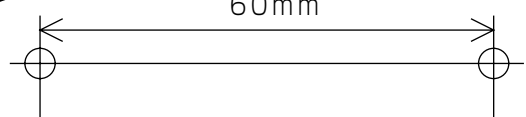
- 建物の構造によって子機を使うと雑音が入ることがあります。そのときは通話しながら親機のアンテナの角度を調整してください。
- 電波が極端に弱くなる場所では、子機のご使用を避けてください。

●壁にかけて使用する



付属の壁かけ用木ねじ(2本)を壁か柱に取り付けて充電器をセットしてください。

60mm



ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

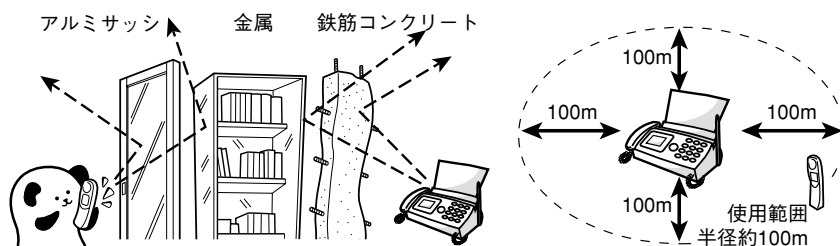
付録

●子機の設置、使用範囲を確かめる

設置について

●親機から障害物のない直線距離で約 100m 以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺の環境によっては電波の届く範囲が短くなる場合があります。

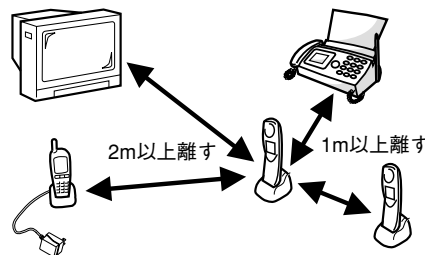
※親機と子機の間で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。



●本機に他社の子機を増設することはできません。

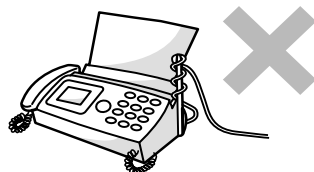
子機が正常に動作しないことがあります

- 親機、子機を電気製品（テレビ、電子レンジ、ドアホン、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプター、OA 機器など）から 2m 以上離して設置してください。
- 子機は親機や他の子機から 1m 以上離して設置してください。



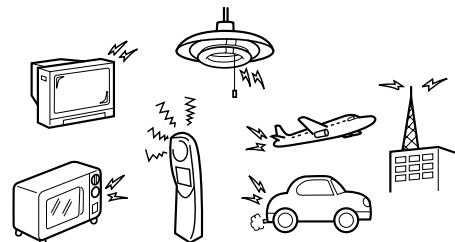
通話が途切れたり、雑音が入る場合について

●電源コード、電話機コード、充電器の AC アダプターコードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりしているときは、子機の呼出音が鳴らなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



●以下のような場合は雑音が入ることがあります。

- ・電気製品（テレビ、OA 機器、電子レンジ、ドアホン、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプターなど）の近くに設置しているとき
- ・放送局、高圧線などが近くにあるとき
- ・自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき
- ・蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
- ・子機の AC アダプターと携帯電話や PHS の AC アダプターを同じコンセントに接続しているとき



●移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

●ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

●親機のアンテナを完全に伸ばしてください。アンテナが伸びていないと電波の届く距離が短くなり、雑音が入ることがあります。



●受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。



故障ではありません

●電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

“傍受” にご注意ください

●この製品には、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。コードレス子機を使つての通話は電波を使っているため、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

“傍受” とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

初期設定をする

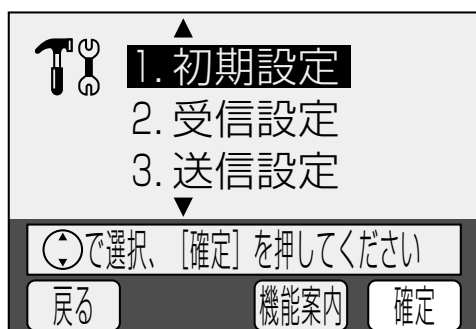
● 現在の日付と時刻を設定する

日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したとき送り先の記録紙に送信日時が印刷されます。また着信記録、送信記録もこの設定日時に基づいて表示されるので必ず設定してください。

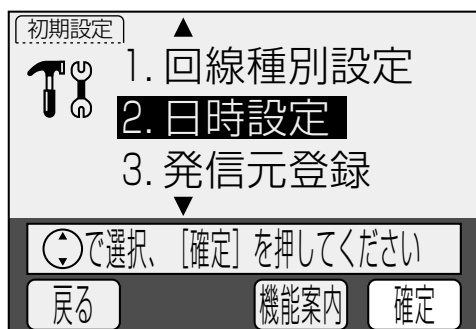
1 「機能」を押す



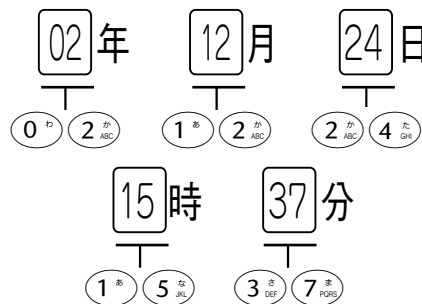
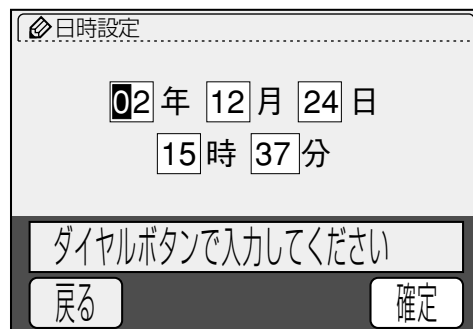
2 (▲▼) で「1. 初期設定」を選び、「確定」を押す



3 (▲▼) で「2. 日時設定」を選び、「確定」を押す



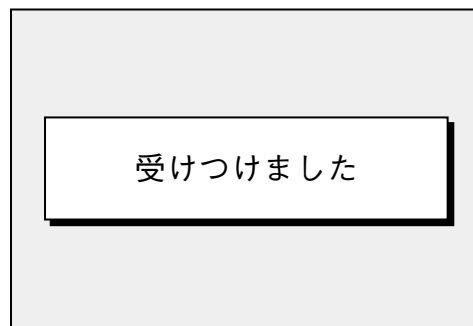
4 ダイヤルボタンで日時を入力する



- 「年」は西暦の下2桁を入力します。
- 入力を間違えたときは一度すべて入力した後、上書きして修正してください。

5 「確定」を押す

→「受けつけました」とメッセージが表示されます。



6 停止 (停止) を押す

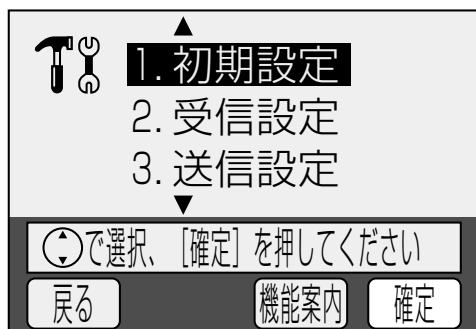
●名前とファクス番号を登録する

発信元となるファクス番号のほか電話番号、名前を登録します。ファクスを送信したときに相手の記録紙に登録した内容が印刷されます。ファクス番号は必ず登録してください。

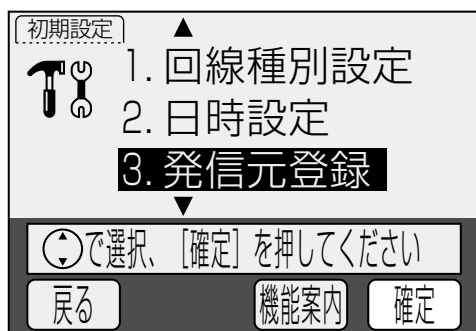
1 「機能」を押す



2 (▲▼) で「1. 初期設定」を選び、「確定」を押す



3 (▲▼) で「3. 発信元登録」を選び、「確定」を押す



4 ダイヤルボタンでファクス番号と電話番号を入力する(ファクス番号を入力したら(▼)で電話番号入力枠に移動する)

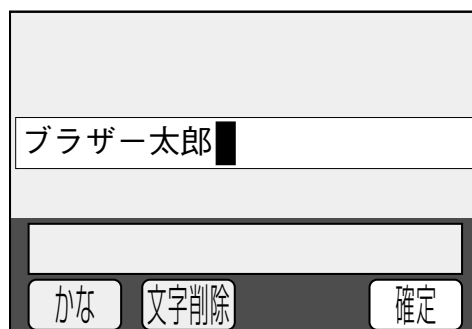


- 入力できる文字数は20文字までです。
- 入力を間違えたときは(◀▶)で数字を選択し、「文字削除」を押します。
- 項目を移動するときは(▲▼)を押します。

5 (▼) で名前の入力枠に移動し、「入力」を押す

→ 「入力」を押すとディスプレイの中央に名前
の入力枠が表示されます。

→ 名前として入力できる文字数は、全角で16
文字、半角で32文字までです。



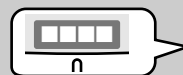
- 「文字の入れかた」☞ 23ページ
- 文字を入力したら確定を押します。

6 「確定」を押す

- 「受けつけました」とメッセージが表示されます。

7 (停止) を押す

ご使用の
前に電
話フ
ァ
ク
スコ
ピ
ーオ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス活
用
す
るこ
ん
な
と
き
に
は付
録



このボタンを示しています。

● 音量を設定する

キー確認音、着信音量、スピーカー音量、受話音量を調整します。

キー確認音

ダイヤルボタンを押したときの音量を調整します。

親機

1

[機能] → [1.初期設定] → [4.キー確認音] を押す

2

キー確認音を設定し、[確定] を押す

3

[停止] を押す

終了

子機

1

[機能/確定] を押す

2

「キカコン」を選び、[機能/確定] を押す

3

キー確認音を設定し [機能/確定] を押す

終了

着信音量

着信時のベルやメロディの音量を調整します。

● 通話中でないときに設定できます。

● 充電器に置いているとき、または(外線)が消灯しているときに設定できます。

親機

1

[音量] を押す

2

音量を調整する

● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

終了

子機

1

[音量] を押す

2

音量を調整する

● 音量はOFFと4段階の調整ができます。
● 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

終了



- 調整後約 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
- 着信音量を「OFF」に設定していても、次の音は最小音量で鳴ります。
 - ・ 本機が自動着信した後、相手が電話であることをお知らせする「トゥルッ、トゥルッ」というベル音(親機のみ)
 - ・ 電話予約時の呼出音(親機のみ)
 - ・ 内線や取り次ぎの呼出音

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

スピーカー音量

スピーカーホンで通話するときの音量や留守録モニターの音量を調整します。

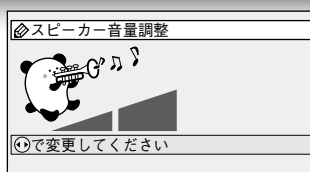
- **○** (スピーカーホン) を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
- **☎** を押して「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。

親
機

1



スピーカーホン →
[スピーカーホン]
→ [音量] を押す



2



音量を調整する

- 音量はOFFと4段階の調整ができます。

- 2秒間操作しないと「通話中です。」になります。
- **○** を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は、通話が切れます。

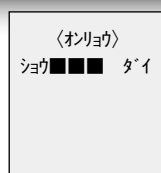
終了

子
機

1



[スピーカーホン]
→ [音量] を押す



2



音量を調整する

- 音量は4段階の調整ができます。

- 2秒間操作しないと「ツウワチュウ」になります。
- **切** を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は、通話が切れます。

終了

受話音量

受話器や子機をもって通話するときの音量を調整します。

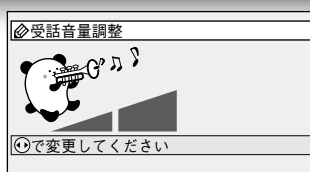
- 受話器で通話中のときに設定できます。
- 通話中に設定できます。

親
機

1



通話中に [音量] を
押す



2



音量を調整する

- 音量は3段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

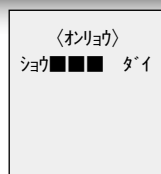
終了

子
機

1



通話中に [音量] を
押す



2



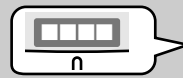
音量を調整する

- 音量は4段階の調整ができます。
- 2秒間操作しないと待ち受け画面に戻ります。

終了



- 子機のスピーカー音量、受話音量は聞き取りやすいように大きめに設定してあります。特に3段階目、4段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を2段階目または1段階目に設定してご使用ください。
- 相手先との回線状況によっては音量は変化します。その場合は必要に応じて音量を調整してください。



電話／ファクスを受信するときは、「留守モード」と「在宅モード」と大きく2つの種類があります。どちらのモードも着信してから本機が応答するまでに鳴る着信音の回数を変えると少し違った受信のしかたができます。目的に応じて使い分けてください。（「着信回数の設定」※ 89ページ）

お買い上げ時は「在宅モード」、着信回数8回に設定されています。



留守にするとき

が点灯している状態です。（留守番機能を利用する※ 45ページ）

自動でうける（着信回数:0~7）



設定した回数の着信音が鳴る

- お買い上げ時の留守モードの着信回数は2回に設定されています。

相手がファクスのとき

自動的に受信します。

補足

相手がファクスを自動送信してきた場合、ファクスを自動受信できないことがあります。この場合は、着信回数を2回以下に設定してください。



相手が電話のとき

留守応答します。



着信回数とトールセーバー

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。（※ 89ページ）トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

〈外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）〉

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき……着信2回 }
メッセージがないとき……着信5回 } → 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモコンアクセス（※ 47ページ）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

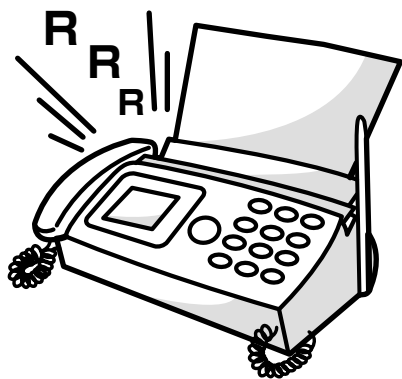




家にいるとき

🏠が 消灯している状態です。

電話もファクスも適度に使う (着信回数:1~15)



設定した回数の着信音が鳴る

- お買い上げ時の在宅モードの着信回数は8回に設定されています。

相手がファクスのとき

自動的に受信します。

+ 補足

相手がファクスを自動送信してきた場合、ファクスを自動受信できないことがあります。この場合は、着信回数を6回以下に設定してください。



相手が電話のとき

着信音が一定時間鳴ります。

- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルツ、トゥルツ」というベル音で鳴ります。
※ここから相手に料金がかかります。



ファクスのときは着信音を鳴らさず受信する (着信回数:0)



着信音が鳴らない

+ 補足

電話にでないときは相手に「ただ今、近くにおりません。後ほどおかけ直してください」というメッセージを流して回線が切れます。

相手がファクスのとき

自動的に受信します。



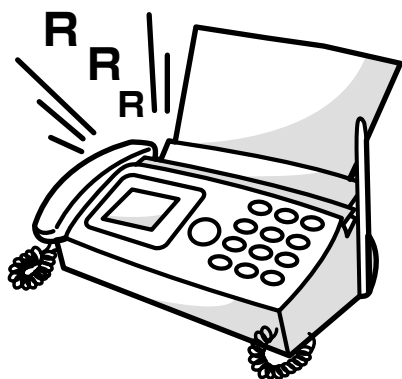
相手が電話のとき

着信音が一定時間鳴ります。

- この着信音はメロディに設定しているときでも「トゥルツ、トゥルツ」というベル音で鳴ります。
※ここから相手に料金がかかります。



主に電話として使う (着信回数:地々々)



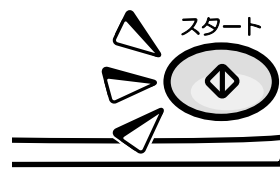
着信音が鳴りつづける



電話に出る

相手がファクスのとき

スタート を押して受信します。



相手が電話のとき

引き続き話します。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

文字の入れかた（親機）

発信元登録、電話帳の登録、各種コメントでは、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。
親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

●入力できる文字と入力制限

■入力できる文字（文字列一覧表）

ボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
①*	あいうえおあいうえお	アイウエオアイウエオ	—	1
② ^か _{ABC}	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
③ ^さ _{DEF}	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
④ ^た _{GHI}	たちつてとっ	タチツテトツ	ghiGHI	4
⑤ ^な _{JKL}	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
⑥ ^は _{MNO}	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
⑦ ^ま _{PQRS}	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
⑧ ^や _{TUV}	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	tuvTUV	8
⑨ ^ら _{WXYZ}	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
⑩ ^わ	わをん、。 - (ス [°] -ス)	ワヨン、。 - (ス [°] -ス)	(半角ス [°] -ス)	0
* ^{..}	ゝ 。	ゝ 。	—	*
# ^{DIR}	記号表		-/_.,:;!?"#\$%&'()*+<>=[]^¥ }	#

〈記号表〉	
<p>1) , . . : ; ? ! * . ' ^ _ _ ○</p> <p>2) - - / \ ~ ... " " "</p> <p>3) () [] { } < > 《 》 「 」 『 』 【 】</p> <p>4) + - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞</p> <p>5) ∴ ♂ ♀ ° ´ ˆ ° ℃ ¥ \$ ¢ £ %</p> <p>6) # & * @ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆</p> <p>7) □ ■ ▲ ▼ ▽ ※ 〒 → ← ↑ ↓</p> <p>8) ⇒ ⇔ ≡ ≐ ≪ ≫ √ # b ♪</p>	<p>※ 「ひらがな」「カタカナ」入力時に # を押して で選択し、「確定」で決定する</p>

■入力できる文字の種類や文字数

項目	ひらがな・漢字	全角カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数 (* 1)	
				全角	半角
電話番号 (FAX 番号)	×	×	○ (* 2)	×	20
読み仮名	×	○ (半角)	○	×	16
名前 (* 3)	○	○	○	10	20

- * 1: スペースも 1 文字として数えます。
- * 2: 電話番号入力時は、0～9、*、#、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは で入力します。入力したポーズはディスプレイに「-」（ハイフン）で表示されます。
- * 3: 発信元登録では、半角 32 文字（全角 16 文字）まで入力できます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

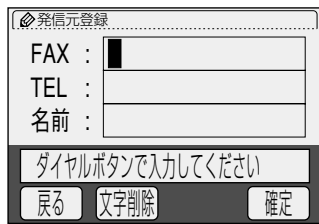
活用する

こんなときには

付録

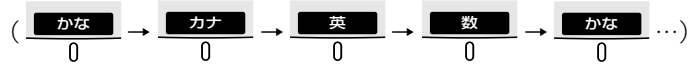
● 入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。



- 入力する項目や内容を表示します。
 - ・ 電話番号、FAX 番号などの数字入力時は、入力域に直接入力します。(直接入力)
 - ・ 名前などの入力時は、「入力」を押してから文字を入力します。(変換入力)
- 入力の操作方法が表示されます。
- 選択できる操作が表示されます。

例) かな： 入力できる文字の種類を切り換えます。(文字切替)



変換： ひらがなを漢字に変換します。

入力： 文字入力モードに入ります。

文字削除： 選択位置の文字を削除します。(文字がないときはバックスペース)

確定： 入力した文字を確定させます。

● 入力例

■ 入力例 1： 電話帳の名前に『Bro) ブラザー太郎』と入力する。

入力 英 2^か × 5回 7^ま × 3回 6^は × 3回 #[#] × 18回 確定

「英」を表示 B r o)

カナ 6^は × 3回 *^{*} × 1回 9^は × 1回 3^ま × 1回 *^{*} × 1回 0^わ × 6回 かな

「カナ」を表示 ブ ラ ザ ー 「かな」を表示

4^た × 1回 9^は × 5回 1^あ × 3回

た ろ う

変換

太郎 足ろう たろう (画面に変換候補が表示されます)

◀ ▶ で変換したい文字を選んで、確定 を押す

■ 入力例 2

● 文字を修正する	◀ (◀) で戻って文字を削除し、入力し直す
● 文字を削除する	削除したい文字に■ (カーソル) を合わせて、「文字削除」を押す
● 文字の種類を切り換える	「かな」(文字切替) を押す (かな→カナ→英→数→かな…)
● スペースを入れる	スペースが入るまで 0 ^わ を押す、または ▶ (▶) を押す
● 同じボタンで続けて文字を入力する	▶ (▶) を押し、■ (カーソル) を 1 文字分移動させて入力する
● 記号を入力する。	「英」のときは # [#] を押して記号を選び、▶ (▶) を押し、■ (カーソル) を 1 文字分移動させて入力する 「かな」「カナ」のときは、# [#] を押して ◯ (○) で記号を選び、「確定」を押して入力する
● 漢字の変換候補を選ぶ	◀ ▶ (◀▶) で変換候補を切り換える

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

文字の入れかた(子機)

電話帳の登録など、ダイヤルボタンを使って入力します。
子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

●入力できる文字と入力制限


■入力できる文字 (文字列一覧表)

ボタン	カタカナ	英・数字
①	アイウエオアイウエオ	@. (ピリオド) 1
ABC カ②	カキクケコ	a b c A B C 2
DEF サ③	サシスセソ	d e f D E F 3
GHI タ④	タチツテトツ	g h i G H I 4
JKL ナ⑤	ナニヌネノ	j k l J K L 5
MNO ハ⑥	ハヒフヘホ	m n o M N O 6
PQRS マ⑦	マミムメモ	p q r s P Q R S 7
TUV ヤ⑧	ヤユヨヤユヨ	t u v T U V 8
WXYZ ラ⑨	ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9
0	ワヨン`´、。-	0
* 記号	-/. (スペース) ! " # \$ % & ' () * + ,	
# 記号	_ : @ ; < = > ? [] ^	

■入力できる文字の種類や文字数

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○ (* 1)	20文字
	名前	○	○	16文字

* 1: 0~9、*、#、ポーズ(約3秒間の待ち時間)のみ入力できます。

ポーズは  で入力します。入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「_」(アンダーバー)で表示され、外線に発信するときは「-」(ハイフン)で表示されます。

ご使用の
前に

電
話

ファクス

コピー

オプション
サービス

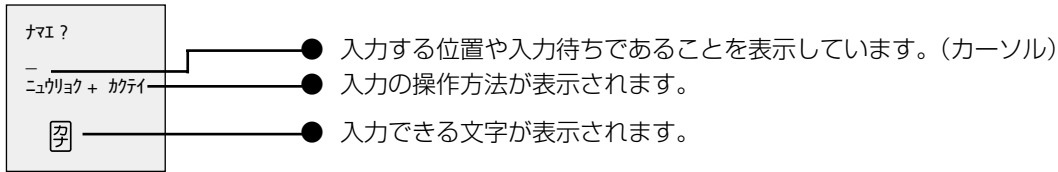
活用する

こんな
ときには

付
録

● 入力画面とボタン操作

本機では下記のような画面で文字を入力します。



例) : 入力できる文字の種類を切り換えます。(→ → ...)

電話番号入力時は、ポーズ(約3秒の待ち時間)を入力します。

: () で (カーソル) 位置を移動させます。

内線/クリア : 選択位置の文字を削除します。
(選択位置より右に文字がないときはバックスペース)

機能/確定 : 入力した文字を確定させます。

● 入力例

■ 入力例 1 : 電話帳の名前に『Bro) ブラザータロウ』と入力する。

再ダイヤル/P/文字切替 ABCカ2 × 5回 PQRSマ7 × 3回 MNQハ6 × 3回 再ダイヤル/P/文字切替 記号1* × 13回

「英」を表示 「カナ」を表示)

の × 2回 × 3回 × 4回 × 1回 × 1回 × 4回

スペース

× 1回 × 1回 × 5回 × 3回

■ 入力例 2

● 文字を修正する	() で戻って文字を削除し、入力し直す
● 文字を削除する	削除したい文字に (カーソル) を合わせて、 (内線/クリア) を押す
● 文字の種類を切り換える	を押す (英→カナ→英…)
● スペースを入れる	スペースが入るまで を押す、または () を押す
● 記号を入力する	入力したい記号ボタン (または) を押して記号を選ぶ
● 同じボタンで続けて文字を入力する	() を押し、 (カーソル) を1文字分移動させて入力する

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

第2章



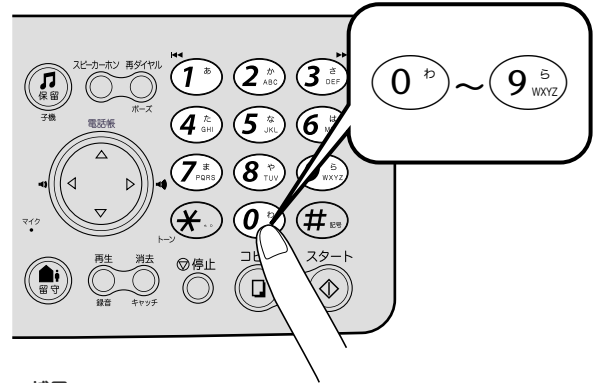
電話

基本的なかけかた・受けかた.....	27
ダイヤルボタンでかける（親機）.....	27
受話器をとって電話を受ける.....	27
ダイヤルボタンでかける（子機）.....	28
子機をとって電話を受ける.....	28
保留にするとき.....	28
留守にするとき.....	28
いろいろなかけかた・受けかた（親機）.....	29
名前で検索してかける.....	29
受話器をとらずにかける.....	29
最後にかけた相手にかける.....	29
最近かけた相手にかける.....	30
最近かかってきた相手にかける.....	30
受話器をとらずに受ける.....	30
「はーい」と返事するだけで受ける.....	30
いろいろなかけかた・受けかた（子機）.....	31
名前で検索してかける.....	31
子機を置いたままかける.....	31
最後にかけた相手にかける.....	31
連続再ダイヤル.....	31
最近かけた相手にかける.....	32
最近かかってきた相手にかける.....	32
子機を置いたまま受ける.....	32
電話帳に登録する.....	33
親機の電話帳（登録する・修正する・削除する）.....	33
子機の電話帳（登録する・修正する・削除する）.....	35
電話帳転送（親機から子機へ・子機から親機へ）.....	37
ハンズフリーで電話を受ける.....	39
ハンズフリーで電話を受ける.....	39
ハンズフリー着信を設定する.....	40
通話のときは.....	41
電話を取り次ぐ.....	41
通話を切り替える.....	41
通話を録音する.....	41
通話を保留にする.....	42
内線で話す.....	43
親機と子機で話す.....	43
子機と子機で話す（簡易子機間通話）.....	43
親機から子機へ呼びかける.....	43
留守番機能を利用する.....	45
出かけるとき.....	45
帰ってきたとき.....	46
・ファクスが届いているとき.....	46
・音声メッセージがあるとき.....	46
外出中の便利な使いかた.....	47
暗証番号設定.....	47
リモコンアクセス.....	47
留守録転送.....	49
ファクス転送.....	49



ダイヤルボタンでかける

受話器をとり、0^わ～9^{わxyz}で相手の電話番号を押す



補足

通話が終わったら受話器を戻します。



受話器をとって電話を受ける

電話が鳴ったら



受話器をとって受ける



補足

通話が終わったら受話器を戻します。



ダイヤルボタンでかける

充電器から子機をとり、**☎0**～**WXYZラ9**で相手の電話番号を押す



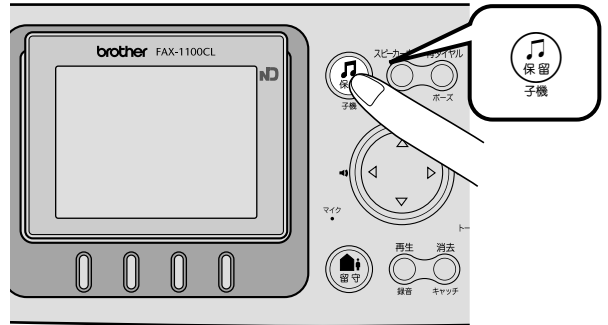
+ 補足

- 外線が点灯してなくても、相手の電話番号を先に押し、**外線**を押して電話をかけることができます。
- 通話が終わったら子機を充電器に戻します。(または**切**を押します。)



保留にするとき

通話中に**保留**を押し、受話器を置く
(子機の場合は、**保留**を押す)



+ 補足

- 通話に戻るときは、受話器をとります。(子機の場合は、**保留**(保留)を押します。)
- 保留にした後、受話器を置かなかったときはもう一度**保留**(保留)を押すと通話に戻ることができます。



子機をとって電話を受ける

充電器から子機をとる

➔ 充電器に置いてないときは**外線**を押します



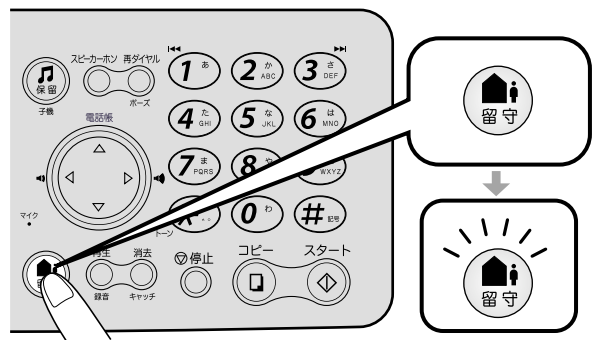
+ 補足

通話が終わったら子機を充電器に戻します(または**切**を押します。)



留守にするとき

留守を押す ➔ ボタンが点灯します



+ 補足

- 詳しくは「留守番機能を利用する」(P.45ページ)を参照してください。

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

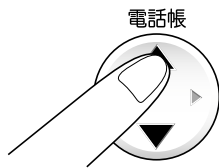
付録



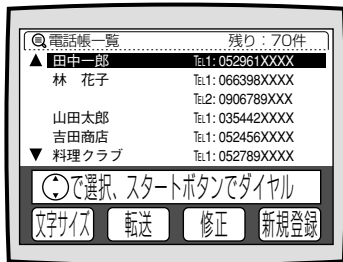
名前で検索してかける

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。
 （「電話帳に登録する」P.33ページ）

1 受話器をとり、「電話帳」を押す



2 (▲▼) で相手の名前を検索する



+ 補足

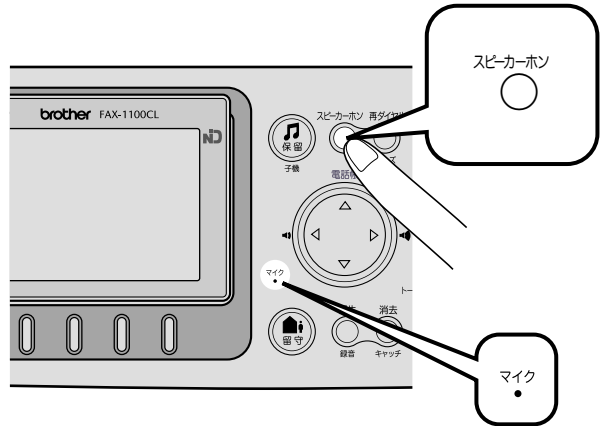
- 画面の左側に「▲」または「▼」が表示されているときは、その方向に表示しきれていない相手先があることを示しています。
- 名前は登録した読み仮名で検索されます。
- ダイヤルボタンを押すと、相手の読み仮名の最初の1文字を含む行を画面の最上段に表示させることができます。
 例) 「清水(シミズ)」を検索したいときは、
 ③を押します
 → 「サ行」の先頭となる相手先が画面の最上段に表示されます。

3 スタート を押す



受話器をとらずにかける

スピーカーホン を押し、相手の電話番号を押す



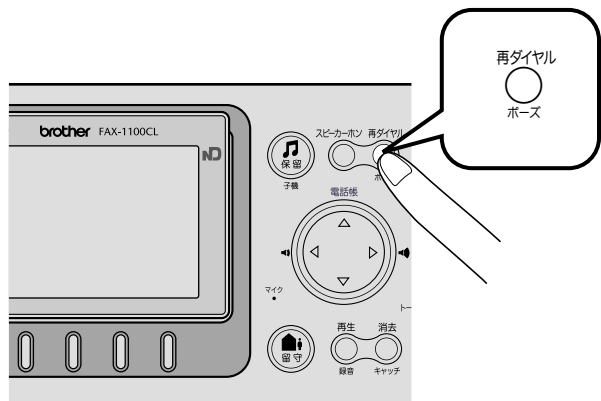
+ 補足

- 相手が出たら、マイクを使って話します。
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
- 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは、もう一度 (スピーカーホン) を押します。
- 通話が終わったら、もう一度 (スピーカーホン) を押します。



最後にかけた相手にかける

受話器をとり、 を押す



+ 補足

通話が終わったら受話器を戻します。

ご使用の前に

電話

ファクス

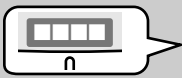
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



登録 入力 修正 確定 このボタンを示しています。



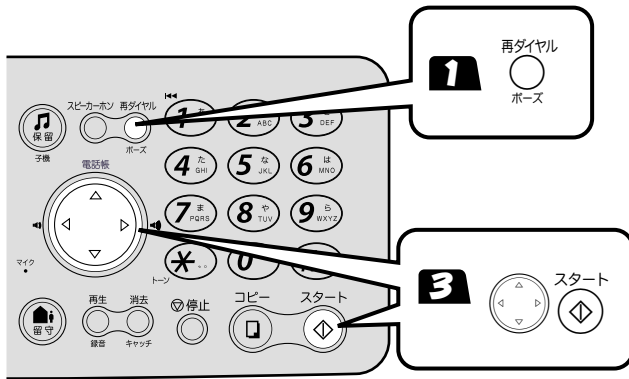
最近かけた相手にかける

- 1 受話器を置いたまま 再ダイヤル **0** を押す
→ 最近かけた相手先が表示されます

+ 補足
記憶している電話番号は最新の10件です。
(親機、子機ごとにそれぞれ最新の10件を記憶しています。)

- 2 受話器をとる

- 3 **0** (▲▼) で電話をかけたい相手先を選んで **0** (スタート) を押す。



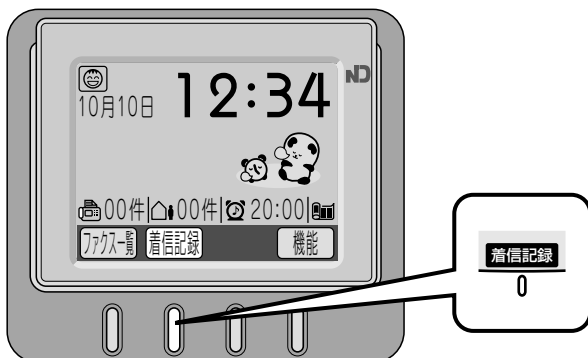
+ 補足
発信記録を削除するときは、発信記録を表示しているときに、**0** (▲▼) 相手先を選んで **0** を押します。



最近かかってきた相手にかける

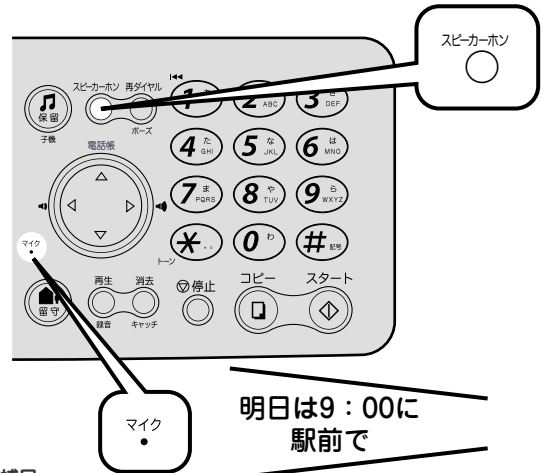
ナンバーディスプレイサービスを契約いただいているときは、本機に記憶された着信記録から電話をかけることができます。

着信記録を利用する **0** 75ページ



受話器をとらずに受ける

- 0** を押し、本体のマイクを使って話す



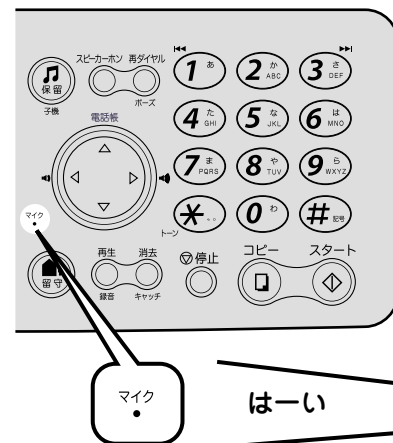
- +** 補足
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとって話してください。
 - 通話が終わったら **0** (スピーカーホン) を押します。



「はい」と返事するだけで受ける

ハンズフリー着信を設定しているときは、「はい」と返事をするだけで電話を受けることができます。

ハンズフリー着信 **0** 39ページ



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

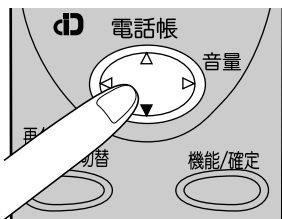
こんな
ときには

付録

名前で検索してかける

子機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。名前の頭文字で検索することもできます。
（「電話帳に登録する」P.35ページ）

1 を押す



+ 補足
● 登録した電話帳のリストが表示されます。

2 (▲▼)で相手の名前を検索し、 を押す



+ 補足
● 登録した番号が1つしかない場合は、 を押すと電話がかかります。
● ダイヤルボタンで相手の名前（読み仮名）の最初の1字（かな）を入力し、 (▲▼)を押すと入力した1字以降の電話番号のリストが表示されます。
名前の頭文字を入力しないときは、「カナ→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。

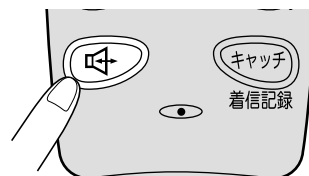
3 電話番号1または2のどちらかの番号を (▲▼)で選び、 を押す



+ 補足
電話番号は1件につき2番号まで登録することができます。（P.35ページ）

子機を置いたままかける

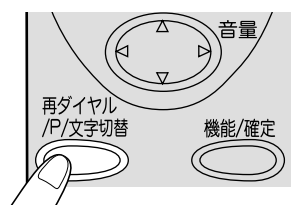
を押し、 ～ で相手の電話番号を押す



+ 補足
● 相手が出たら、マイクを使って話します。
● まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは子機をとってお話ください。
● 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは を押します。
● 通話が終わったら を押します。

最後にかけた相手にかける

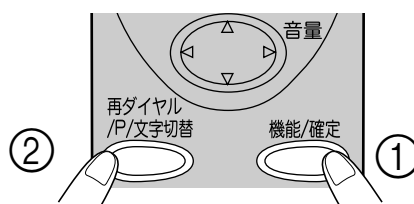
充電器から子機をとり、 を押し
→ が点灯していないときは、押して点灯させます



連続再ダイヤル

チケット予約のときなどに、連続して再ダイヤルします。

充電器から子機をとり、 と を順に押す
→ が点灯していないときは、押して点灯させます



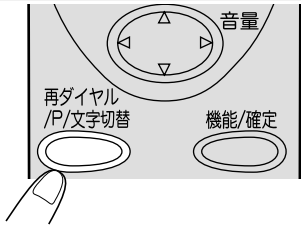
+ 補足
相手が話し中のとき、4秒おきに15回まで繰り返しダイヤルします。



最近かけた相手にかける

最近かけた電話番号を呼び出してかけます。

- 1** **外線**が消灯していることを確認し、再ダイヤル/P/文字切替を押す



- 2** 電話帳で電話番号を選ぶ

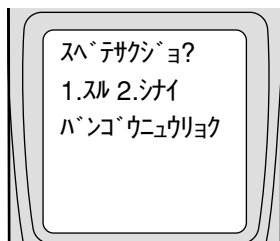


- +** 補足
記憶している電話番号は最新の10件です。
（親機、子機ごとにそれぞれ最新の10件を記憶しています。）

- 3** **外線**を押す



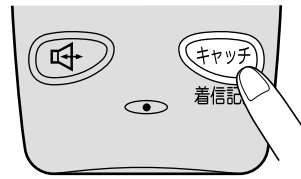
- +** 補足
- 発信記録を個別に削除するとき
削除したい発信記録を選び、内線/クリア（保留）（クリア）を押します。
 - 発信記録を全て削除するとき
機能/確定（機能/確定）を押し、電話帳（▼）で「ハツツハのクリア」を選び、機能/確定（機能/確定）を押します。
下の画面でア1を押します。



最近かかってきた相手にかける

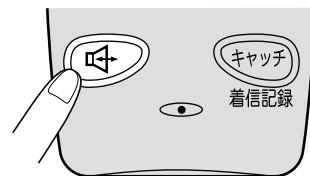
ナンバーディスプレイサービスを契約いただいているときは、本機に記憶された着信記録から電話をかけることができます。

着信記録を利用する 97ページ



子機を置いたまま受ける

- 1** 充電器に置いたまま 着信記録を押す



- +** 補足
- まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは受話器をとってお話ください。
 - 通話が終わったら切を押します。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

電話帳に登録する



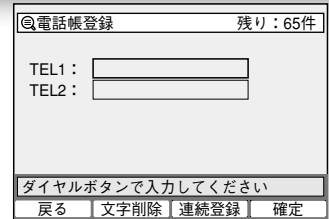
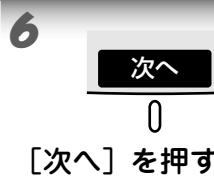
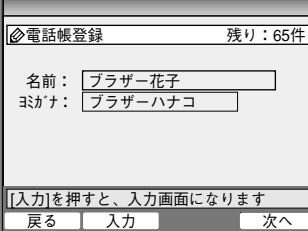
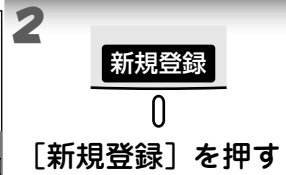
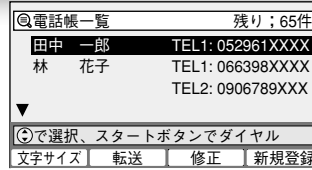
よく電話をかけるお友達や緊急時の連絡先などを「電話帳」に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。さらに、ナンバーディスプレイサービスをご契約いただいている場合は、受けたくない電話（迷惑電話）など、相手先に応じた着信音の鳴り分けを設定できます。（☎71 ページ）

親機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 電話帳にはあらかじめ下記の番号が登録されています。（この番号は修正、削除することができます。）
・ダイレクトクラブFAX
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
・名前:全角10文字まで
・読み仮名:半角16文字まで
・電話番号:20桁まで(数字、*、#、-(ポーズ)のみ)
※ただし、*、#は電話番号の途中に入れないでください。
- 電話帳の内容は子機や携帯電話へ転送することができます。（☎37、101ページ）
※携帯電話を接続するためには、別売りの「携帯電話ケーブル」が必要です。（☎101ページ）

登録する



修正する



- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

削除する



- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



- 構内交換機(PBX)で“0”発信の場合には、“0”の後に^{ダイヤル}0 でポーズ(約3秒間の待ち時間)を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号の後にポーズ(約3秒の待ち時間)を入れてください。
例) 国番号 + ^{ダイヤル}0 + 市外局番 + 電話番号
※ポーズは「-」(ハイフン)で表示されます。
- 操作を中止するには^{停止}0 (停止)を押します。(登録中のデータは破棄されます。)

ご使用の前に

電話

ファクス

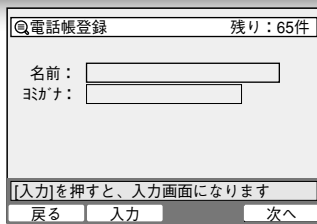
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



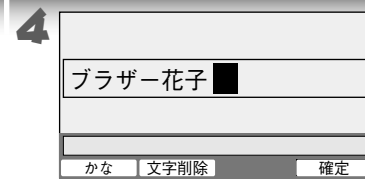
3

入力

0

「入力」を押す

- 読み仮名は自動的に入力されます。



4

確定

0

「確定」を押す

名前を入力する (10文字まで)

- 文字の入れかたは23ページ
- 読み仮名を修正するときは、名前と同様の手順で入力し直します。



7

「TEL1」に、電話番号を入力する (20桁まで)

- 入力できるのは数字、*、#、-のみです。

8

同様に「TEL2」を入力します。

- 入力せずに手順9へ進むこともできます。



9

確定

0

「確定」を押す

- 続けて登録するときは、「連続登録」を押します。

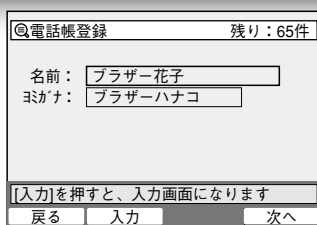


10

停止

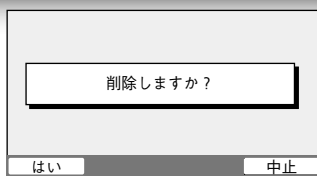
0

「停止」を押す



「登録する」の3へ

- 修正したい項目を選び、「登録する」と同様の手順で修正します。



3

はい

0

「はい」を押す

- 選択した相手先が削除されます。

終了

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

子機の電話帳

電話帳に名前や電話番号を登録します。ナンバーディスプレイをご利用いただいている場合は、個別の着信音を指定することができます。

- 電話帳には100件まで登録できます。
- 電話番号は1件につき2つの電話番号を登録できます。
- 登録できる文字数は下記のとおりです。
 - ・名前: 16文字まで
 - ・電話番号: 20桁まで(数字、*、#、- (ポーズ)のみ)
- ※ただし、*、#は電話番号の途中に入れないでください。
- 電話帳の内容は親機へ転送することができます。

登録する

1

機能/確定

[機能/確定]を押す

[メニュー]▼▲
■デジタライズ
デジタライズ

- 「電話帳登録」が選択されています。

2

機能/確定

[機能/確定]を押す

6

機能/確定

[機能/確定]を押す

チェックイン? ▼▲
■ハル
メロディ

- 曲名は親機から読み込んだメロディ(※87ページ)があるときのみ選択できます。

7

機能/確定

着信音を選び、
[機能/確定]を押す

ハル/メロディ1~3/曲名

修正する

1

機能/確定

[機能/確定]を押す

2

機能/確定

[デジタライズ]を選び、
[機能/確定]を押す

ナンバーハコ
052123XXXX

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

削除する

1

機能/確定

[機能/確定]を押す

2

機能/確定

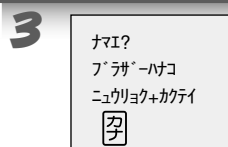
[デジタライズ]を選び、
[機能/確定]を押す

ナンバーハコ
052123XXXX

- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



- 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合には、“0” の後にポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
- 国際電話の場合は、国番号の後にポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
例) 国番号 + ^{ダイヤル} + 市外局番 + 電話番号
※入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「_」(アンダーバー) で表示され、外線に発信するときは「-」(ハイフン) で表示されます。
- 操作を中止するには (切) を押します。(登録中のデータは破棄されます。)
- メロディ 1 ~ 3 には、下記のメロディが登録されています。
 - ・メロディ 1 (TSUNAMI)
 - ・メロディ 2 (威風堂々)
 - ・メロディ 3 (主よ、人の望みの喜びよ)



3 名前を入力する

- 文字の入れかた※25ページ
- 16文字まで入力できます。




4 [機能/確定]を押す



5 TEL1を入力する

- 20桁まで入力できます。

- 電話番号入力画面で  (着信記録) を押すと着信記録から電話番号を選択することができます。

- ナンバーディスプレイサービスを契約していないときは手順7の設定は無効になります。
- 着信音は音を聞きながら選択します。

8 手順5~7と同様の手順でTEL2を入力する



9 [機能/確定]を押す

終了



3 相手先を選び、
[機能/確定] を押す

- ダイヤルボタンで名前の最初の一字を入力すると、その文字から検索できます。

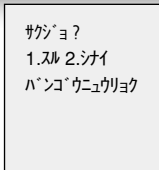
「登録する」の手順2へ

- 「登録する」と同様の手順で修正します。



3 相手先を選び、
[クリア] を押す

- ダイヤルボタンで名前の最初の一字を入力すると、その文字から検索できます。



4 [1] を押す

- ダイヤルボタンで [1.スル] を選びます。

終了

ご使用の前に

電話

ファクス

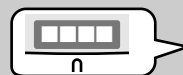
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには


付録



このボタンを示しています。

電話帳転送

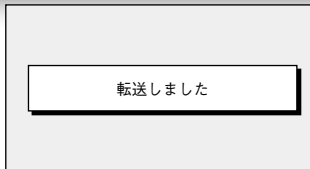
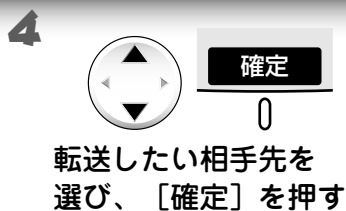
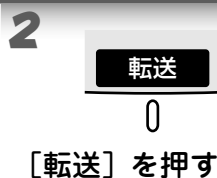
親機から子機、子機から親機へ電話帳データを転送して使用することができます。

- 途中で操作を中止するときは、 (停止) を押してください。

親機から子機へ転送する



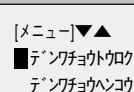
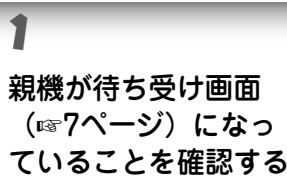
- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



終了

- 続けて転送するときは手順4を繰り返します。

子機から親機へ転送する



- 転送する内容がすでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 転送先に同じ名前があるときでも、電話番号が異なる場合は追加登録されます。
- 着信音の設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信音の設定をし直してください。(「着信音を設定する」 85 ページ)
- 子機で登録されている「TEL1」、「TEL2」については、どちらか 1 つの電話番号が(「TEL1」を優先して)親機の「TEL」として転送されます。着信音の設定は転送されず、ベル音になります。転送後、着信音の設定をし直してください。(親機の電話帳「修正する」 33 ページ)
- 子機の電話帳の残り件数が 0 のときにデータ転送しようとすると、「転送エラーが発生しました 転送を中止します」と表示されます。
- 携帯電話と本機でデータのやり取りをするには、別売の専用ケーブルが必要です。(「携帯電話を接続して利用する」 101 ページ)

ご使用の前に

電話

ファクス

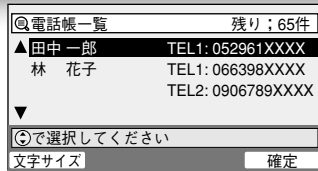
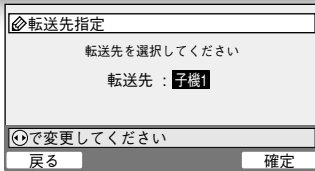
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

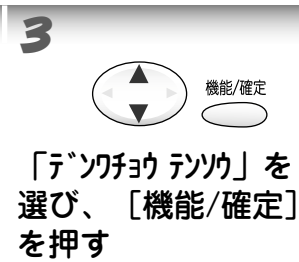
付録



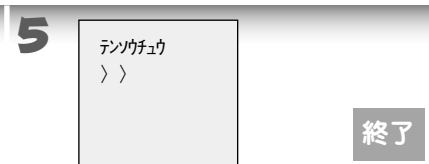
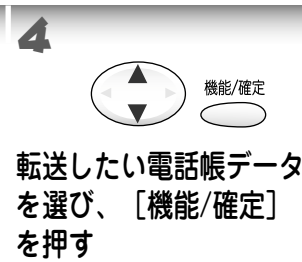
3 転送先を選び、
[確定] を押す

子機 1~4 / 携帯電話

- 増設された子機があるときは、「子機 2~4」も選択肢として表示されます。



- 「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。



- 続けて転送するときは手順3を繰り返します。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

ハンズフリーで電話を受ける

電話がかかってきたときに「はい」と返事をすると、受話器を取らなくても電話に出て、スピーカーホンで通話できます（ハンズフリー着信）。ハンズフリーで電話を受けるときはあらかじめ親機で受けるか子機で受けるか設定しておきます。

「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。

（FAX-1100CLW をお使いいただいている場合や子機を増設した場合は、子機にハンズフリー着信を設定することはできません。）



- 「ハンズフリー着信」を設定しているときの着信音は、着信音の設定にかかわらず、次のようになります。メロディを設定していても無効になりますのでご注意ください。


ハンズフリーの設定	着信音	
	親機	子機
親機にハンズフリーを設定したとき	ベル 1	設定されている着信音
子機にハンズフリーを設定したとき	ベル 1	ベル

●ハンズフリーで電話を受ける

- 1 着信音が鳴ったらマイクに向かって「はい」と言う
→マイクの正面 1メートル以内から声をかけます。

- 2 通話が終わったら スピーカー を押す（子機の場合は 切 を押す）



- 内線電話、留守モードのときはハンズフリーで電話を受けることはできません。
- 本機がいったん着信したあとは、着信音（「トゥルッ、トゥルッ」というベル音）が鳴っていても、ハンズフリーで電話を受けることはできません。
- ハンズフリーで通話ができるのは約1時間までです。1時間以上通話するときは受話器を取って話してください。
- 相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器を取ってお話してください。
- 本機のそばを離れるときや外出するときは誤作動しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。
- 「はい」の検出が可能な距離はマイクの正面約1メートル以内です。
- 留守モードのときは、ハンズフリー着信を設定することはできません。
- 次のときはハンズフリー着信を受けられません。
 - ・着信回数を0回または1回にしているとき
 - ・着信音音量をOFFに設定しているとき
- 「はい」という返事に本機が反応しないときは、声が小さいか返事が短い可能性があります。はっきりと大きな声で呼びかけてください。
- 「ハンズフリー着信を設定する」(40 ページ) の手順5で「機能/確定」を押しても子機のディスプレイが  に戻らないときは、切 を押してください。そのあと、再度ハンズフリー着信の設定をし直します。

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

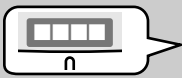
コ
ピー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



登録 入力 修正 確定 このボタンを示しています。

●ハンズフリー着信を設定する

ハンズフリー着信の設定を親機、子機のどちらに設定するか、また「はい」という返事の検出レベルを設定します。ハンズフリー着信の設定は親機で行ないます。

設定する

1

機能

0

スピーカーホン

○

[機能]→[スピーカーホン]を押す

ハンズフリー着信設定

ハンズフリー着信: **しない**

④で変更してください

戻る確定

2

確定

0

着信先を選び、[確定]を押す

しない/親機/子機

3

設定したほうのマイクに向かって「はい」と呼びかけ、「ピピッ」という音が鳴るか確認する

- 呼びかけは設定してから5分以内に行ってください。

4

ハンズフリー感度調整

④で感度を調整します

「はい」と言っても本機が反応しないときは、マイクの感度を調整する

- 3段階の調整ができます。
- 子機の感度を変更するときも、親機の (◀▶) で調整します。

5

確定

0

[確定]を押す

6

停止

○

[停止]を押す

終了

1

機能

0

スピーカーホン

○

[機能]→[スピーカーホン]を押す

ハンズフリー着信設定

ハンズフリー着信: **親機**

④で変更してください

戻る確定

2

確定

0

「しない」を選び、[確定]を押す

しない/親機/子機

終了

解除する

ご使用の前に
 電話
 ファックス
 コピー
 オプションサービス
 活用する
 こんなときには
 付録

通話のときは

電話を取り次ぐ

親機で取った電話を子機に取り次ぎます。

親機から子機へ

1



子機

電話中に「保留」を押す

- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



取り次ぐ子機の内線番号を押す

- 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは(2) (保留)を押します。
- 子機が1台のときは(1*)を押します。

子機で取った電話を親機に取り次ぎます。

子機から親機へ

1

内線/クリア



電話中に「保留」を押す

- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



親機の内線番号「0」を押す

- 保留している相手ともう一度話すときは(切)を押し、呼び出しを中止して(外線)を押します。

FAX-1100CLWのとき、または子機を増設しているとき、子機で取った電話を別の子機にトランスミター形式で取り次ぎます。ここでは子機1で受け、子機2へ取り次ぐ場合の例で説明しています。

子機1から子機2へ

1

内線/クリア



電話中に「保留」を押す

- こちらの声が相手に聞こえなくなります。

2



取り次ぐ子機の内線番号「2」を押す

- 保留している相手ともう一度話すときは(切)を押し、呼び出しを中止して(外線)を押します。

通話を切り替える

受話器の通話とスピーカークホンの通話を切り替えます。

親機

1

スピーカークホン



通話中に「スピーカークホン」を押し、受話器を置く

- スピーカークホンによる通話になります。

2



スピーカークホンの通話をやめるときは、受話器をとる

子機

1



通話中に「スピーカークホン」を押し

- スピーカークホンによる通話になります。

2



スピーカークホンの通話をやめるときは、もう一度「スピーカークホン」を押す

通話を録音する

通話の内容を録音できます。
●録音時間は「機能」の「6.留守設定」で設定できます。(※89ページ)
●スピーカークホンで通話しているときは録音できません。

親機

1



親機で通話中に「録音」を押す

2



録音をやめるときは「停止」を押す

- 録音した内容は留守録メモリに記憶されます。
- 設定した録音時間が過ぎると録音は中止されます。
- 録音した内容を聞くときは、受話器を置いて(再生)を押します。

終了

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

3 **電話だよ**

子機に電話だということ
を伝えて受話器を置く

- 取り次ぎをやめるときは子機で **[切]** を押しと保留している相手と親機が通話できるようになります。

4 **こんにちは!**

● 子機に外線がつながります。

終了

3 **電話だよ**

親機に電話だということ
を伝える

- 取り次ぎをやめるときは親機の受話器を置くと保留している相手と子機が通話できるようになります。

4 **[切]**

[切]を押す

● 親機に外線がつながります。

終了

- 子機2が充電器からとられるか、**[内線/クリア 保留]** (保留) を押されると、子機1、子機2のディスプレイに「マウケチュウ」と表示されます。

3 **電話だよ**

子機1の **[切]** (子機間通話) を押し続けて、子機のディスプレイに「ハケ」と表示されたら、取り次ぎ内容を伝える

- 「ハケ」と表示されるまでに、数秒かかります。
- 取り次ぎをやめるときはディスプレイに「マウケチュウ」と表示されているときに **[外線]** を押しと保留している相手と通話できるようになります。
- 子機1が **[切]** を離すと、子機1、子機2とも待ち受け中になり、子機2が **[切]** を押し続けて、子機2のディスプレイに「ハケ」と表示されると、子機1へ話しかけることができます。

4 **[切]**

「マウケチュウ」の表示のときに **[切]** を押す

● 取り次ぎ先の子機に外線がつながります。

終了

通話を保留にする

相手にちょっと待つて欲しいとき、通話を保留できます。

- 保留にしている間は保留メロディが流れます。

親機

1 **保留** 子機

通話中に **[保留]** を押し、受話器を置く

- 通話が保留されます。(受話器を置かなくても通話は保留されています。)

2 通話に戻るときは、もう一度受話器をとる

- 受話器を置かなかったときは、もう一度 **[切]** を押しと通話に戻ることができます。

子機

1 **保留**

通話中に **[保留]** を押す

- 通話が保留されます。

2 **保留**

通話に戻るときはもう一度 **[保留]** を押す



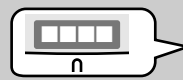
親機と子機の内線番号について
親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

機種	内線番号	0 ^ド	1 ^ホ	2 ^カ ABC	3 ^キ DEF	4 ^タ GHI
FAX-1100CL		親機	子機 1	増設子機 1	増設子機 2	増設子機 3
FAX-1100CLW		親機	子機 1	子機 2	増設子機 1	増設子機 2

※ FAX-1100CLWの子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

内線で話す



このボタンを示しています。

親機、子機間で内線通話や呼び出しができます。

親機と子機で話す

親機から子機、または子機から親機へ内線電話をかけて通話します。

親機から子機へ

1



スピーカーホン

受話器をとる、または [スピーカーホン] を押す

2



[子機] を押す

子機から親機へ

1

内線/クリア



子機を充電器からとり、[保留] を押し、[0] を押す

2



通話をする

子機と子機で話す

子機を2台以上使用しているとき、子機同士でトランシーバーのように交互に通話することができます。(外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。

※43ページ「電話を取り次ぐ」の「子機1から子機2へ」)

子機1

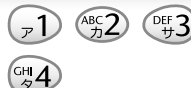
1

内線/クリア



子機を充電器からとり、[保留] を押す

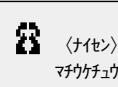
2



呼び出したい子機の内線番号 (例 ABC (カ) 2) を押す

- 子機2の内線呼出音が鳴ります。
- 子機2が内線をとると、「ピロリッ」という音が鳴ります。

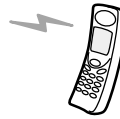
3



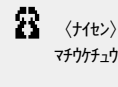
ディスプレイに「マウケチュウ」と表示されたら (子機間通話) を押し続ける

子機2

1



- 子機2の内線呼出音が鳴ります。
- 子機を充電器からとります。充電器から外しているときは (保留) を押します。
- 子機2が内線を受けると、子機1、子機2とも「マウケチュウ」になります。



親機から子機へ呼びかける

親機からすべての子機、または指定した子機にスピーカーを使って呼びかけます。

親機

1



スピーカーホン

受話器をとる、または [スピーカーホン] を押す

2



[子機] を押し、[0] を押す

- 特定の子機に呼びかけるときは、子機の内線番号を押してから (わ) 0 を押します。



- 内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して内線通話を終了させ、もう一度受話器をとると電話がつながります。
 - ・ 親機がスピーカーホンを使って内線通話をしているときに外線がかかってくると、親機の着信音が鳴ります。受話器をとって外線とお話ください。
- 次のときは内線電話中に外から電話がかかっても着信音が鳴りません。
 - ・ ナンバーディスプレイの設定を「あり」にしている
 - ・ 着信音にメロディを設定している
 - ・ 着信回数を「0回」にしている
- 親機からはスピーカーホンでも内線通話ができます。子機では、子機どうしの内線通話のときのみ、スピーカーホンを使った内線電話ができます。
- 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

3

1 あ 2 か ABC 3 さ DEF
4 た GH

通話する子機の内線番号を押す

4

ごはんできました
はい

通話をする

5

スピーカーホン

通話をやめるときは、受話器を置く（[スピーカーホン] でかけた場合は、[スピーカーホン] を押す）

終了

3

切

通話をやめるときは、[切] を押す

終了

4

ピポッ
ハス

「ピポッ」と音が鳴り、ディスプレイに「ハス」と表示されたら、 (子機間通話) を押したまま子機2へ話をする

- 「ハス」と表示されるまで数秒かかります。

5

ごはんできたって!

- (子機間通話) を押ししている間、「ハス」と表示され、話しかけることができます。
- (子機間通話) を離すと子機1、子機2とも「マウケウ」になります。

切

子機2と通話をやめるときは、「マウケウ」の表示のとき [切] を押す

終了

ハク

- 子機2では「ハク」と表示されます。

マウケウ

- 子機2が話をするときは、子機2側の (子機間通話) を押して、手順4と同様に話します。

3

ごはんよ!

呼びかける

4

スピーカーホン

呼びかけが終わったら受話器を置く（[スピーカーホン] で呼びかけた場合は、[スピーカーホン] を押す）

終了



親機と子機の内線番号について
親機と子機の内線番号は次のように設定されます。

機種 \ 内線番号	0 (ロ)	1 (あ)	2 (か ABC)	3 (さ DEF)	4 (た GH)
FAX-1100CL	親機	子機 1	増設子機 1	増設子機 2	増設子機 3
FAX-1100CLW	親機	子機 1	子機 2	増設子機 1	増設子機 2

※ FAX-1100CLW の子機には、内線番号を確認するための子機判別シールがはってあります。



親機がスピーカーホンで内線通話をしているとき、親機と子機を近づけないでください。近づけすぎるとハウリング（「キーン」という音がする）が発生する事があります。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



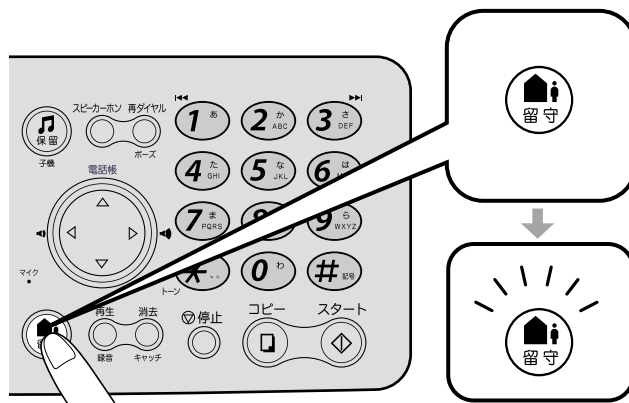
出かけるとき

留守番機能をセットする

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番ボタンを押す

→ ボタンが点灯します



●留守応答メッセージについて

本機にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、自分の声で留守応答メッセージ(2種類)を録音することができます。(☎91ページ)

また、録音した留守応答メッセージは、留守番ボタンを押した後、①または③で選択することができます。(☎89ページ)

●着信回数について

着信してから、本機が自動的に応答するまでに鳴る着信回数を設定することができます。(☎89ページ)

●メッセージの録音時間について

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定することができます。(☎89ページ)

録音時間は、相手側の状況(声の質や周りの騒音など)によって変わることがあります。また、ファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

●留守録モニターについて

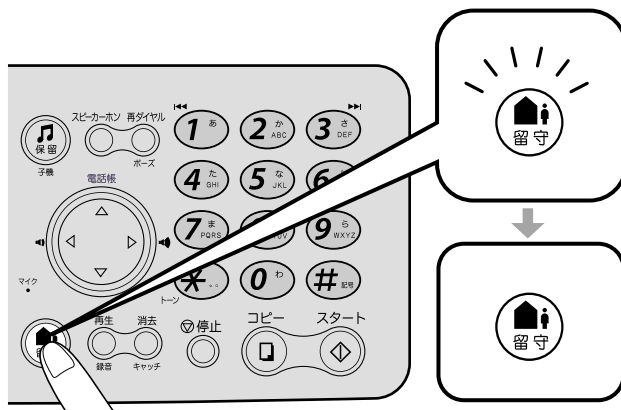
留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く(モニターする)かどうかを設定できます。(☎89ページ)

留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。(☎20ページ)

留守録機能を解除するとき

もう一度留守番ボタンを押す

→ ボタンが消灯します



ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

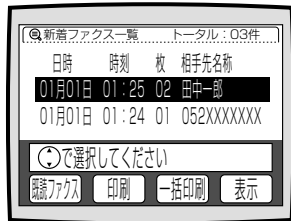
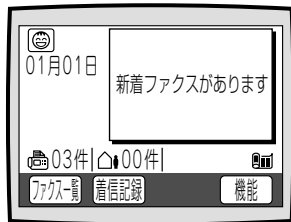
付
録



帰ってきたとき

ファクスメッセージがあるとき

- 1 「ファクス一覧」を押す
→ ファクス一覧が表示されます。



- メモ**
- 1件だけ印刷するときは「印刷」を押します。
 - 一度に全件を印刷するときは「一括印刷」を押します。

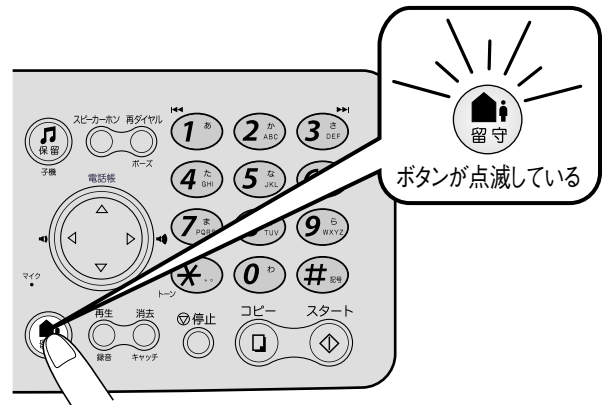
- 2 (▲▼) で見たいファクスを選び、「表示」を押す



- メモ**
- 表示中の1ページを印刷するときは「画面印刷」を押します。(※54ページ)
 - 印刷したあと削除するかどうかを選択します。

音声メッセージがあるとき

- 1 (留守) を押す
→ 新しく録音されたメッセージが再生されます。



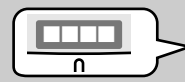
- +** 補足
- 再生 (再生) を押すと、新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージが1件もないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。

音声メッセージを確認する

メッセージを聞き直す	
再生中のとき	1 (再生) を押す
再生中でないとき	再生 (再生) を押す
次のメッセージを聞く	再生中に 3 (DEF) を押す
途中でメッセージの再生をやめる	再生中に (停止) を押す
メッセージを消去する	
再生中のとき	(消去) を押し、確認して もう一度 (消去) を押す
再生中でないとき	(消去) を押し、確認して 「はい」を押す

- +** 補足
- 子機からは、留守番機能の操作(メッセージの再生・消去、留守モードの設定・解除)はできません。

ご使用の
前に電
話フ
ァ
ク
スコ
ピ
ーオ
フ
シ
ー
ブ
ス活
用
す
るこ
ん
な
と
き
に
は付
録



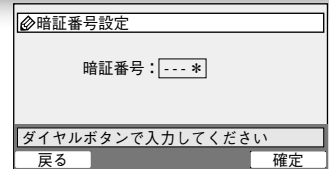
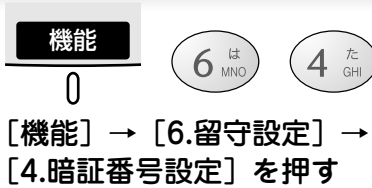
このボタンを示しています。

暗証番号設定

留守録転送やリモコンアクセスをするために、あらかじめ暗証番号を設定します。

暗証番号を設定する

1



リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本機を操作できます。

●リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。

外出先から操作する

1



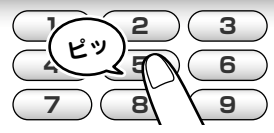
外出先から電話する

2



応答メッセージが流れてきたら [#] [*] を続けて押す

3



暗証番号を入力する

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

■ リモコンコード表

コード	操作内容	
■音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に (1) : メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で (1) : 前のメッセージを再生 再生中に (2) : 次のメッセージを再生 再生中に (9) : 再生を中止
93	メモリーに録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去する メッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
■応答メッセージ		
9410	留守応答メッセージ1を再生し、留守応答メッセージとして設定する	
9420	留守応答メッセージ1を録音する	録音中に (9) : 録音を終了
9411	留守応答メッセージ2を再生し、留守応答メッセージとして設定する	
9421	留守応答メッセージ2を録音する	録音中に (9) : 録音を終了
9412	在宅応答メッセージを再生する	
9422	在宅応答メッセージを録音する	録音中に (9) : 録音を終了



- 「リモコンアクセスカード」(P.140 ページ) を切り取ってお使いいただくと便利です。

2

暗証番号を入力する

- お買い上げ時の暗証番号は「---」に設定されています。
- 暗証番号は0⁰~9⁹、*、#を使った3桁の番号と「*」で構成されま
す。

3

【確定】を押す

4

【停止】を押す

終了

- 暗証番号を受けつけると音声メッセージの件数を音声でお知らせします。

4

リモコンコードを入力する

- 例) 音声メッセージを再生するときは9 1を入力する

5

終了するときは [9] [0] を続けて押す

終了

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

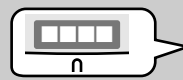
オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

コード	操作内容	
■設定		
951	留守録転送、ファクス転送の設定を「しない」にする	
952	ファクス転送を設定する (番号が登録されていないときは設定不可)	
953	留守録転送を設定する (番号が登録されていないときは設定不可)	
954	ファクス転送先を設定する	9 5 4 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を2回押す。 ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
955	留守録転送先を設定する	9 5 5 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を2回押す。留守録転送の設定がされていないときは自動的に「留守録転送」になります。
956	みるだけ受信を「する」に設定する	
957	みるだけ受信を「しない」に設定する	
■メモリー操作		
961	メモリー使用状況リストを取り出す	9 6 1 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を2回押して受話器を置く
962	メモリーに記憶された未読ファクスメッセージを取り出す	9 6 2 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を2回押して受話器を置く
963	メモリーに記憶された既読ファクスメッセージを消去する	消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がある
971	ファクスメッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がある 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がある
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がある 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がある
■モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする (留守モードを解除する)	
■リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	



このボタンを示しています。

留守録転送

留守モードのときに音声メッセージが録音されると、外出先の指定した電話に転送します。

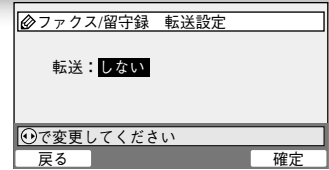
- 「ファクス転送」と同時に設定することはできません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。
- 転送先の電話が話し中のとき、呼びだしても電話に出ないとき、暗証番号が押されないときは、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。(※47ページ)

留守録転送する

1



[機能] → [6.留守設定] → [5.ファクス/留守録転送] を押す



転送先で確認する

1



音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

- 暗証番号の設定(※47ページ)

2



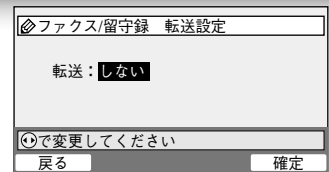
メッセージを聞く

解除する

1



[機能] → [6.留守設定] → [5.ファクス/留守録転送] を押す



ファクス転送

留守モードのときにファクスが着信すると、本体のメモリーに受信して外出先の指定したファクシミリに転送します。

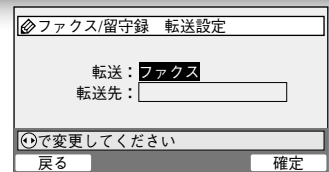
- 「留守録転送」と同時に設定することはできません。
- 転送先のファクシミリが通話中のときは、8回まで再ダイヤルされます。
- 留守モードのときのみ転送できます。

ファクス転送する

1



[機能] → [6.留守設定] → [5.ファクス/留守録転送] を押す

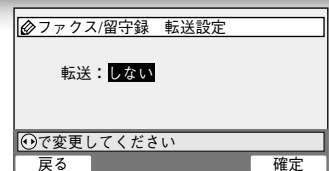


解除する

1



[機能] → [6.留守設定] → [5.ファクス/留守録転送] を押す



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

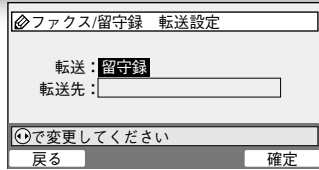
付録

2



「留守録」を選ぶ

しない/ファクス/留守録



転送先の電話番号を入力する。

3

確定

0

「確定」を押す

終了

- 留守モードにセットすると、待ち受け画面に「留守録転送」と表示されます。

- 2件以上あるときは連続して再生されます。
- 再生終了後に電話は自動的に切れます。

終了

2



確定

0

「しない」を選び、「確定」を押す

しない/ファクス/留守録

終了

2



「ファクス」を選ぶ

しない/ファクス/留守録

3



〈転送先〉を選ぶ

4



ファクス番号を入力する

5

確定

0

「確定」を押す

終了

- 留守モードにセットすると、待ち受け画面に「ファクス転送」と表示されます。

2



確定

0

「しない」を選び、「確定」を押す

しない/ファクス/留守録

終了

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

第3章



ファクス

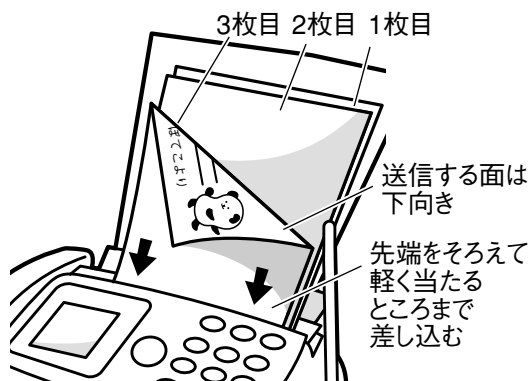
ファクスを送る	52
ファクスだけをすぐに送る	52
話しをしてから送る	52
ファクスを受ける	53
自動的に受ける	53
子機で受ける	53
電話に出してから受ける	53
受けた内容をディスプレイで見る（みるだけ受信）	54
いろいろな送りかた	55
電話予約	55
タイマー送信	55
海外送信	55
送付書送信	57
メモリー送信	59
一括送信	59
送信設定の解除	59
ハンドスキャナーで読み取った内容を送信	59
いろいろな受けかた	61
親切受信	61
A4 自動縮小受信	61
みるだけ受信	61
ポーリング受信	61

ファクスを送る



ファクスだけを すぐに送る

1 原稿をセットする



+ 補足
一度にセットできるのは10枚までです。

2 ダイヤルする、または電話帳から相手を選ぶ



画質、濃度を調整できます。
(☎84ページ)

3 **スタート** を押す

送るのをやめるときは

- ファクスを途中で中止したいときは、**停止** を押します。
- 繰り込まれていない原稿を取り除き、残った原稿をメッセージにしたがって排紙します。

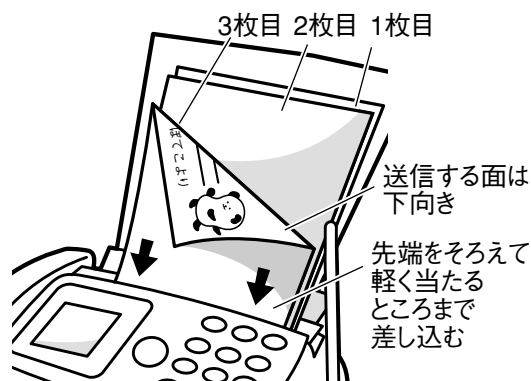


話しをしてから 送る

相手と話しをしてファクスを送ることを伝えてから送ります。

1 相手に電話をかけ、話しをする

2 原稿をセットする



+ 補足
一度にセットできるのは10枚までです。

3 相手側のスタートボタンを押してもらう



4 受話器から音がしたら **スタート** を押す



5 受話器を戻す

ご使用の
前に

電
話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

付
録



送信できなかったときは

- 「ファクスだけをすぐに送る」の手順でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に8回まで「再ダイヤル」を行います。このとき、ディスプレイには「再ダイヤル待機中」と表示されます。（「再ダイヤル」を停止するときは**停止**を押します。）それでも送信できなかったときは、送信レポート（☎95ページ）がプリントされます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
- 「話しをしてから送る」の手順でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは**再ダイヤル**（再ダイヤル）を押します。

ファクスを受ける

ファクスをご利用になる頻度によって、受信のしかたを設定することができます。(「受信のしかた」 21 ページ)

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

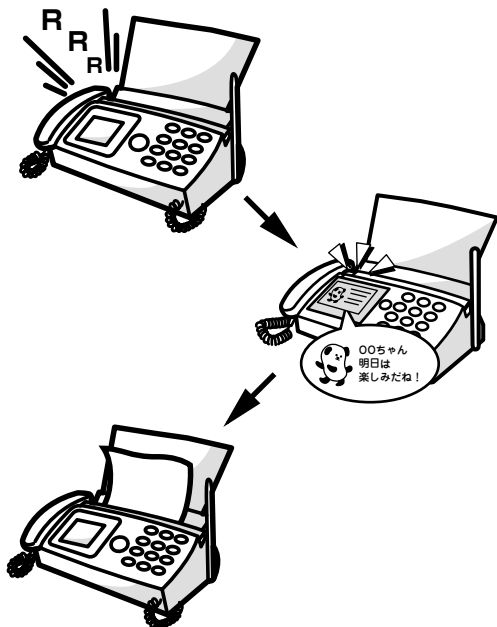
こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



自動的に受ける

設定した回数の着信ベルが鳴り終ると、本機が自動的に応答します。このとき、相手がファクスだった場合は、自動的に受信します。



補足

- 着信回数を「無制限」にしているときは自動的に受信しません。(21ページ)
- ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、ディスプレイで内容を確認できます。初めから記録紙で受信したいときは「みるだけ受信:しない」にしてください。(61ページ)
※ 「みるだけ受信:しない」に設定すると、ディスプレイで確認したり、後でもう一度印刷したりすることはできません。
- あらかじめ多め(50枚以下)に記録紙をセットすることをおすすめします。



子機で受ける

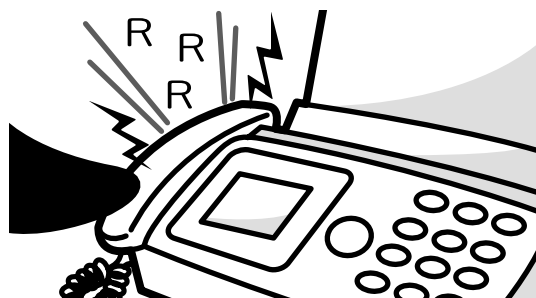
あらかじめ「親切受信」を「する」に設定しておくと、子機を取って約7秒後に自動的に受信します。(お買い上げ時は「親切受信:する」に設定されています。(61ページ) 親切受信を設定していないときや、相手と話した後に受信するときは、親機の^{スタート}を押して受信します。(53ページ)



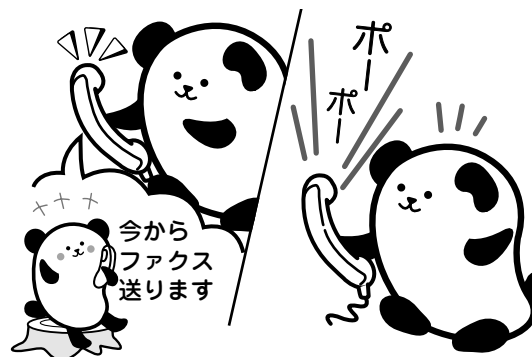
電話に出してから受ける

いちど電話に出してからファクスを受信します。

1 電話を受ける



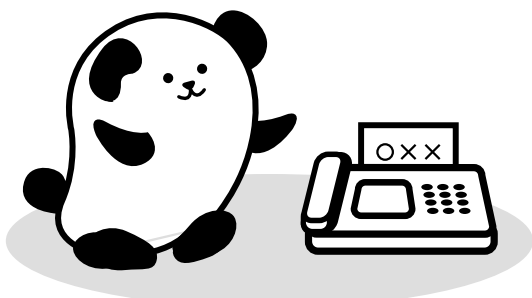
2 相手と話をしたあと、または「ポー、ポー」と音がしていたら、^{スタート}を押す



補足

原稿がセットされているときは取り除いてから^{スタート}を押します。

3 受話器を置く





受けた内容をディスプレイで見る (みるだけ受信) / 印刷する

新しく届いたファクスや、以前受信したファクスの内容を確認できます。お買い上げ時は「みるだけ受信:する」に設定されています。

1 ファクスを受信したことが表示されたら、「ファクス一覧」を押す

05件 ※メモリーに記憶しているファクスの件数

新着ファクスがあります

補足 新着ファクスがないときは「既読ファクス一覧」が表示されます。

2 「新着ファクス一覧」が表示される

日時	時刻	枚	相手先名称
▲	01月01日 01:25	01	
▼	01月01日 01:24	01	

◎で選択してください

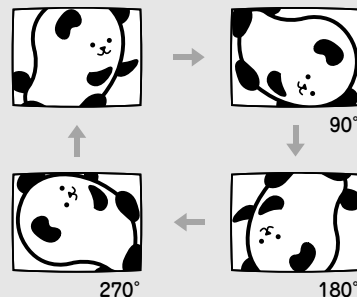
既読ファクス 印刷 一括印刷 表示

表示

ファクスの内容が表示されます。表示後、次の操作ができます。

次ページ : 次のページを表示します。

回転 : 表示を90° ずつ右回転させます。



既読ファクス一覧

日時	時刻	枚	相手先名称
▼	03月15日 15:54	01	052XXXXXX
	03月15日 15:46	01	

◎で選択してください

新着ファクス 印刷 一括印刷 表示

以前受信したファクス一覧が表示されます。

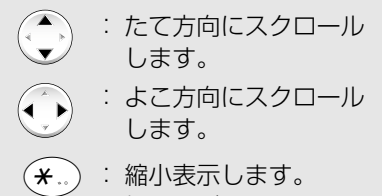
印刷

印刷 : (▲▼) で選んだファクスのみ印刷します。

一括印刷 : 表示しているすべてのファクスを印刷します。

画面印刷 : 表示しているページを印刷します。

戻る : 一覧表示に戻ります。



$$\frac{1}{2} \rightarrow \frac{1}{4} \rightarrow \frac{1}{8}$$

と切り替わります

: 拡大表示します。押すたびに

$$\frac{1}{8} \rightarrow \frac{1}{4} \rightarrow \frac{1}{2}$$

と切り替わります

データの消去

ファクスの内容を表示しているときに **消去** を押し、消去するかどうかの確認メッセージにしたがって「はい」を押します。

- 保存できるファクスはA4サイズで約60枚分です。(原稿の濃度や画質によって枚数は異なります。)
- 不要なファクスのデータは削除してください。

ご使用前に

電話

ファクス

コピー

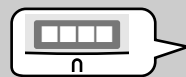
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

いろいろな送りかた



このボタンを示しています。

電話予約

ファクス送信後に相手先の呼出音を鳴らし、通話できます。

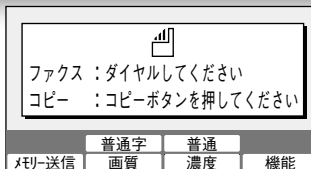
- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときはご利用できません。
- 相手が電話に出ないときは「お電話ください」という伝言メッセージをファクス送信できます。
- この機能は送信後に解除されます。
- 「タイマー送信」「一括送信」を設定すると電話予約は解除されます。

1



原稿を裏向きにセットする

- 原稿について※130ページ



2

機能



[機能] → [3.送信設定] → [5.電話予約] を押す

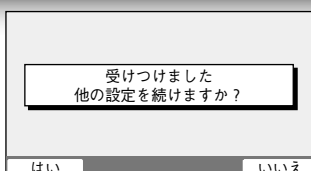
5



確定



メッセージの有無を選び、[確定] を押す



する/しない

6

いいえ



[いいえ] を押す

タイマー送信

指定した時刻にファクスを送信するように設定します。

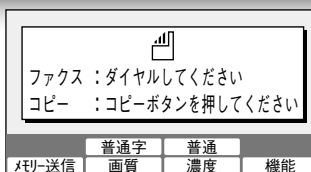
- メモリー送信を使うと3件まで設定できます。
- この機能は送信後に解除されます。
- ディスプレイに[タイマー送信待機中]の表示があるときは、セットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除くと、1分後にタイマー送信が無効になります。

1



原稿を裏向きにセットする

- 原稿について※130ページ



2

機能



[機能] → [3.送信設定] → [6.タイマー送信] を押す

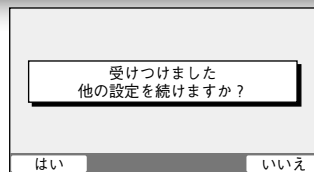
5



確定



送信する時刻を入力し、[確定] を押す



海外送信

海外送信時に設定すると通信エラーを少なくできます。

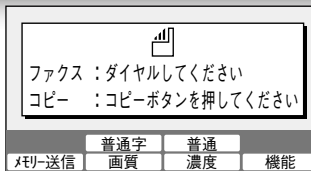
- この機能は送信後に解除されます。

1



原稿を裏向きにセットする

- 原稿について※130ページ



2

機能



[機能] → [3.送信設定] → [4.海外送信モード] を押す

5



ファクス番号を入力する

- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。

6

スタート



[スタート] を押す

- ダイヤルします。

終了

ご使用の前に

電話

ファクス

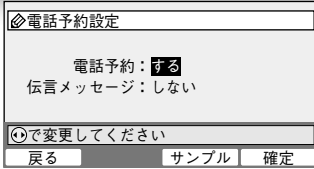
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



「する」を選ぶ

する/しない

● 発信元登録がされていない場合は、伝言メッセージは表示されません



〈伝言メッセージ〉
を選ぶ

- [サンプル] を押すと伝言メッセージのサンプルを印刷できます。



ファクス番号を入力する

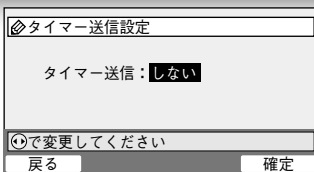
- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。
- ファクスを送信したあと、電話で話します。



[スタート] を押す

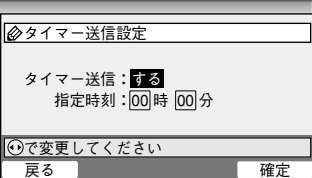
- ダイヤルします。

終了



「する」を選ぶ

しない/する



〈指定時刻〉を選ぶ



[いいえ] を押す



ファクス番号を入力する

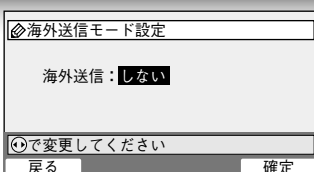
- メモリー送信を使うときはファクス番号を入力する前にここで指定します。



[スタート] を押すと、タイマー送信待機中になる

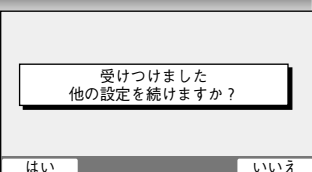
- メモリー送信のときは、原稿の読み取り後にタイマー送信待機中になります。
- 「タイマー送信待機中」でも電話を受けたりかけたりできます。ファクスを送信するときはいったん送信設定を解除してください。(59ページ)
- 相手が話し中などで送信できないときは8回まで再ダイヤルします。
- 送信後、タイマー通信レポートが印刷されます。

終了



「する」を選び、
[確定] を押す

する/しない



[いいえ] を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

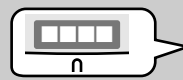
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



このボタンを示しています。

送付書送信

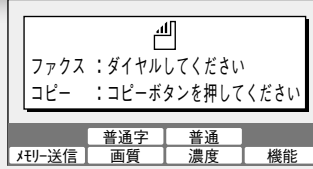
ファクスに自動的に送付書を付けて送信します。

- お買い上げ時は「いつも付けない」に設定されています。
- 送付書の内容はあらかじめ登録しておきます。
- 送付書には相手先名、こちらの名前、電話番号、ファクス番号、送付ページ数、コメントがプリントされます。
- 「送付書送信」を設定するときは、事前に発信元登録をしてください。(発信元登録していないときは、「送付書送信」を設定することができません。)
(「名前とファクス番号を登録する」18ページ)

1



原稿を裏向きにセットする
● 原稿について130ページ



2

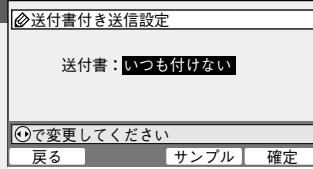


[機能] → [3.送信設定] → [1.送付書付き送信] を押す

送付書を設定する

「いつも付けない」とき

「送付書送信」の1～3の操作を行います



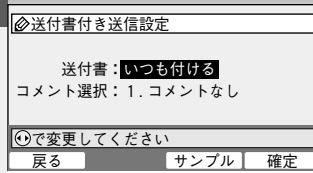
4



[確定] を押す

「いつも付ける」とき

「送付書送信」の1～3の操作を行います



4



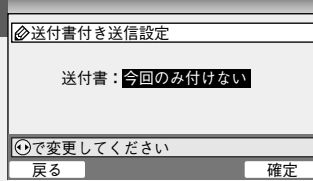
〈コメント選択〉を選ぶ

今回のみ設定を変更する

「今回のみ付けない」とき

「送付書送信」の1～3の操作を行います

- あらかじめ原稿を裏向きにセットしておきます。



4

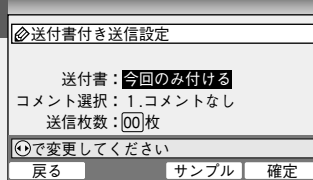


[確定] を押す

「今回のみ付ける」とき

「送付書送信」の1～3の操作を行います

- あらかじめ原稿を裏向きにセットしておきます。



4



〈コメント選択〉を選ぶ

7



送信枚数を入力し、[確定] を押す

- [サンプル] を押すと送付書のサンプルを印刷できます。

コメントを登録する

1



[機能] → [3.送信設定] → [2.送付書コメント登録] を押す

2



コメント番号を選び、[入力] を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

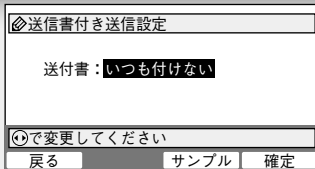
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



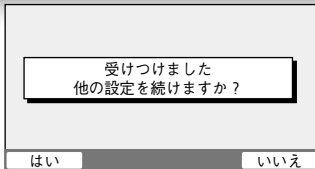
- [サンプル] を押すと送付書のサンプルを印刷できます。

3



送付書の付けかたを選ぶ

いつも付けない/
いつも付ける/
今回のみ付けない/
今回のみ付ける



5

いいえ



[いいえ] を押す

終了

5



コメントを選ぶ

(コメントなし) /
お電話ください /
至急 / 親展 /
(ユーザー設定1) /
(ユーザー設定2)

6

確定



[確定] を押す

- [サンプル] を押すと送付書のサンプルを印刷できます。

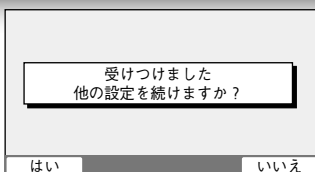
7

いいえ



設定が終了したら
[いいえ] を押す

終了



5

いいえ



[いいえ] を押す

6



ファクス番号を入力する

- メモリー送信を使うときはここで指定します。

7

スタート



[スタート] を押す

終了

5



コメントを選ぶ

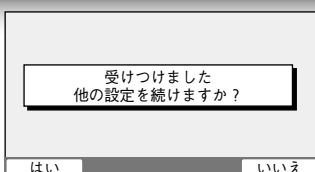
(コメントなし) /
お電話ください /
至急 / 親展 /
(ユーザー設定1) /
(ユーザー設定2)

- ユーザー設定1、2は「コメントを登録する」で設定します。

6



〈送信枚数〉を選ぶ



8

いいえ



[いいえ] を押す

9



ファクス番号を入力する

- メモリー送信を使うときはここで指定します。

10

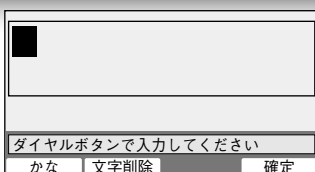
スタート



[スタート] を押す

終了

3



確定



[確定] を押す

- ダイヤルボタンでコメントを入力し、[確定] を押す
- 文字の入れかた 23ページ

4

確定



5

いいえ



設定が終了したら
[いいえ] を選ぶ

終了

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

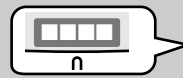
コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



このボタンを示しています。

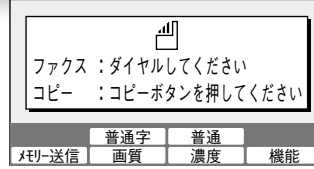
メモリー送信

原稿を本体のメモリーに記憶してから送信します。
● 送信後にこの機能は解除されます。

1



原稿を裏向きにセットする
● 原稿について☎130ページ



● 読み取る画質、濃度を調整できます。

2

メモリー送信

0

[メモリー送信] を押す

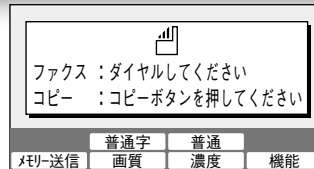
一括送信

指定した複数の相手に同じ原稿を送信します。

1



原稿を裏向きにセットする
● 原稿について☎130ページ



● 読み取る画質、濃度を調整できます。

2

メモリー送信

0

[メモリー送信] を押す

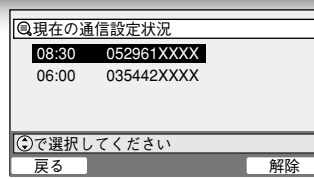
送信設定の解除

タイマー送信など設定している送信の内容を確認し、解除できます。

1



[機能] → [4.待機一覧] を押す



2



解除

0

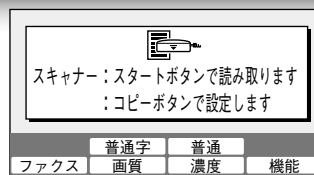
解除したい設定を選び、[解除] を押す

ハンズキャナーで読み取った内容を送信

ハンズキャナーで読み取った内容を送信できます。
● ハンズキャナーで原稿を読み取る (☎65ページ)

1

ハンズキャナーを本体から取り出す (☎4ページ)



● 必要があれば、原稿にあわせて画質や濃度を調整します。(☎84ページ)

4



〈変倍率〉を選び、倍率を設定する

A4 100%送信 / B4 100%送信
/ B4 > A4 縮小送信

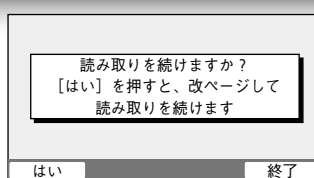
- 「A4 100% 送信」
A4サイズで読み取った原稿を等倍で送信するとき
- 「B4 100% 送信」
B4サイズで読み取った原稿を等倍で送信するとき
- 「B4 > A4 縮小送信」
B4サイズで読み取った原稿をA4サイズに縮小して送信するとき

7

スタート



[スタート] を押す



8

終了

0

[終了] を押す

ご使用の前に

電話

ファクス


コピー

オプションサービス


活用する

こんなときには


付録

3  ●ダイヤルする、または電話帳から相手を選びます。


ファクス番号を入力する

4 スタート  ●原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
●送信できなかったときには送信レポートが印刷されます。

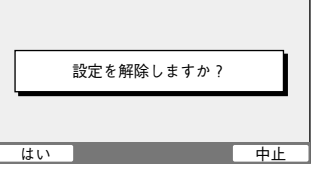
[スタート] を押す 終了

3  ●電話帳から入力します。
●この手順を繰り返します。


電話帳からファクス番号を選び、[一括送信]を押す

4 スタート  ●原稿の読み取りが行われ、ダイヤルします。
●送信のあとに一括送信レポートが印刷されます。


[スタート] を押す 終了

3  ●「中止」を選ぶともとの画面に戻ります。

[はい] を押す

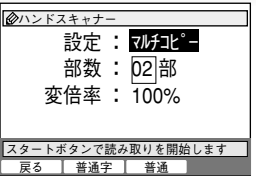
4  ●「中止」を選ぶともとの画面に戻ります。


[停止] を押す 終了

2 コピー  ●「シングルコピー」1枚のコピー
●「マルチコピー」複数枚のコピー
●「送信」読み取った内容をファクス送信
●「詰め込みコピー」読み取り内容を詰めてコピー

[コピー] を押す

●ハンドスキャナーの設定をする画面が表示されます。(※65ページ)





3  <設定> を選び、「送信」を設定する


シングルコピー／マルチコピー／送信／詰め込みコピー

5 ハンドスキャナーを原稿の上に置き、読取開始位置を合わせる (※65ページ)


●読み取りが可能になると、設定されている画質が表示されます。

6 スタート  を押して、ハンドスキャナーをゆっくり動かして原稿を読み取る (※65ページ)


●読み取り直すときは  (停止) を押し手順2へ。
●1ページ分を読み取ります。

9  ●送信後、読み取りデータは破棄されます。

[送信] を押す

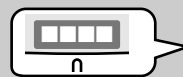
10  ●送信後、読み取りデータは破棄されます。

ダイヤルボタン、または電話帳からファクス番号を入力する

11 スタート  ●送信後、読み取りデータは破棄されます。

[スタート] を押す 終了

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録



このボタンを示しています。

親切受信

受話器で受けたときに相手がファクスだったとき、そのまま7秒待つと自動的にファクス受信します。

- お買い上げ時は「する」に設定されています。

解除する

1



[機能] → [2.受信設定] → [2.親切受信] を押す

A4自動縮小受信

受信した原稿がA4サイズよりも大きいとき、分割されないようにA4サイズに縮小して受信します。

- お買い上げ時は「する」に設定されています。

解除する

1



[機能] → [2.受信設定] → [3.A4自動縮小受信] を押す

みるだけ受信

記録紙の有無に関係なく、本体のメモリーにファクスを受信します。これを「みるだけ受信」といいます。

- お買い上げ時は「する」に設定されています。
- 「しない」を選ぶと、ファクスを受けると記録紙に印刷します。

解除する

1



[機能] → [1.初期設定] → [5.みるだけ受信] を押す

ポーリング受信

こちらから相手のファクシミリを呼び出して受信します。

- 送信側のファクシミリにポーリング機能がないときには利用できないことがあります。
- ポーリング受信の設定は、ポーリング受信実行後、自動的に OFF に戻ります。

解除する

1



[機能] → [2.受信設定] → [4.ポーリング受信] を押す

● 親切受信

- ・ ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。子機で受けたときは子機を充電器に戻してください。
- ・ 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、親機の^{スタート} (スタート) を押さないとファクスを受信することができません。
- ・ 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、親機の^{スタート} (スタート) を押して手動でファクスを受信してください。
- ・ 親切受信は、親機または子機で電話に出た後、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、子機で電話に出たまま親機の^{スタート} (スタート) を押して手動でファクスを受信します。

● A4 自動縮小受信

- ・ 原稿の長さが 550mm 以内のときは、長さに応じて自動縮小して印刷されます。
- ・ 原稿の長さが 550mm 以上のときは、自動縮小されず複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を「しない」にしてください。この場合は、子機で電話に出たまま親機の^{スタート} (スタート) を押して手動でファクスを受信します。



ご使用の前に

電話

ファクス

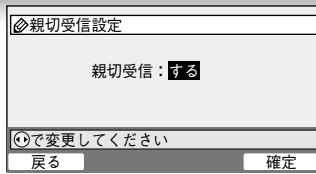
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



2



0

「しない」を選び、[確定]を押す
する/しない

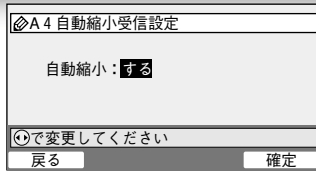
●設定したいときは、「する」を選びます。

3



[停止]を押す

終了



2



0

「しない」を選び、[確定]を押す
する/しない

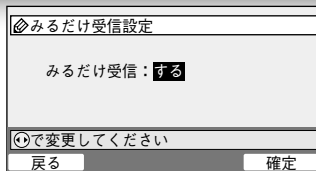
●設定したいときは、「する」を選びます。

3



[停止]を押す

終了



2



0

「しない」を選び、[確定]を押す
する/しない

●設定したいときは、「する」を選びます。

3

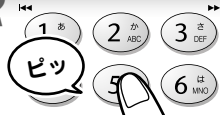


[停止]を押す

終了



2



ファクス番号を入力
する

3



[スタート]を押す
●ダイヤルし、ポーリング
受信を開始します。

4



[停止]を押す

終了



ファクス情報サービスを利用する

このファクスでは、各種のファクス情報サービスを利用できます。

- ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。
- ダイヤル回線をお使いのお客様は、サービスセンターに電話をしたあと、を押してから入力します。
- 情報サービスの情報番号を電話帳に登録する場合、ダイヤル回線をお使いのお客様は登録する番号の前に を入力してください。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

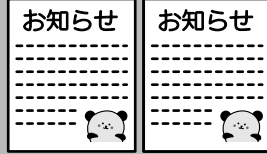
オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

第4章

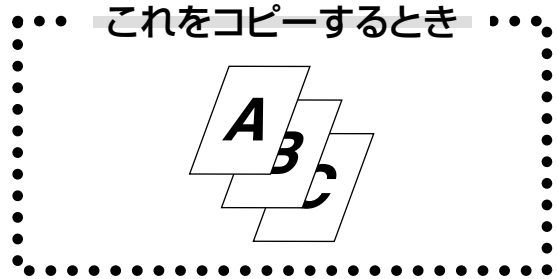


コピー

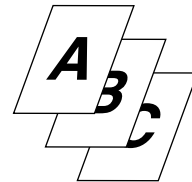
コピーする	63
こんなコピーができます	63
コピーする	64
ハンドスキャナーを使う	65
ハンドスキャナーで原稿を読み取る	65
ハンドスキャナーで読み取った内容を印刷する (画面で確認する)	66



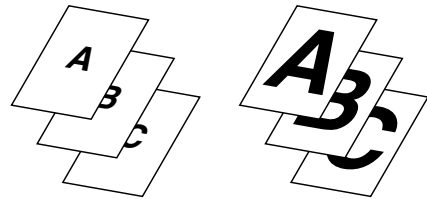
こんなコピーができます



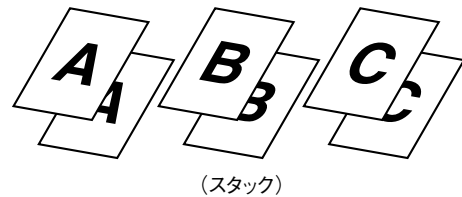
そのままコピー



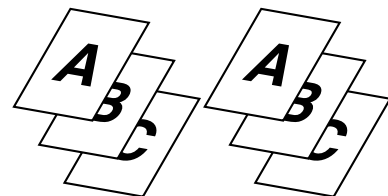
拡大・縮小コピー



マルチコピー (複数枚コピー)



(スタック)

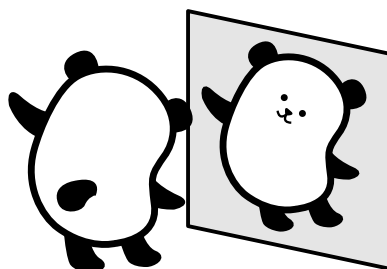
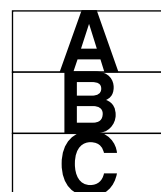


(ソート)

原稿ページの順にソート(並べ替え)できます。

詰め込みコピー

※ハンドスキャナー使用時

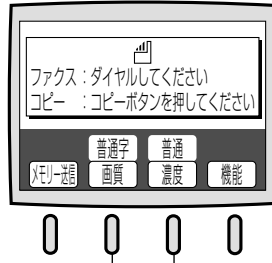
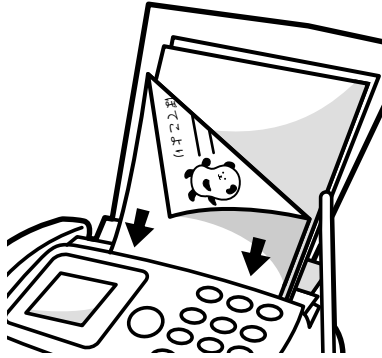




コピーする

原稿をセットするとセットされた原稿がA4かB4かを自動で検知します。

1 原稿と記録紙をセットする



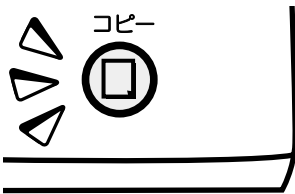
この画面で画質、濃度を調整します。(※84ページ)



補足

- 一度にセットできる原稿は10枚までです。
- 本体にハンドスキャナーがセットされていることを確認してください。
- あらかじめコピーするときの原稿濃度を設定しておくことができます。いったん設定すると、次に設定を変更するまで同じ濃度で原稿を読み取ります。(「濃度の調整」※96ページ)

2 コピーを押す



補足

拡大・縮小やソート、複数枚設定などをしない場合は、手順4へ。

3 コピー内容を設定する



● コピーする枚数

0部～9部で入力します。

● 拡大・縮小率

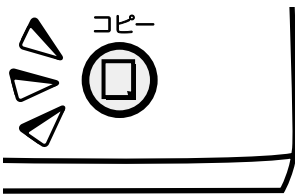
⏪ (◀▶) で選びます。

自動、100%、120%、125%、150%、50%、75%、B4>A4縮小(83%相当)、87%、93%

● 並べ替え(ソート)

複数枚の原稿を2部以上コピーするとき、原稿のページ順にコピーするかどうかを選びます。

4 コピーを押す

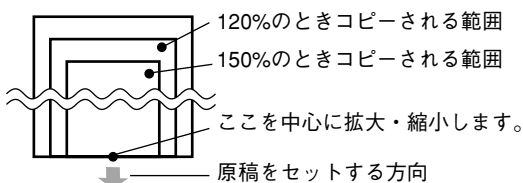


補足

コピーが始まります。ソートを「する」にしているときは原稿を読み取ったあとにコピーが出てきます。途中でやめるときは⏪ (停止) を押します。

メモ

拡大・縮小は原稿を差し込んだ辺の中央を基準に行います。拡大したときは画像の一部が欠けることがあります。



こんなときは

1枚目の原稿を読み取っているときに「メモリーがいっぱい」と表示されたときは⏪ (停止) を押してコピーを中止し、不要なメモリーを削除します。

すでに1枚以上原稿を読み取っているときはそのページだけコピーできます。続けるときは⏪ (コピー) を押しください。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

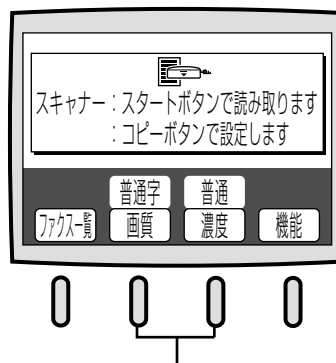
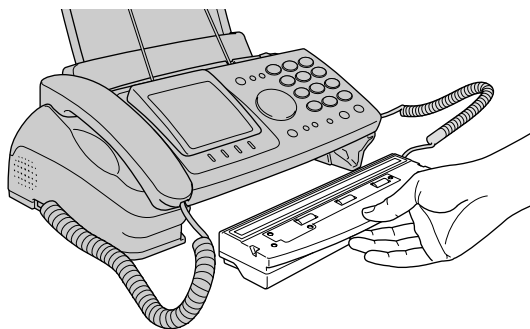
ハンドスキャナーを使う



ハンドスキャナーで原稿を読み取る

読み取りできる原稿枚数はA4標準原稿約30枚までです。(原稿の濃度や画質によって枚数は異なります。)

1 ハンドスキャナーを取り出す



● **画質/濃度**
ボタンを押すと設定できます。
(☞ 84ページ)

2 を押して、ハンドスキャナーの設定をする



- **ハンドスキャナーの設定** (◀▶) で選びます。
 - シングルコピー (1枚のコピー)
 - マルチコピー (複数枚のコピー)
 - 送信 (読み取った内容をファクス送信)
 - 詰め込みコピー (読み取り内容を詰めてコピー)
- **部数**
 (1) ~ (9) で印刷する枚数を設定します。
- **拡大・縮小率**
 (◀▶) で選びます。

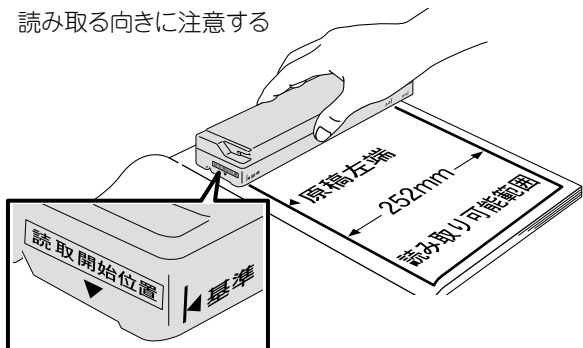


補足
選択したデータに応じて設定できる項目は下記のとおり

ハンドスキャナーの設定	部数	変倍率
シングルコピー	—	100%, 150%, 75%, B4>A4縮小
マルチコピー	あり	100%, B4>A4縮小
詰め込みコピー	—	100%, B4>A4縮小
送信	—	A4 100%送信, B4 100%送信, B4>A4縮小送信

3 ハンドスキャナーを原稿の上に置き、基準と読取開始位置を合わせる

読み取る向きに注意する



4 を押して、ハンドスキャナーを動かす

5 ハンドスキャナーを止めて を押す



- 読み取り中にハンドスキャナーを動かす速度が早すぎると、ディスプレイに「スピードが早すぎます」とメッセージが表示され、音が鳴ります。「ピピピッ」と鳴るとき:読み取れる限界です。もう少しゆっくり動かしてください。「ピー」と鳴るとき:読み取れませんでした。 を押してもう一度読み取り直してください。
- 「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは本体内部のメモリーがいっぱいになっているか、読み取り可能な枚数を超えています。 を押すと、読み取った部分を破棄します。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



ハンドスキャナーで読み取った内容を印刷する（画面で確認する）

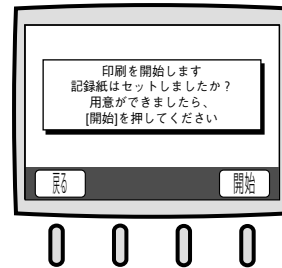
1 (前ページ手順5のつづき)
ハンドスキャナーで原稿を読み取り終わると、「読み取りを続けますか?」と表示される



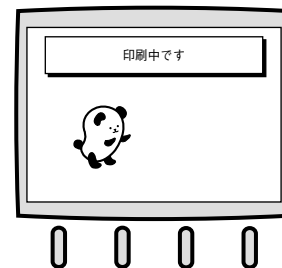
2 「終了」を押す
→ 読み取りを続けるときは「はい」を押して、前ページの手順3へ。



3 「印刷」を押す



4 「開始」を押す
→ 印刷が終了すると手順2の画面に戻ります。



+ 補足
印刷中に○(停止)を押すと、手順2の画面に戻ります。

5 ハンドスキャナーを本体に戻す

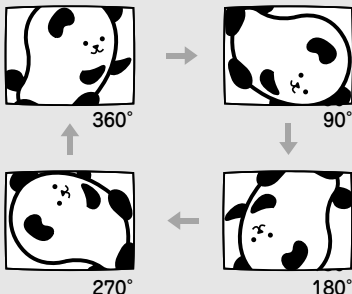
お願い

- 見開きページの中央部分や段差のある原稿を読み取るときは、ハンドスキャナーと原稿の間にすき間ができないように読み取ってください。コピーしたときに黒くなったり文字がぼやけたりする可能性があります。
- のりや修正液、朱肉、ボールペンのインクなどが付いている原稿は、よく乾かしてから読み取ってください。読み取り面のガラスが汚れたり、読み取ったデータを印刷したときに白や黒い線が出る原因になります。
- 表面に凹凸がある原稿、コーティングなどで表面がすべりやすい原稿は、ハンドスキャナー本体や読み取り結果に不都合が生じるときがありますので、注意してください。

表示

次ページ : 次のページを表示します。

回転 : 表示を90° ずつ右回転させます。



印刷 : 読み取った内容を印刷します。

送信 : 表示中の画面をファクス送信できます。(59ページの「ハンドスキャナーで読み取った内容を送信」の手順3と同じ操作になります。)

※ 60ページの手順2の「設定」で「送信」を選んだときのみ表示されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

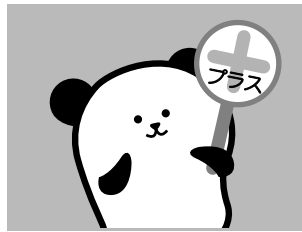
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

第5章



オプションサービス

ナンバーディスプレイを利用する	68
ナンバーディスプレイサービスとは.....	68
ナンバーディスプレイサービスを設定する.....	70
相手によって着信音を変える.....	71
迷惑電話を防止する.....	72
番号非通知の電話を拒否する.....	73
公衆電話からの着信を拒否する.....	73
着信拒否モニターを設定する.....	74
キャッチホンディスプレイサービスを設定する.....	74
着信記録を利用する（親機）.....	75
着信記録を利用する（子機）.....	77
キャッチホンを利用する	78
キャッチホンを受ける（親機）.....	78
キャッチホンを受ける（子機）.....	79
ダイヤルインサービスを利用する	80
ダイヤルインサービスとは.....	80
ダイヤルインサービスの使いかた.....	80
ダイヤルインサービスの設定.....	81
その他のサービスを利用する	82
トーン信号によるサービスを利用する.....	82

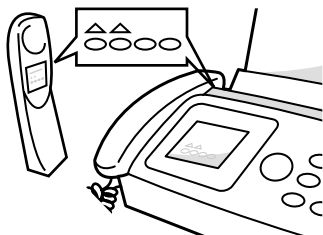
ナンバーディスプレイを利用する

●ナンバーディスプレイサービスとは

NTTが行っているサービスで、電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示します。サービスの詳細についてはNTT（116番）にお問い合わせください。



- 本機の設定だけでは、「ナンバーディスプレイサービス」は利用できません。**NTTとの契約が必要です。(有料)**
- ISDN回線を利用するときは、TA（ターミナルアダプター）のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。



■電話番号表示機能

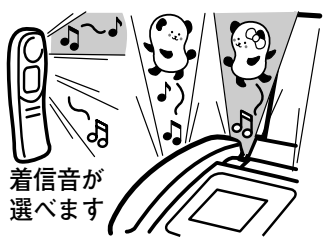
電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



■名前表示機能

親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前がディスプレイに表示されます。

※ 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネームディスプレイ」のご契約に関わらず、本機に登録された名前が表示されます。



着信音
が
選べます

■着信鳴り分け機能

電話番号ごとに着信音や着信先（親機だけ、子機だけなど）を指定できます。着信音は、次の中から指定して登録します。

- ・ 記憶されているベル音（親機4種類、子機1種類）
- ・ 固定メロディ（親機50曲、子機3曲）
- ・ 親機から読み込んだメロディ（子機4曲）



■迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないようにすることができます。

■非通知着信拒否／公衆電話拒否機能

相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ ISDN回線でご利用のTAによっては、着信を拒否できない場合があります。



30件

ブラザーハナコ
03 △△○○○○

OK!!

■着信記録機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。

記録した電話番号は次のように活用できます。

- ・ ディスプレイに表示する
- ・ 「着信記録」として印刷する
- ・ 親機または子機の電話帳に登録する
- ・ 記録した電話番号に電話をかける

着信記録は30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に消去されます。

ご使用
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

■ ネーム・ディスプレイ（親機のみ）

「ネーム・ディスプレイ」は、電話にでる前に、かけてきた相手の名前が、電話番号とともに電話機に表示されるサービスです。（平成14年7月サービス開始）



- 子機は対応していません。
- 電話帳に、かける人の名前をあらかじめ登録していなくても表示することができます。

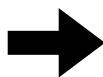
かける人

- ①相手の電話番号をダイヤル



03-1234-5678
ブラザー太郎

- ②発信者番号と「発信者名」を通知



受ける人

- ③発信電話番号とともに「発信者名」を表示



電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話にでてもらえます。

電話にでる前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに、電話機に表示されるので、安心して電話にでることができます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

NTT東日本・NTT西日本にお申込みください。費用はかかりません。

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申込みください。



- **提供地域**
全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）
※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。
- **発信者名を表示する通話**
NTT 東日本およびNTT 西日本の契約者回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。
- **表示される文字**
10文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。
- **料金**
月額使用料：住宅用、事務用とも100円（INS ネット1500については1,000円）
※別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。

（参考）ナンバー・ディスプレイ料金

(1) 月額使用料	加入電話、ライトプラン	400円(住宅用)、1,200円(事務用)
	INS ネット64、INS ネット64ライト	600円(住宅用)、1,800円(事務用)
	INS ネット1500	18,000円
(2) 工事料		2,000円

お問い合わせは

ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター

ハッシュンコウツウチ

0120-848521

受付時間 9:00～17:00

（日曜祝日は休業とさせていただきます）

お申し込みは

局番なしの「116」

受付時間 9:00～17:00

（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

※平成14年7月までのお問い合わせ、お申し込みは「ネームディスプレイセンター 0120-847621」にお願いいたします。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

●ナンバーディスプレイサービスを設定する

NTT とのご契約後、ナンバーディスプレイサービスを利用するときは「あり」に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは「なし」に設定します。

「あり」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」などが設定できます。お買い上げ時は、ナンバーディスプレイ「あり」に設定されています。



- 「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくためには、**NTT との契約が必要です。(有料)**
- 「ダイヤルイン」(モデムダイヤルインを除く)、転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ISDN 回線を利用されているときは、ナンバーディスプレイ対応の TA(ターミナルアダプター)が必要になります。
- 構内交換器に接続しているときは、ナンバーディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続(並列接続)をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

設定手順

1

[機能] → [8.ナンバーディスプレイ] → [1.ナンバーディスプレイ] を押す

ナンバーディスプレイ設定

ナンバーディスプレイ: **あり**

⓪で変更してください

戻る 確定

2

ナンバーディスプレイの設定を選ぶ

あり/なし

3

[確定] を押す

4

[停止] を押す

終了

- 「あり」ナンバーディスプレイが使用できます。(別途、NTT との契約が必要です)。
- 「なし」ナンバーディスプレイが使用できなくなります。

電話がかかってきたときは

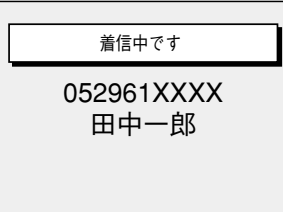
電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示します。

- 着信モード、着信音の回数などの着信の設定に関係なく、自動的に対応します。

親機の場合

着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前と電話番号が表示される。

- 電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。



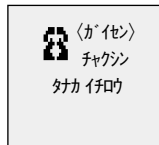
その他の表示

- ヒヨチ (非通知) 相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- コミュニケーション (公衆電話) 公衆電話からかけてきたとき
- ヒョウゲンガイ (表示圏外) 相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施の携帯電話やPHSからかけてきたとき
- 161 (Fネット) FネットでFAXを受信したとき

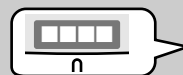
子機の場合

着信音が鳴り、ディスプレイに相手の名前が表示される

- 電話帳に名前を登録していないときは、電話番号が表示されます。



- 「なし」に設定しているときは、「着信鳴り分け」「着信拒否」「着信拒否モニター」などのメニューは表示されません。
- ナンバーディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先に電話番号が表示できないことがあります。
- 構内交換器に接続しているときは、ナンバーディスプレイサービスを利用できません。
- 「186」または「184」を付けて電話帳に登録するときは、同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。
例) ○: 186 XXX XXX XXXX ×: 186 XXX XXXX
(市外局番) (市内局番) (相手先番号) (市内局番) (相手先番号)
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。
- ネーム・ディスプレイの契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。(69 ページ)



このボタンを示しています。

● 相手によって着信音を変える [着信鳴り分け]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「あり」にしているときは、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したり、誰から電話がかかってきたかがわかるように、電話機に登録した電話番号ごとに着信音を指定したりすることができます。

親機の場合は下記の手順で設定します。子機の場合は電話帳登録（☎35 ページ）のときに設定します。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

設定する

1

機能

8 や TUV

2 か ABC

0

[機能]→[8.ナンバーディスプレイ]→[2.着信鳴り分け設定]を押す

☑電話帳一覧 残り：65件
 ▲田中 一郎 TEL1: 052961XXXX
 林 花子 TEL1: 066398XXXX
 TEL2: 0906789XXXX
 ▼
 ☑で選択してください
 文字サイズ 確定

2

▲
▼

確定

0

設定をしたい電話番号を選び、[確定]を押す

☑着信鳴り分け設定
 着信先：すべて
 ジャンル：ベル
 着信音：ベル1
 ☑で変更してください
 戻る 確定

3

▲
▼
←
→

▲
▼

〈着信先〉を選び、[▼]を押す

すべて/親機/子機1/…/子機4/ファクス/迷惑指定

- 「すべて」 親機、子機ともに着信音が鳴ります。
- 「親機/子機1/…/子機4」 指定した親機や子機のみ着信音が鳴ります。
- 「迷惑指定」 着信音が鳴りません。☎72ページ
- 「ファクス」 着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。

4

▲
▼
←
→

▲
▼

〈ジャンル〉を選び、[▼]を押す

- ジャンルについて☎86ページ

5

▲
▼
←
→

〈着信音〉を選び、着信音を設定する

- 着信音について☎86ページ

6

確定

0

[確定]を押す

- 「受け付けました」と表示されます。

7

停止
○

[停止]を押す

終了

71

● 迷惑電話を防止する [迷惑電話]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「あり」にしているときは、迷惑電話などの受けたくない電話を、着信音が鳴らないように設定することができます。

下記の手順で親機で設定します。

設定する

1

機能

0

8 や
TUV

2 か
ABC

☎電話帳一覧	残り：65件
▲田中 一郎	TEL1: 052961XXXX
林 花子	TEL1: 066398XXXX
	TEL2: 0906789XXXX
▼	
④で選択してください	
文字サイズ	確定

[機能]→[8.ナンバーディスプレイ]→[2.着信鳴り分け設定]を押す

2

確定

0

☑着信鳴り分け設定	
着信先：すべて	
ジャンル：ベル	
着信音：ベル1	
④で変更してください	
戻る	確定

設定をしたい電話番号を選び、[確定]を押す

3

〈着信先〉を選び、「迷惑指定」を設定する

すべて/親機/子機1/…/子機4/ファクス/迷惑指定

4

確定

0

[確定]を押す

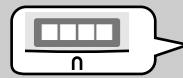
- 「受け付けました」と表示されます。

5

⏏停止

[停止]を押す

終了



このボタンを示しています。

● 番号非通知の電話を拒否する [非通知着信拒否]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「あり」にしているときは、相手が電話番号非通知でかけてきている場合、着信を拒否してお断りメッセージで対応します。

設定する

1 **機能** 0 **8** や TUV **3** さ DEF
[機能]→[8.ナンバーディスプレイ]→[3. 非通知着信拒否]を押す

2 **確定** 0
「する」を選び、[確定]を押す
する/しない

3 **停止** 0
[停止]を押す **終了**

● 公衆電話からの着信を拒否する [公衆電話拒否]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「あり」にしているときは、相手が公衆電話からかけてきている場合、着信を拒否してお断りメッセージで対応します。

設定する

1 **機能** 0 **8** や TUV **4** た GHI
[機能]→[8.ナンバーディスプレイ]→[4. 公衆電話拒否]を押す

2 **確定** 0
「する」を選び、[確定]を押す
する/しない

3 **停止** 0
[停止]を押す **終了**

着信拒否を設定したときは

非通知着信拒否のときや公衆電話着信拒否のときは本機が自動的に対応し電話を切ります。

- 「着信拒否」はナンバーディスプレイの設定が「あり」のときのみ設定できます。



着信拒否設定の電話がかかってくると、親機が着信音を鳴らさずに電話を受ける

下記のメッセージを3回再生した後、自動的に電話を切ります。

- ・非通知着信拒否のとき：

「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけて電話番号を通知しておかけ直してください。」

- ・公衆電話拒否のとき：

「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」

※着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。(P.74ページ)

- ファクスの場合は、ファクスの信号を受信すると自動的に電話を切ります。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

● 着信拒否モニターを設定する [着信拒否モニター]

ナンバーディスプレイサービスの設定を「あり」にしているときは、着信拒否モニターを「する」に設定すると、非通知着信拒否または公衆電話拒否のときの着信拒否メッセージを本機のスピーカーから聞くことができます。お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

※スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

1

機能 0

8 や TUV 5 な JKL

[機能] → [8.ナンバーディスプレイ] → [5.着信拒否モニター] を押す

着信拒否モニター

着信拒否モニター: しない

Ⓞで変更してください

戻る 確定

2

確定 0

「する」を選び、
[確定]を押す

する/しない

3

停止

[停止]を押す

終了

- 「する」
着信を拒否するメッセージが親機のスピーカーから聞こえます。
- 「しない」
着信を拒否するメッセージは聞こえません。

● キャッチホンディスプレイサービスを利用する

キャッチホンディスプレイサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。お買い上げ時は、キャッチホンディスプレイ「なし」に設定されています。



- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホンⅡ」(☎78ページ)と「ナンバーディスプレイサービス」(☎68ページ)を契約した上で、別途NTTとの契約が必要です。(有料)
- ISDN回線を利用されているときは、TA(ターミナルアダプター)のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続(並列接続)をしているときは、キャッチホンディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

1

機能 0

8 や TUV 6 は MNO

[機能] → [8.ナンバーディスプレイ] → [6.キャッチホンディスプレイ] を押す

キャッチホンディスプレイ設定

キャッチホンディスプレイ: あり

Ⓞで変更してください

戻る 確定

2

確定 0

設定を選び、
[確定]を押す

あり/なし

3

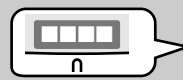
停止

[停止]を押す

終了



- ネーム・ディスプレイの契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。(☎69ページ)
- Ⓞ (停止) を押すと、設定をキャンセルして待ち受け画面に戻ります。



このボタンを示しています。

● 着信記録を利用する

着信記録（親機）

着信記録を利用して電話をかけた、電話帳に登録することができます。

- 操作を中止するには^{停止}（停止）を押します。
- 「ネーム・ディスプレイ」サービスをご利用のときは、名前も登録することができます。
※読みがなは登録されません。
- 「ナンバーディスプレイサービス」の契約をしていないときは、[着信記録]は使えません。（「着信記録がありません」が表示されます。）

履歴を見る

1 [着信記録] を押す

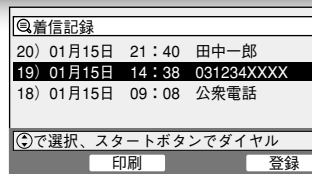
2 着信記録を確認する

3 元の表示に戻すには [停止] を押す

終了

電話帳に登録する

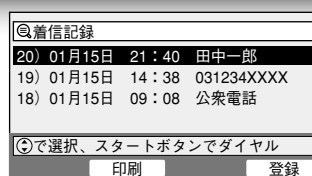
1 [着信記録] を押す



2 着信記録を選び、[登録] を押す

履歴を削除する

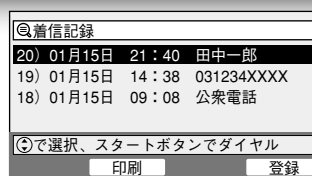
1 [着信記録] を押す



2 着信記録を選び、[消去] を押す

履歴を印刷する

1 [着信記録] を押す



2 [印刷] を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

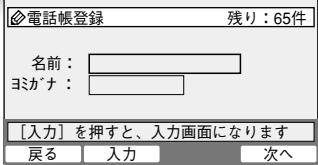


こんなときには

付録

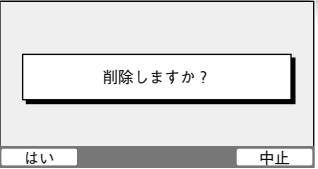
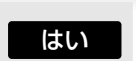

電話する

- 1  [着信記録] を押す
- 2  着信記録を選ぶ
- 3  受話器をあげて [スタート] を押す
●電話がかかります。



終了

- 3  登録内容を入力する
●電話帳登録 33ページ
- 4  [次へ] を押す
- 5  [確定] を押す

終了

- 3  削除しますか?
- 4  [はい] を押す
- 4  [停止] を押す

終了

- 3  記録紙をセットする
- 4  [開始] を押す

終了

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録


着信記録 (子機)

着信記録を利用して電話をかけたり、電話帳に登録することができます。

- 操作を中止するには、**切**を押します。
- 子機の着信履歴は印刷できません。
- 「ナンバーディスプレイサービス」の契約をしていないときは、**モロ** (着信記録) は使えません。(「チャクシンキログアリマセン」が表示されます。)

履歴を見る

1 **キャッチ**
着信記録
[着信記録] を押す

2 
着信記録を確認する

3 **切**
元の表示に戻すには
[切] を押す

終了

電話する

1 **キャッチ**
着信記録
[着信記録] を押す


2 
着信記録を選ぶ

3 **外線**
[外線] を押す
● 電話がかかります。

終了

電話帳に登録する

1 **キャッチ**
着信記録
電話帳登録の電話番号入力画面で、
[着信記録] を押す


2  **機能/確定**
着信記録を選び、
[機能/確定] を押す

3 **機能/確定**
電話帳登録を続ける
● 電話帳登録 35ページ

終了

履歴を削除する


1 **キャッチ**
着信記録
[着信記録] を押す

2  **内線/クリア**
着信記録を選び、
[クリア] を押す

終了

履歴を全削除する

1 **機能/確定**
[機能/確定] を押す

2  **機能/確定**
「チャクシンキログアリマセン」を選び、
[機能/確定] を押す

スハチサクンヨ?

1.スル 2.シナイ

ハンコウウニウケリヨク

3 **ア**
[1] を押す

終了

- 「着信記録 (子機)」の「電話する」の手順 2 で着信記録を表示しているときに **モロ** を押すと、電話番号非通知モードになります。もう一度、**モロ** を押すと、電話番号通知モードに戻ります。電話番号通知モードのときは、**外線** を押すと電話番号の前に「186」をつけて発信されます。電話番号非通知モードのときは、**外線** を押すと電話番号の前に「184」をつけて発信されます。



キャッチホンを利用する

キャッチホン／キャッチホンⅡは、NTTが行っているサービスの1つで外線通話中に別の電話やファクスを受けるためのサービスです。サービスの詳細についてはNTT（116番）にお問い合わせください。



- 「キャッチホン／キャッチホンⅡ」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
- 「ダイヤルインサービス」と同時に契約することはできません。
- ISDN回線を利用されているときは、TA（ターミナルアダプター）のデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

●キャッチホンを受ける（親機）

親機のキャッチホンで電話やファクスを受けます。

電話の場合	1	消去 ○ キャッチ	2	3
	「プップ」 と聞こえたら [キャッチ] を押す	声がきこえたとき	新しくかかってきた 相手と通話する	消去 ○ キャッチ 最初の相手にもどる ときは [キャッチ] を押す
ファクスの場合	1	消去 ○ キャッチ	2	3
	「プップ」 と聞こえたら [キャッチ] を押す	「ポーポー」ときこえたとき ● 親切受信を「ON」に設定し ていると、を押して「ポー ポー」ときこえたときに自動 的にFAX受信することがあり ます。自動的にFAX受信した くないときは親切受信を 「OFF」にしてください。	消去 ○ キャッチ [キャッチ]を押す	消去 ○ キャッチ 最初の相手につながるの で手短かに通話を終える
			4	5
			消去 ○ キャッチ 通話が終わったら、 受話器をあげたまま [キャッチ]を押す	スタート [スタート]を押す



- 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。
- （キャッチ）を押すごとに、通話相手が変わります。
- 通話中にファクスが入ったときは通話を終えてから、親機の （スタート）を押してファクス受信をします。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短かに話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンⅡ」のご利用をおすすめします。

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス








活用する

こんな
ときには


付録

● キャッチホンを受ける（子機）

子機のキャッチホンで電話やファクスを受けます。

ご使用の前に 電話 ファクス コピー オフショ ンサービス 活用する こんな ときには 付録	電話の場合	1 声がきこえたとき  「プップ」 ^① と聞こえたら [キャッチ] を押す	2 新しくかかってきた相手と通話する	3  最初の相手にもどるときは [キャッチ] を押す	終了	
	ファクスの場合	1  「プップ」 ^① と聞こえたら [キャッチ] を押す	2 「ポーポー」 ^② ときこえたとき ● 親切受信を「ON」に設定しているとき、  を押して「ポーポー」ときこえたときに自動的にFAX受信することがあります。自動的にFAX受信したくないときは親切受信を「OFF」にしてください。	3  [キャッチ] を押す	4  通話が終わったら [キャッチ] を押す	5 スタート  親機の [スタート] を押す



- 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。
-  を押すごとに、通話相手が変わります。
- キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短かに話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をおすすめします。

ダイヤルインサービスを利用する

●ダイヤルインサービスとは

ダイヤルインサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、1本の電話回線で、いくつかの電話番号を持つことができるサービスです。本機では2つの電話番号を扱うことができ、「ダイヤルインサービス」の契約を行うと、「ダイヤルインサービス」用の番号を追加指定されます。(以下、最初にNTTと契約した番号を「主番号」、追加された番号を「副番号」と呼びます。)サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。お買い上げ時は「しない」に設定されています。(設定方法 81 ページ)

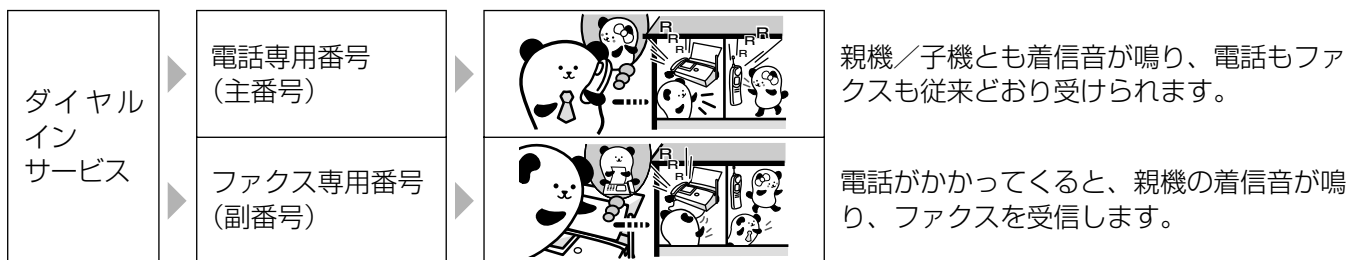


- 「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、**NTTとの契約が必要です。(有料)**
- 「ダイヤルインサービス」または「i・ナンバーサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないときがあります。
- ISDN回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出できるTA(ターミナルアダプター)が必要です。また、この場合はTAのデータ設定を行った後、本機の設定(本項)を行います。
- ブランチ接続(並列接続)をしているときは、ダイヤルインサービスは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検出器などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

●ダイヤルインサービスの使いかた

本機では、この2つの電話番号を下記の設定で使用できます。

■電話とファクスで別々の番号を使う



■親機と子機で別々の番号を使う



- ダイヤルインサービスは1本の電話回線を使用していますので、一方の電話番号が使われている時はもう一方の電話番号を使うことはできません。
- ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは、以下に示すサービスは同時にご利用いただけません。(キャッチホン/三者通話/転送電話/電話会議/トーキ案内/二重番号)詳しくは、NTTにお問い合わせください。
- 契約の際、PB方式を選択した場合、電話番号(副番号)は、4桁を指定してください。
- PB方式のダイヤルインサービスをご利用の場合は、受信モードが在宅モードの着信回数「無制限」に設定されているとき、着信音は25回鳴ります。また、相手が通話する前に電話を切ったときでも、こちら側が受話器を取るまでは25回着信音が鳴り続けます(PB方式のダイヤルインサービスのみ)。
- ISDN回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができるTAが必要です。
- ダイヤルイン番号にかけるときは、相手につながるまでに多少の時間がかかります。(呼出音が鳴るまでに無音状態が約8~10秒続きます。)

ご使用の前に

電話

ファクス

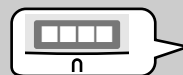
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



このボタンを示しています。

●ダイヤルインサービスの設定

ダイヤルインサービスを利用するときは、次の手順で本機の設定をします。

お買い上げ時は、ダイヤルイン「しない」、ファクスベル回数「00回」に設定されています。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

1

機能

0

9 ら WXYZ 1 あ

[機能] → [9.その他サービス] → [1.ダイヤルイン] を押す

2

確定

0

ダイヤルインの設定を選び、[確定] を押す

しない/親機・子機、電話/ファクス

親機/子機

3

確定

0

それぞれ4桁のダイヤル番号を入力し、[確定] を押す

4

停止

0

[停止] を押す

終了

電話/ファクスのとき

3

確定

0

それぞれ4桁のダイヤル番号を入力し、[確定] を押す

4

確定

0

ファクスベル回数を設定する

5

確定

0

[確定] を押す

6

停止

0

[停止] を押す

終了

● 登録し直すときは、一度、ダイヤルイン「しない」に設定し、もう一度最初から登録し直してください。

メモ


81

その他のサービスを利用する

● トーン信号によるサービスを利用する

本機では、トーン（PB）信号による各種サービス（銀行 ANSWER、クレジット通話サービス、ポケットサービス、照会案内サービス案内、ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール、留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。

具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

プッシュ回線	1  受話器をとる	2  各種サービスの電話番号をダイヤルする	3  サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す	終了	
	ダイヤル回線	1  受話器をとる	2  各種サービスの電話番号をダイヤルする	3  [*]を押す	4  サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

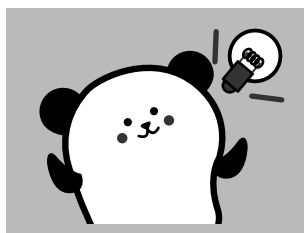
オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

付録

第6章



活用する

原稿に合わせて調整する.....	84
濃度の調整	84
原稿に合わせて画質を調整	84
原稿に合わせて濃度を調整	84
着信音と保留音を設定する.....	85
着信音	85
保留音	85
・メロディー一覧.....	86
子機にメロディーを転送する	87
受信のしかたを設定する.....	89
着信回数設定 (在宅モードのとき・留守モードのとき)	89
留守応答メッセージの選択	89
メッセージの録音時間の設定	89
留守録モニターの設定	89
在宅応答メッセージの切替え	89
応答メッセージの設定 (録音する・消去する・再生する)	91
ディスプレイの明るさを設定する	93
モーニングメロディーを設定する	94
モーニングメロディー (設定する・解除する)	94
レポート、リストを印刷する.....	95
送信レポート	95
通信管理レポート	95
電話帳リスト	95
設定内容リスト.....	95
メモリー使用状況リスト	97
消耗品オーダーシート	97
一括送信レポート.....	97
機能案内リスト.....	97
ユーザ辞書に登録する	99
携帯電話を接続して利用する (別売り品).....	101
使用できる携帯電話一覧	101
本機に携帯電話を接続する	102
電話帳データを転送する	103
他の機器を接続して使う.....	105
パソコンと接続する場合は	105
・一般回線でPC モデムを使う場合、PHONE 端子を使う場合	105
・ISDN をご利用の場合	105
・ADSL 回線をご利用の場合.....	105
ドアホンを使う	106
ドアホンを接続する	106
ドアホンに応答する	107

原稿に合わせて調整する



ファクス送信やコピーするときの画質や濃度を調整します。

濃度の調整

ファクス送信、コピーの濃度を設定します。

- 機能**

0

[機能] → [3.送信設定] → [3.原稿濃度] を押す

原稿濃度設定

原稿濃度：普通

◎で変更してください

戻る 確定
- 確定**

0

原稿濃度を選び、[確定] を押す

普通 / 濃く / 薄く

受けつけました
他の設定を続けますか？

はい いいえ
- いいえ**

0

[いいえ] を押す

終了

原稿に合わせて画質を調整

原稿の文字の大きさや種類によって読み取る画質を選択します。

- ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

- 原稿を裏向きにセットする**

● 原稿について 130ページ

普通字 濃く 機能

メモリー送信 画質 濃度

ファクス：ダイヤルしてください
コピー：コピーボタンを押してください
- 画質**

0

[画質] を選ぶ

● 読み取る細かさを選択します。

普通字 / 細かい字 / 精細字 / 写真

終了

原稿に合わせて濃度を調整

原稿の濃さによって読み取る濃度を選択します。

- ファクス送信、またはコピー終了後は元の設定に戻ります。

- 原稿を裏向きにセットする**

● 原稿について 130ページ

普通字 濃く 機能

メモリー送信 画質 濃度

ファクス：ダイヤルしてください
コピー：コピーボタンを押してください
- 濃度**

0

[濃度] を選ぶ

● 読み取る濃さを選択します。

濃く / 普通 / 薄く

終了



画質調整について

- 画質のお買い上げ時の設定は「普通字」です。
- 画質を選ぶめやすは次のとおりです。
 - ・ 普通字：大きくはっきりと見える文字
 - ・ 細かい字：雑誌のように小さな文字
 - ・ 精細字：新聞のように細かい文字
 - ・ 写真：写真やカラーの原稿
- シングルコピーのときは、「普通字」「細かい字」に設定しても「精細字」でコピーされます。
- マルチコピーのときは、「普通字」に設定しても「細かい字」でコピーされます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

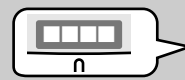
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

着信音と保留音を設定する



このボタンを示しています。

着信したときのベル音（メロディ）と保留音を設定します。

着信音

着信音の鳴りかたを設定します。

- お買い上げ時は、下記のように設定されています。
親機：ジャンル「ベル」
曲「ベル1」
子機：「ベル」
- お買い上げ時、子機が着信音として利用できるのは「ベル／メロディ1～3」のみです。「メロディー一覧」(☞86ページ)の曲を子機の着信音として設定する場合は、「子機にメロディを転送する」(☞87ページ)を行って親機からメロディを取り込んでから、着信音を設定します。

親機

1

機能 0 7 ま POPS 1 あ

[機能] → [7.メロディ設定] → [1.着信音] を選ぶ

着信音

ジャンル：ベル
着信音：ベル1

①で変更してください
戻る 確定

● 現在選択されている着信音が表示され、着信音が聞けます。

2

ジャンルを選び [▼] を押す
ベル/楽しいPOPS・アニメ/季節・イベント/童謡・その他/癒しのクラシック/元気がでるクラシック

3

着信音を選び、[確定] を押す
ベル1～4/メロディ1～50(曲名)

4

停止

終了

子機

1

機能/確定

[機能/確定]を押す

2

「アクションセンター」を選び [機能/確定] を押す

アクション? ▼▲
■ベル
メロディ1

3

着信音を選ぶ

ベル/メロディ1～3/曲名
(曲名は親機から読み込んだメロディがあるときのみ)

4

機能/確定

[機能/確定]を押す

終了

保留音

保留音の鳴りかたを設定します。

- ここで設定する保留音は親機、子機共通です。
- お買い上げ時の設定はジャンル「楽しいPOPS/アニメ」の「いつも何度でも」です。

親機

1

機能 0 7 ま POPS 2 が ABC

[機能] → [7.メロディ設定] → [2.保留メロディ] を選ぶ

保留メロディ

ジャンル：楽しいPOPS/アニメ
保留メロディ：いつも何度でも

①で変更してください
戻る 確定

2

ジャンルを選び [▼] を押す
楽しいPOPS・アニメ/季節・イベント/童謡・その他/癒しのクラシック/元気がでるクラシック

3

保留メロディを選び、[確定] を押す
メロディ1～50(曲名)

4

停止

終了

子機

1

ハンズフリー着信を設定していると、着信音はお買い上げ時のベル音が鳴ります。(「ハンズフリーで電話を受ける」☞39ページ)

2

ディスプレイには曲名が表示されます。

3

子機のメロディ1～3には、下記のメロディが登録されています。
・メロディ1 (TSUNAMI) 、メロディ2 (威風堂々)、メロディ3 (主よ、人の望みの喜びよ)

4

着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。(受話器を上げていると設定できません。)

● 構内交換機やTA (ターミナルアダプター) などに接続している場合で、着信音を「ベル1」に設定しているときは、メニュー選択時に聴こえる「ベル1」のベル音と異なるベル音が鳴ることがあります。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



メモ



お願い

■ メロディー一覧



● メロディーの選びかた ●

例えば、現在は「いつも何度でも」が設定されていて、新しく「花」を設定したいときは、下記ようになります。

メロディー選択画面 (着信音の場合)



ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

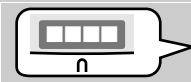
コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



このボタンを示しています。

子機にメロディを転送する

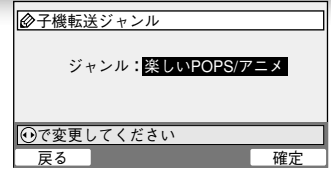
親機に登録されているメロディの中から好きな曲を選んで、4曲まで子機に登録することができます。登録されたメロディは子機の着信音として使用できます。(子機で使用する場合は、メロディは単音になります。)登録は1曲ずつ行います。

転送するジャンルを選ぶ

1



親機の[機能]→[7.メロディ設定]→
[4.子機転送ジャンル]を押す



子機に登録する

1

親機が待ち受け画面
(857ページ) になっていることを確認する

2

子機の[機能/確定]を押す

3

「メロディヨミコミ」を選び、
[機能/確定]を押す
●登録可能なメロディが表示されます。

メロディを消去する

7

[機能/確定]を押す
●登録を終了します。
●内蔵/クリア (クリア) を押すと待ち受け画面に戻ります

8

登録したメロディを設定します
●子機に登録したメロディを着信音として使用するには、着信音の設定をする必要があります。8585ページ

終了

1

[機能/確定]を押す

2

「チャクソソヤンタク」を選び、
[機能/確定]を押す
●登録されているメロディが表示されます。



- 着信音として設定されているメロディが上書き(更新)されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書きされたメロディが着信音として設定されます。
- 着信音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに着信音「ベル」が設定されます。
- 親機から読み込んだメロディ以外の着信音は消去できません。
- 消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信音の選択メニューには表示されません。
- 子機で「メロディヨミコミ」を行ったときに、「オヤキニ チカツイテクダサイ《ツウワケンガイ》」と表示された場合は、親機が待ち受け画面になっているか確認してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー


オプションサービス

活用する

こんなときには


付録

2



転送したい曲のジャンルを選び、[確定]を押す
楽しいPOPS・アニメ/季節・イベント/童謡・その他/癒しのクラシック/元気が出るクラシック
 ●ジャンルについて 86ページ

3

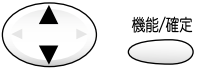


[停止]を押して、待ち受け画面 (7ページ) にする

4


「子機に登録する」の手順にしたがって、子機にメロディを設定する

4



登録したいメロディを選び、[機能/確定]を押す
 ●選んだメロディが再生されます。

5

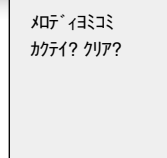


登録する場合は、メロディ再生中に[機能/確定]を押す
 ●登録しない場合は [切] を押します。

6


メロディデータが読み込まれます

- メロディデータの読み込みが終了すると、読み込んだメロディが再生されます。



●すでに4曲登録しているときは、上書きする曲名を選びます。


3



消去したいメロディを選び、[クリア]を押す

ショウキョ?
1.スル 2.シナイ
ハンコウ ウェウリョク

4



[1] を押す

終了

- 選んだメロディが消去されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

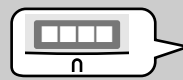
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

受信のしかたを設定する



このボタンを示しています。

着信回数の設定

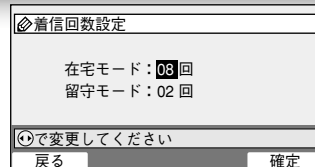
着信してから本機が応答するまでに鳴る着信回数を設定します。

- お買い上げ時は「在宅モード」8回、「留守モード」2回に設定されています。
- 着信回数を0回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ呼出音を鳴らすことができます。[無鳴動受信] (回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも数回着信音が鳴ることがあります。

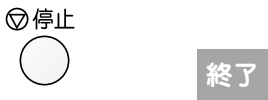
1



[機能] → [2.受信設定] → [1.着信回数] を押す



6



[停止]を押す

ご使用の前に

留守応答メッセージの選択

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1



[留守]を押す

- 留守ボタンが点灯しているときは、 を押し、ボタンを消灯させてから再度 を押ししてください。

2



メッセージ再生中に [1] または [3] を押す

- 留守応答メッセージを選びます。

応答再生 / 応答再生1 / 応答再生2

電話

ファクス

メッセージの録音時間の設定

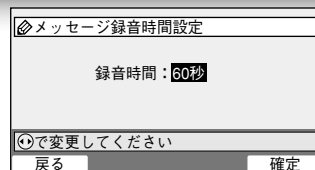
留守モード時や通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。

- 1回の最大録音時間は3分、総録音時間は約30分です。

1



[機能] → [6.留守設定] → [2.メッセージ録音時間] を押す



コピー

オプションサービス

留守録モニターの設定

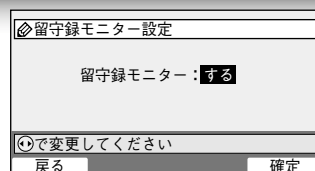
留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く(モニターする)かどうかを設定できます。

- お買い上げ時は「する」に設定されています。

1



[機能] → [6.留守設定] → [3.留守録モニター] を押す



活用する

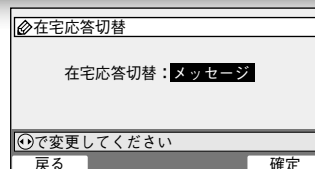
在宅応答メッセージの切替え

在宅モードのときの応答のしかたを選択します。

1



[機能] → [2.受信設定] → [5.在宅応答切替] を押す





こんなときには


付録




- 「メッセージ」を選択して、本機が自動的に電話を受けたとき、応答メッセージを設定していない場合は、本機に設定されている固定応答メッセージが再生されます。
- 「ベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「ベル」から「メッセージ」に変更されます。(リモコンアクセスで操作した場合も変更されます。)



2  在宅モードの着信回数を選ぶ
00~15/無制限

3  〈留守モード〉を選ぶ


4  留守モードの着信回数を選ぶ
00~07/トールセーバー
●「トールセーバー」について☎21ページ


5  確定
0 [確定] を押す


応答再生：あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
 応答再生1：自分で録音した留守応答メッセージ1
 応答再生2：自分で録音した留守応答メッセージ2

- メッセージ再生したあと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
- メッセージ再生中に  (確定) を押すと、そのメッセージで留守モードにセットされます。
- メッセージ再生中に  (停止) を押すと、再生を中止し、前回選択したメッセージで留守モードにセットされます。

終了

2  録音時間を選ぶ
30秒/60秒/120秒/180秒

3  確定
0 [確定] を押す

4  停止
0 [停止] を押す

終了


2  「する」を選ぶ
する/しない

3  確定
0 [確定] を押す


4  停止
0 [停止] を押す


終了

- 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。(☎20ページ)

2  在宅時の応答のしかたを選ぶ
メッセージ/ベル

- 「メッセージ」
本機が電話を受けたとき、設定した在宅応答メッセージを再生します。
- 「ベル」
本機が電話を受けたとき、「トゥルル、トゥルル」という音を鳴らします。

3  確定
0 [確定] を押す

4  停止
0 [停止] を押す

終了

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

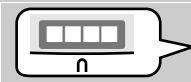
コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



このボタンを示しています。

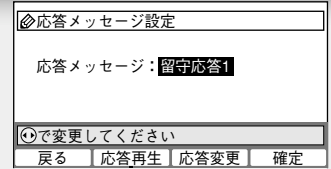
応答メッセージの設定

留守モードのときの応答メッセージを選択します。また、本機にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて自分の声で在宅応答メッセージ(1種類)と留守応答メッセージ(2種類)を録音(20秒まで)することができます。

1



[機能] → [6.留守設定] → [1.応答メッセージ] を押す



設定する

メッセージを設定する

「応答メッセージの設定」の1~2の操作を行います

3



[確定] を押す

4



[停止] を押す

終了

確認する

メッセージを確認する

「応答メッセージの設定」の1~2の操作を行います

3



[応答再生] を押す

4



●メッセージが再生されます。

変更する

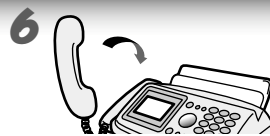
メッセージを変更する

「応答メッセージの設定」の1~2の操作を行います

3



[応答変更] を押す



7



[停止] を押す

終了

終了したら受話器を戻す
●録音内容が自動的に再生されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

2



応答メッセージの種類を選ぶ

留守応答1 / 留守応答2 / 在宅応答

5

⊙ 停止



[停止]を押す

終了

- メッセージを再生して確認するときには「応答再生」を選びます。
- メッセージを消去するときには「応答消去」を選びます。

4

応答録音



[応答録音]を押す

5



スタート



受話器をとり、[スタート]を押してメッセージを録音する

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

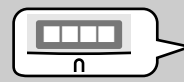
オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

ディスプレイの明るさを設定する



このボタンを示しています。

ディスプレイの明るさを設定

ディスプレイの明るさを設定します。

- 親機は8段階、子機は7段階の設定ができます。

親機

- [機能] → [1.初期設定] → [7.画面の明るさ] を選ぶ
- 画面の明るさを設定する
- [確定] を押す
- [停止] を押す

終了

子機

- [機能/確定] を押す
- [メニュー]▼▲
■テンノアケル
テンノアケル

[「ガメンアケル」を選び、
[機能/確定] を押す
- 明るさを設定し
[機能/確定] を押す
- ガメンアケル
セッテイシマシタ

● ディスプレイの明るさが設定されます。

終了

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録


モーニングメロディを設定する

モーニングメロディ

親機で、毎日決まった時刻に指定したメロディを鳴らします。


- お買い上げ時は[しない]に設定されています。
- モーニングメロディは親機で設定します。(子機では設定・使用できません。)

設定する

- 

0

[機能] → [7.メロディ設定] → [3.モーニングメロディ] を選ぶ


- 

「する」を選ぶ

する/しない
- 

〈指定時刻〉を選ぶ
- 

メロディを鳴らす時刻を指定する

● 時間は24時間制で入力します。
- 

0

[確定] を押す


- 

〈ジャンル〉を選び、[▼]を押す

ベル/楽しいPOPS・アニメ/季節・イベント/童謡・その他/癒しのクラシック/元気がでるクラシック
- 


0

メロディを選び、[確定] を押す

ベル1/メロディ1~50(曲名)
- 


0


音量を選び、[確定] を押す
- 

停止

[停止]を押す

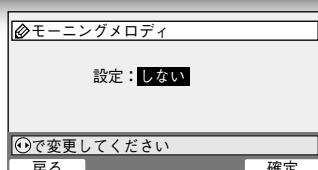


終了

解除する


- 

0

[機能] → [7.メロディ設定] → [3.モーニングメロディ] を選ぶ


- 


0



「しない」を選び、[確定] を押す
- 

停止

[停止]を押す

終了



- 指定した時刻になるとメロディが3分間鳴ります。途中でやめるときは  (停止) を押します。
- モーニングメロディの指定時刻に電話、通信、設定などをしているときは操作が終了してからメロディが鳴ります。
- 電源コードを抜いたり停電になったあと数時間経過すると、モーニングメロディの設定は「しない」になります。もう一度設定し直してください。
- 選択できるメロディ ( 86 ページ)



- モーニングメロディは、受話器を置いた状態で設定してください。(受話器を上げていると設定できません。)

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

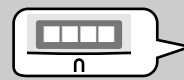
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

レポート、リストを印刷する



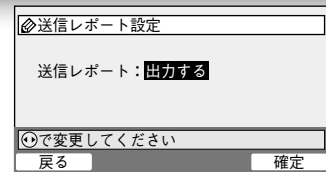
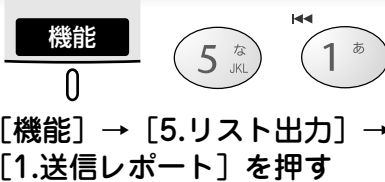
このボタンを示しています。

送受信の結果や設定の内容などを印刷して確認できます。

送信レポート

送信結果を印刷します。
● お買い上げ時は「エラーのみ出力」に設定されています。

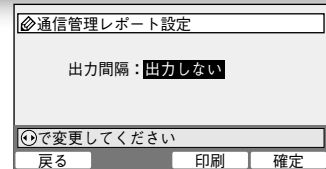
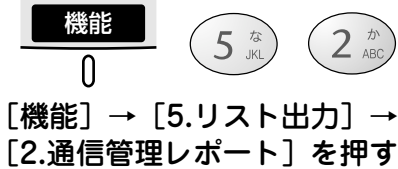
1



通信管理レポート

最近送受信した30件分の通信結果を印刷します。

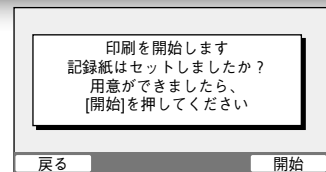
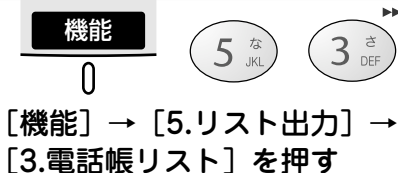
1



電話帳リスト

電話帳に登録された内容を印刷します。

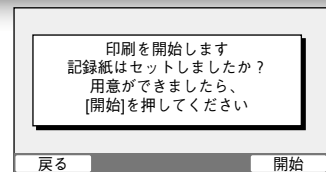
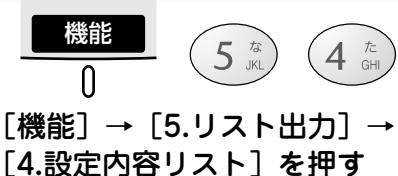
1



設定内容リスト

現在設定されている内容を印刷します。

1



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



● 送信レポート (例)

送信レポート	
2002年12月24日 12:55	
日時	12月24日 12:54
相手先名称	田中一郎
送信時間	00:00:31
ページ	01
結果	OK
通話	普通字
	ECM

● 通信管理レポート (例)

通信管理レポート						
2002年12月25日 15:46						
日付	日付	相手先名称	送信時間	ページ	結果	コメント
12月24日	12:54	田中一郎		31	OK	送 ECM
12月25日	15:08	052XXXXXXXX		24	OK	受 ECM
12月25日	15:09	056XXXXXXXX	01:52	03	OK	受 ECM
12月25日	15:32	ブラザー太郎		32	OK	送 ECM
付: 送付書						
伝: 伝言メッセージ						
ボ: ボーリング						
リ: リトリーグル						
送: 送信						
受: 受信						

2 「出力する」を選ぶ



出力する/出力しない/エラーのみ出力

- 「出力する」常に結果レポートを印刷します。
- 「出力しない」結果レポートを印刷しません。
- 「エラーのみ出力」通信エラーがあるときだけレポートを印刷します。

3 確定

0 [確定] を押す

4 停止

0 [停止] を押す

終了

2 通信管理レポートの出力間隔を選ぶ



出力しない/6時間ごと/
12時間ごと/24時間ごと/
2日ごと/4日ごと/1週間ごと

3 出力する時は、開始時間を指定する

● 時間は24時間制で入力します。

4 [確定] を押す

● すぐに出力する時は、[印刷]を選び、記録紙をセットして[開始]を押します。

5 停止

0 [停止] を押す

終了

1週間ごとに出力するとき

通信管理レポート設定

出力間隔：1週間ごと
開始時間：00時 00分
毎週日曜日に出力します

④で変更してください

戻る 印刷 確定

3 出力する曜日を選び、[確定]を押す

● すぐに出力する時は、[印刷]を選び、記録紙をセットして[開始]を押します。

4 停止

0 [停止] を押す

終了

2 記録紙をセットする

3 開始

0 [開始] を押す

終了

2 記録紙をセットする

3 開始

0 [開始] を押す

終了



● 電話帳リスト

電話帳リスト

2002年12月24日 12:47

相手先名称	区切り	FAX/TEL番号	着信先	着信音
田中一郎	おかけの	052XXXXXXX	全て	^M1
林花子	おかけの	066XXXXXXX 090XXXXXXX	全て 全て	^M1 ^M1
ダイレクトクラブAX	おかけの	0528250311	全て	^M1
ブラザー太郎	おかけの	052XXXXXXX	全て	^M1

● 設定内容リスト

設定内容リスト

2002年12月24日 12:55

回線種別	: 20 PPS
日時	: 2002年12月24日
時刻	: 12:52
キー確認音設定	: 小
みるだけ受信	: する
着信回数	: 08回
在宅モード	: 02回
留守モード	: する
親切受信	: する
A4自動縮小受信	: する
在宅の着信音	: メッセージ

ご使用の前に

電話

ファクス

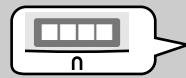
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



登録 入力 修正 確定

このボタンを示しています。

メモリー使用状況リスト

本体のメモリー使用状況を印刷します。

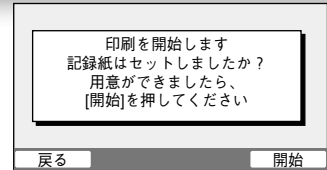
1

機能
0

5 な
JKL

5 な
JKL

[機能] → [5.リスト出力] →
[5.メモリー使用状況リスト] を押す



消耗品オーダーシート

本機では「消耗品オーダーシート」を印刷することができます。「詰め替え用リボン」などの消耗品をご注文いただくときはあらかじめ印刷しておかれると便利です。

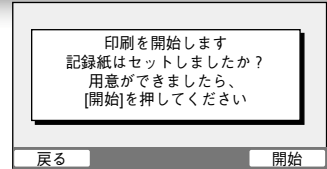
1

機能
0

5 な
JKL

6 は
MNO

[機能] → [5.リスト出力] → [6.消耗品オーダーシート] を押す



一括送信レポート

一括送信したときの結果レポートを、どのように印刷するか設定します。
●お買い上げ時は「出力する」に設定されています。

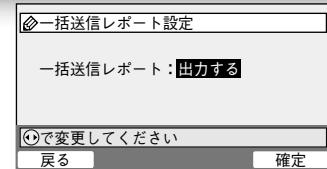
1

機能
0

5 な
JKL

7 ま
PQRS

[機能] → [5.リスト出力] → [7.一括送信レポート] を押す



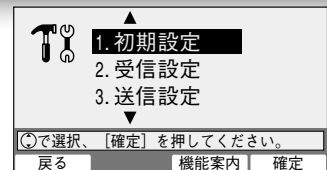
機能案内リスト

機能の解説や文字入力表を印刷できます。

1

機能
0

[機能] を押す



● メモリー使用状況リスト

メモリー使用状況リスト				
2002年12月25日 15:44				
メモリー使用音声				
02	留守録			01%
メモリー使用受信済みファクス				
	日付	時刻	送信元	
ファクス 01	: 2002年12月25日	15:08	052XXXXXXX	
ファクス 02	: 2002年12月25日	15:19	056XXXXXXX	12%
メモリー使用未送信ファクス				

● 消耗品オーダーシート

消耗品オーダーシート				
プラザー販売(株) 情報機器事業部 ダイレクトクラブ 行 FAX: 052-825-0311 (お客様住所) 〒				
(お名前)	(TEL)			(FAX)
(お支払い方法)	1)銀行前振込	2)郵便前振込	3)代引き	4)カード
(カード種類)	1)VISA	2)JCB	3)JUC	4)DINERS 5)CF 6)Master 7)JACCS
(カード名義人名)			(有効期限)	年 月
(カードNo.)				
品名	部品コード	単価(税別)	ご注文数	金額

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス


活用する


こんなときには

付録

メモ


2 
記録紙をセットする


3 
[開始] を押す

 終了

2 
記録紙をセットする

3 
[開始] を押す

 終了

2 
出力のしかたを選ぶ


出力する / エラーのみ出力


- 「出力する」 常に結果レポートを印刷します。
- 「エラーのみ出力」 通信エラーが1件以上あるときだけレポートを印刷します。

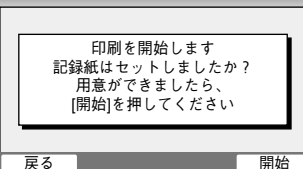
3 
[確定] を押す

4 
[停止] を押す

 終了

2 
[機能案内] を押す

3 
記録紙をセットする



4 
[開始] を押す

 終了



● 一括送信レポート

一括送信レポート

2002年12月25日 16:02

ページ 01

日付	日付	相手先名称	通信時間	ページ	結果	コメント
12月25日	15:58	田中一郎	33	01	OK	ECM
12月25日	16:02	林花子	33	01	OK	ECM
12月25日	16:01	ブラザー太郎	00	00	送し中	ECM

付: 送付書

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

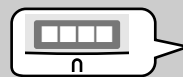
オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

ユーザー辞書に登録する



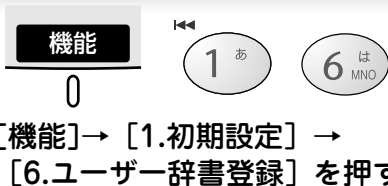
このボタンを示しています。

ユーザー辞書登録

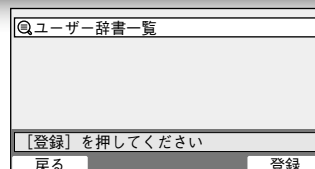
変換してもすぐに出てこない単語などを登録すると、すばやく入力することができます。

登録する

1

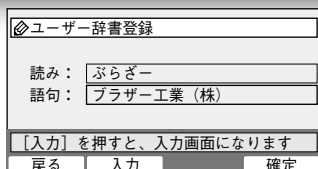


[機能] → [1.初期設定] → [6.ユーザー辞書登録] を押す



● 何も登録されていない場合は「登録されていません」と表示された後、この画面になります。

5



● 文字の入れかた
※ 23ページ

[入力]を押して語句を入力し、[確定]を押す

6

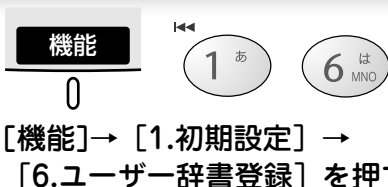
確定

[確定]を押す

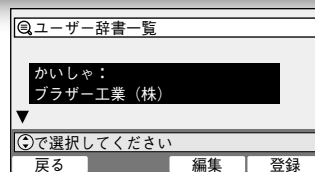
● 語句を修正するときは、読みと同様の手順で入力し直します。

修正する

1

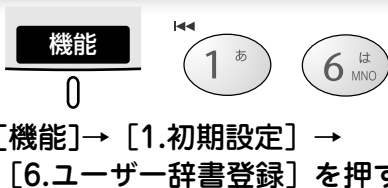


[機能] → [1.初期設定] → [6.ユーザー辞書登録] を押す

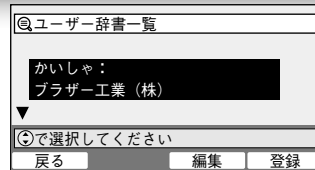


削除する

1



[機能] → [1.初期設定] → [6.ユーザー辞書登録] を押す



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー


オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

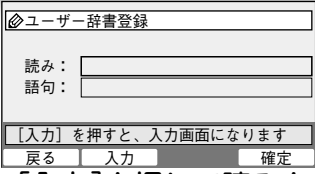
2



0

[登録] を押す

3



● 全角ひらがなが使用できません。
● 文字の入れかた
※23ページ

[入力] を押して読みを入力し、[確定] を押す


4




〈語句〉 を選ぶ

終了

2

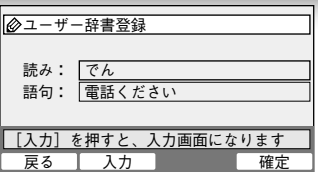




0

修正したい語句を選び、[編集] を押す

「登録する」の3へ



● [読み] 入力枠が選択されています。

● 修正したい項目を選び、「登録する」と同様の手順で修正します。

2

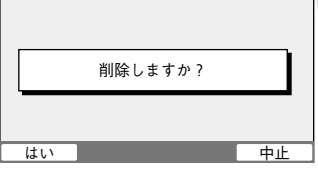


消去
キャッチ

0

消去したい語句を選び、[消去] を押す

3



はい

0

[はい] を押す

● 選択した語句が削除されます。

4



0

[停止] を押す

終了

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

携帯電話を接続して利用する (別売り品)

本機は、別売の専用ケーブルを使って携帯電話と接続することで、携帯電話と電話帳データをお互いに転送（やりとり）することができます（特定機種のみ）。



- 携帯電話と接続するには、必ず、別売りの専用ケーブル（「携帯電話接続用ケーブル」※139ページ）が必要です。
- 最新の情報は当社の Web サイト（<http://www.brother.co.jp>）をご覧ください。

● 使用できる携帯電話一覧

本機に接続して電話帳の転送ができる携帯電話は、下記のとおりです。

NTT DoCoMo	国際	松下	東芝	三菱
DENSO DE207	K0207	P209iS	HD-50T	DP-222
JRC R203	K0208	P211i	松下 D101P	J-D02
R206	シャープ SH811	P301	D305P	J-D03
R207	SH206	P302	HD-50P	J-D04
R208	SH601em	P501i	HD-60P	THZ43
R209i	SH821i	P503i	HD-61P	IDO
R211i	富士通 F201	P601es	J-PHONE	SANYO 525G
R691i	F203	P601ev	DENSO DP194	532G
NEC N153	F207	P811	J-DN01	SONY 534G
N157	F209i	P821i	J-DN02	京セラ 533G
N158	F210i	三菱 D201	NEC J-N01	松下 521G
N203	F211i	D203	J-N02	531G
N206	F156	D206	J-N03	537G
N206S	F501i	D207	SANYO DP-185	
N207	F502i	D208	J-SA01	
N207S	F502it	D209i	J-SA02	
N208	F503i	D210i	SONY J-SY01	
N209i	F503iS	D601ps	TH271	
N210i	F601ps	D-802DH	ケンウッド DP-134	
N211i	F601ev	東芝 TS206	J-K01	
N501i	F671i	モトローラ M206	J-K02	
N502it	松下 EB-PD365	DDIセルラー	J-K03	
N503i	EB-PD370	DENSO HD-60DE	J-K04	
N503iS	EB-PD375	SANYO D204SA	シャープ J-SH01	
N601ps	EB-PD500	D301SA	J-SH02	
N811	P153	HD-60SA	J-SH03	
NOKIA NM502i	P156	SONY D205S	J-SH04	
エリクソン ER207	P157	HD-60S	J-SH05	
ER209i	P158	京セラ D201K	J-SH06	
SANYO SA207	P201	D206K	東芝 DP-173	
SONY S0201	P202	D207K	DP-174	
S0206	P203	HD-60K	J-T01	
S0207	P205	HD-61K	J-T02	
S0210i	P206		J-T03	
S0211i	P207		J-T04	
S0502i	P208		TT02	
S0502iWM	P209i		バイオニア DP-212	
S0503i			J-PE01	
S0503iS			J-PE03	
S0601ps			松下 DP-145	
			J-P01	
			J-P01 II	
			J-P02	
			TH081	
			TK-51	

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

● 本機に携帯電話を接続する

⚠ 警告

- 携帯電話接続ケーブルの接続端子部分には異物（水や金属など）が入らないようにしてください。異物が入ったまま携帯電話に接続すると、故障や火災、感電の原因になります。
- 携帯電話接続ケーブルを分解、改造したり、傷つけたりしないでください。故障や火災、感電の原因になります。
- 携帯電話接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりすると携帯電話ケーブルの破損や故障、火災、感電の原因になります。

⚠ 注意

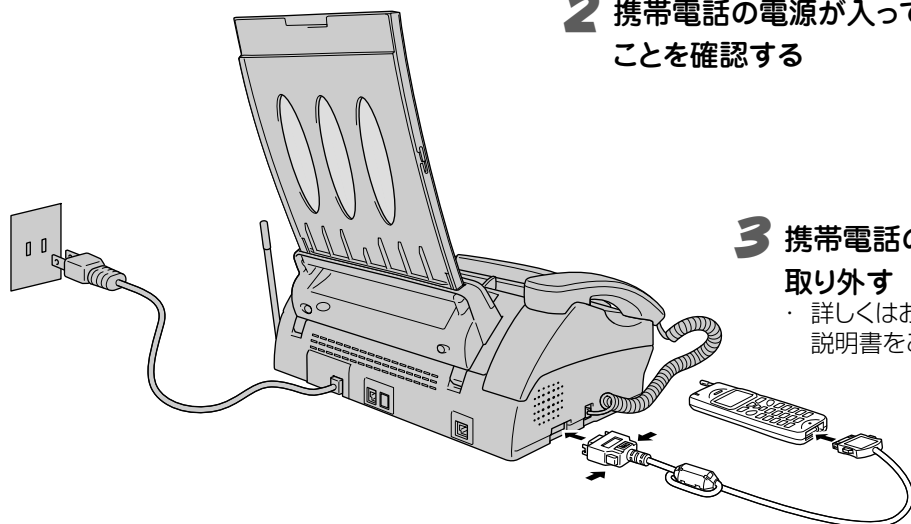
- 携帯電話接続ケーブルは、確実に携帯電話に接続してください。しっかり接続されていないと、故障や火災、感電の原因になります。
- 携帯電話接続ケーブルを携帯電話から取り外すときは、携帯電話接続ケーブルのケーブル部分を引っ張らないでください。携帯電話接続ケーブルの破損や故障、火災、感電の原因になります。
- ファクス本体を動かすときは、必ず本体から携帯電話接続ケーブルと携帯電話を取り外してください。携帯電話接続ケーブルの破損や故障、火災感電の原因となります。

1 ファクスが待ち受け画面（7ページ）であることを確認する

2 携帯電話の電源が入っていることを確認する

3 携帯電話の接続端子カバーを取り外す

- ・ 詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご確認ください。



5 ファクスの接続端子に、携帯電話接続ケーブルを接続する

- ・ 携帯電話接続ケーブルの方向を間違えないようにしてください。
- ・ 携帯電話接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。

4 携帯電話の接続端子に、携帯電話接続ケーブルを接続する

- ・ 携帯電話接続ケーブルの方向を間違えないようにしてください。
- ・ 携帯電話接続ケーブルは、カチッと音がするまで差し込んでください。

ご使用の前に

電話

ファクス

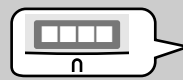
コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録



このボタンを示しています。

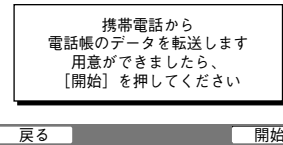
● 電話帳データを転送する

電話帳データの転送 (携帯電話→親機)

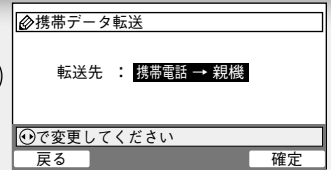
携帯電話から親機へ、電話帳データを転送します。

転送する

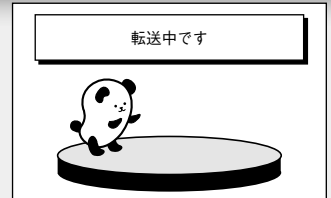
1
本機に携帯電話を接続する。
(☞102ページ)



2
機能
0
[機能]→[9.その他サービス]→[2.携帯データ転送]を押す



4
開始
0
[開始]を押す。



●データの転送が開始されます

登録する

「転送する」の1~4の操作を行います

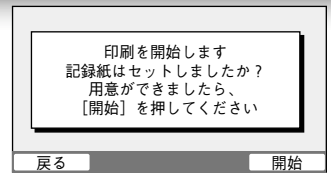
5
電話登録
0
登録したいデータ選び、[電話登録]を押す

- データが登録されると転送結果一覧画面に戻ります。
- 続けてデータを登録する場合は手順5を繰り返します。
- 同じデータが既に登録されているときは、データは保存されません。

印刷する

「転送する」の1~4の操作を行います

5
印刷
0
[印刷]を押す



電話帳データの転送 (親機→携帯電話)

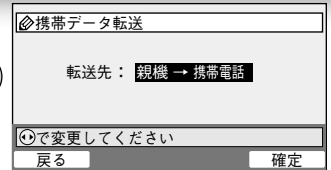
親機から携帯電話へ、電話帳データを転送します。

転送する

1
本機に携帯電話を接続する。
(☞102ページ)

4
開始
0
[開始]を押す

2
機能
0
[機能]→[9.その他サービス]→[2.携帯データ転送]を押す



- パスワードの入力が必要なときは、パスワードを入力する画面になります。携帯電話に設定している4ケタの暗証番号を入力してください。



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

3



「携帯電話→親機」を選び、[確定]を押す

携帯電話→親機/親機→携帯電話

- パスワードの入力が必要なときは、パスワードを入力する画面になります。携帯電話に設定している4ケタの暗証番号を入力してください。
- 転送を中止したいときは (停止) を押します。
- 転送が終了すると「ピーッ」という終了音が鳴り、転送した結果の一覧が表示されます。

◎携帯転送結果一覧		1件 - 19件
名前	TEL	
田中一郎	052967XXXX	
林 花子	066398XXXX	
◎で選択してください		
印刷	電話登録	終了

- 電話番号は携帯電話から親機に転送された順に表示されます。

- 転送された電話帳データが100件以内のときは、名前と電話番号が一覧で表示されます。電話帳データが101件より多いときは、100件単位でデータを選び画面が表示されます。
- (▼▲) でデータを選び [確定] を押します。
- 転送した電話帳データのリストを印刷できます。

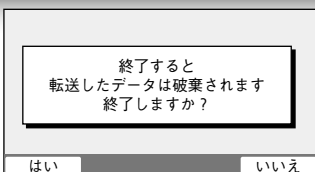
「登録する」へ

「印刷する」へ

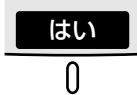
6



[終了] または [停止] を押す



7



[はい]を押す

- 転送されたデータがすべて破棄され、待ち受け画面に戻ります。

終了

- 本機から携帯電話を取り外します。

6



[開始]を押す

終了

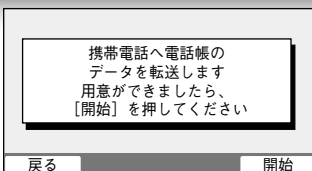
3



「親機→携帯電話」を選び、[確定]を押す

携帯電話→親機/親機→携帯電話

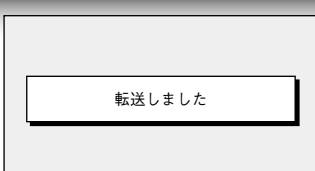
- 親機から携帯電話に転送できるのは「電話帳」データのみです。



5



転送したい相手先を選び、[確定]を押す



- 続けて転送するときは手順5を繰り返します。

6



[停止]を押す

終了

- 本機から携帯電話を取り外します。



携帯電話→親機の電話帳データの転送の場合、転送する内容がすでに転送先に登録されていても重複して登録はされませんが、親機→携帯電話への転送の場合、転送する内容が、すでに転送先に登録されていても別の電話帳として登録されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

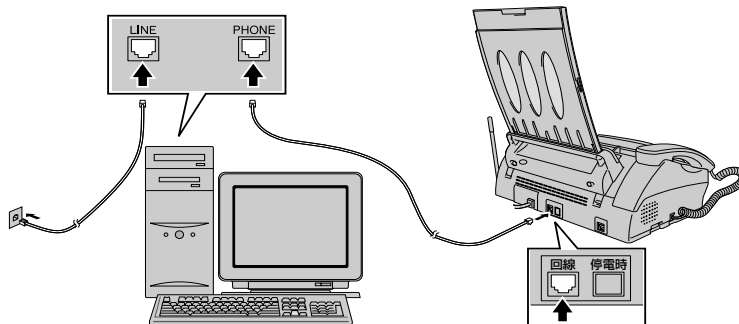
付録

他の機器を接続して使う

● パソコンと接続する場合は

■ 一般回線で PC モデムを使う場合、PHONE 端子を使う場合

パソコン本体に「PHONE 端子」がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機を下記のように接続していただくことができます。ただし、1本の電話回線を利用していますので、同時に両方で電話回線をご利用いただくことはできません。



1 本の電話回線に複数台の電話機を接続（並列接続）すると、ナンバーディスプレイサービスやダイヤルインサービスなどに不具合が発生し、誤作動の原因となりますのでおやめください。
(☞13 ページ)



パソコン本体に「PHONE 端子」がない場合は、市販の自動切換機などをご利用ください。

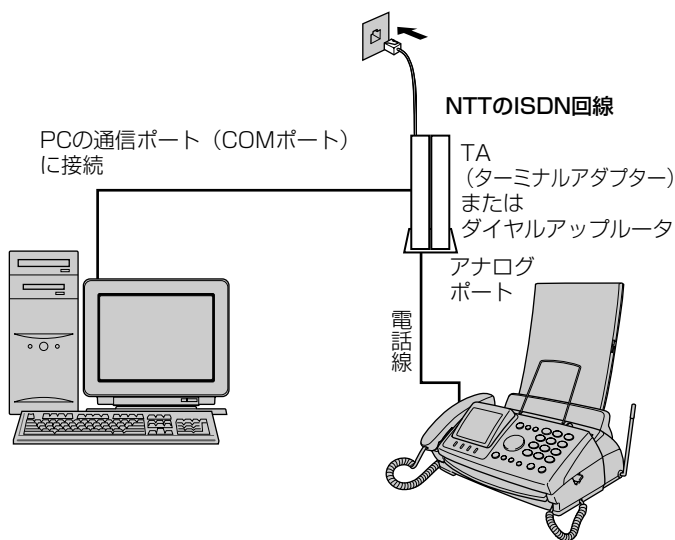
■ ISDN 回線をご利用の場合

本機を ISDN 回線の TA（ターミナルアダプター）またはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- ・本機：回線種別を「プッシュ回線」に設定する
- ・TA：本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する



- 本機が使用できないときは、「故障かな?と思ったら」を参照してください。また、TA の設定を確認してください。TA の設定の詳細は、TA の取扱説明書をご覧ください。製造メーカーにお問い合わせください。
- ナンバーディスプレイサービスを契約されている場合は、TA のデータ設定と本機の設定 (☞70 ページ) が必要です。
- 本機のダイヤルイン機能を利用するには、「ダイヤルインサービス」または、「i・ナンバーサービス」の契約と、アナログポートへ着信番号データを送出することができるTAが必要です。

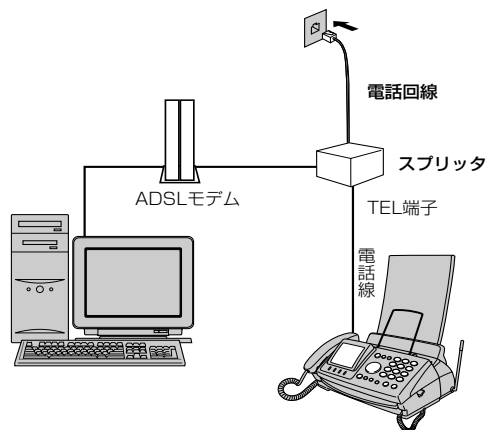


■ ADSL 回線をご利用の場合

本機を ADSL 回線のスプリッタに接続するときは、スプリッタの TEL 端子に接続してください。



本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると並列接続となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。



ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

ドアホンを使う

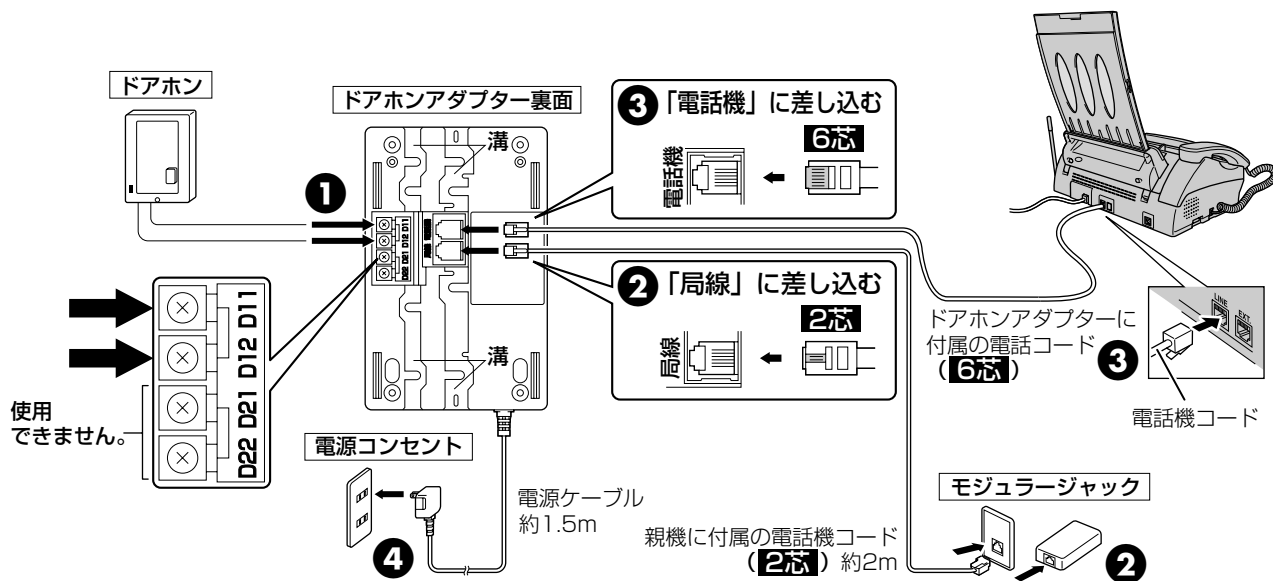
本機と別売りのドアホン（1台）を接続すると、ドアホンからの呼出に本機で応答できます。



- ドアホンの接続と使用については必ず次の説明にしたがってください。
- ドアホンの接続や使用についてのお問い合わせは、「お客様相談窓口 0120-161170」へお申し付けください。
- ホームテレホンに直接接続されているドアホンには対応できません。

● ドアホンを接続する

ドアホンアダプター（松下通信工業製 [VE-DA10-H]）を使用して接続します。



1

1 ドアホンの準備をする

- ① ドアホンアダプターの裏面のテープをはがし、壁掛け金具を外す
- ② ドアホン側の接続コードをドアホンアダプターに接続する

2

2 ドアホンアダプターとモジュラジャックを接続する

本機に付属している電話機コード（**2芯**）をドアホンアダプターに接続し、もう一端を、電話回線のモジュラージャックに接続する

3

3 ドアホンアダプターと本機を接続する

ドアホンアダプターに付属している電話機コード（**6芯**）をドアホンアダプターに接続し、電話機コードのもう一端を、本機の回線接続端子に接続する

4

4 接続を確認する

- ① ドアホンアダプターを電源コンセントに接続する
- ② ドアホンの呼出ボタンを押し、本機の呼出音が鳴ることを確認する

5

5 ドアホンを設置する

- コード類をドアホンアダプター裏面の溝に沿って押し込み、柱や壁などに取り付ける
→ ドアホンアダプター取扱説明書をお読みください。



- 必ず電話機コードを接続してから、電源コンセントに接続してください。
- ノイズを防止するため、次のことをお守りください。
 - ・ 電話機コードを平行配線しないでください。
 - ・ ドアホンアダプター本体と電源ケーブルを、できるだけ本機から離してください。特に本機のアンテナと電源ケーブルは離してください。

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

付
録

■ 適合ドアホン一覧



- 製品についての詳細は、各製造メーカーにお問い合わせください。
- 下記のドアホン以外はご使用になれません。

メーカー名	適合ドアホン機種名	適合テレビドアホン機種名
松下通信工業(株) AVシステム事業部	VL-568KA-T VL-568KA-H VL-568U VL-V550-T VL-V551-K	ソリエ 2:1 タイプ(カラーモニター親機・カラーカメラ玄関子機各1台) VL-V161X-T (AC直結式) VL-V161KP-T (ACコード式) ソリエ 1:1 タイプ(カラーモニター親機・カラーカメラ玄関子機各1台) VL-V160X-T (AC直結式) VL-V160KP-T (ACコード式)
松下寿電子工業(株)		カラーDe見え太(ハンズフリー)・単局タイプ(モニター・ドアカメラ各1台) HA-S60BK-T (電源コード付) HA-S60B-T (電源コードなし) カラーDe見え太(ハンズフリー)・多局タイプ(モニター・ドアカメラ各1台) HA-S70BK-T 見え太(ハンズフリー)・単局タイプ(モニター・ドアカメラ各1台) HA-S103BK-T HA-S103B-T 見え太(ハンズフリー)・多局タイプ(モニター・ドアカメラ各1台) HA-S201BK-T (電源コード付)

● ドアホンに応答する

ドアホンが押されると、本機のドアホン呼出音が鳴ります。本機の受話器を取れば、ドアホンに応答できます。

● 親機の場合

ドアホンが押されるとドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ドアホン呼び出し中です」と表示されます。

● 子機の場合

ドアホンが押されるとドアホン呼出音が鳴り、ディスプレイに「ドアホン」と表示されます。



- ドアホン呼出音は、ドアホンが押されている間は鳴り続けます。
- ドアホン呼出音は、着信音量が「OFF」に設定してあるときでも鳴ります。
- 親機、子機ともに、スピーカーホンでは受けられません。
- ハンズフリー着信はできません。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス



活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

■ ドアホンに回答しているときは

ドアホンに回答しているときに着信や内線呼出があったとき、または外線通話中や内線通話中にドアホン呼出があったときは、次のようになります。

	外線からの着信があったときは	内線呼出があったときは
ドアホン呼出中に	外線からの着信が優先されます。	— (ドアホン呼出中は内線呼出はできません。)
ドアホンとの通話中に	親機で通話中のときは受話器を戻してドアホン通話を切り、再度、受話器をとると、外線を受けることができます。 子機で通話中のときは  を押してドアホン通話を切り、再度、  を押すと、外線を受けることができます。	ドアホン通話が優先されます。 内線の呼出音は鳴りません。

	親機	子機
外線呼出中にドアホン呼出があったときは	外線呼出が優先されます。	
内線呼出中にドアホン呼出があったときは	ドアホン呼出が優先されます。	
外線通話中、ファクス通信中にドアホン呼出があったときは	通常の呼出音とは違う鳴りかたで、親機からドアホン呼出音が鳴ります。 ただし、外線通話やファクス通信を終了するまで、ドアホンとは通話できません。	通常のドアホンとは違う鳴りかたでドアホン呼出音が鳴ります。 ただし、外線通話を終了するまで、ドアホンとは通話できません。
内線通話中にドアホン呼出があったときは	内線通話のまま、通常の呼出音とは違う鳴りかたで、ドアホン呼出音が鳴ります。ただし、内線通話を終了するまで、ドアホンとは通話できません。	内線通話が優先されます。 ドアホンの呼出音は鳴りません。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

第7章





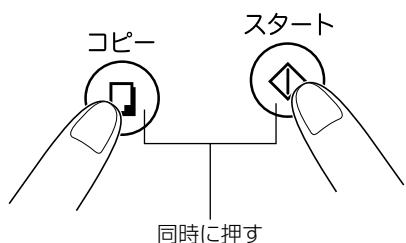
こんなときは


黒線消去をする	110
お手入れのしかた	111
本機を清掃する	111
原稿読取部を清掃する	111
記録部を清掃する	112
紙がつまったら	113
原稿がつまったときは	113
記録紙がつまったときは	114
リボンが少なくなったら	115
リボンカートリッジを交換する	115
リボンを交換する	117
子機のバッテリーを交換する	118
停電になったときは	119
エラーメッセージが表示されたら	120
故障かな?と思ったら	122

黒線消去をする

原稿読取部の汚れをふき取っても、コピーやファクスを送信した結果に黒い縦線が入るときは、次の操作を行いません。(この操作は、原稿読取部の白レベルを補正する操作で、「黒線消去」と呼びます。)

- 1** 待ち受け状態で、 と  を同時に押す
→「ピピピーッ」という音が鳴り、「スタートボタンを押してください」と表示されます。



- 2**  を押す
→「ピッ」という音が鳴り、黒線消去が開始されます。
→黒線消去が終了すると、「ピーッ」という音が鳴り、待ち受け状態に戻ります。



黒線消去中は、すべてのボタン操作が無効になります。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

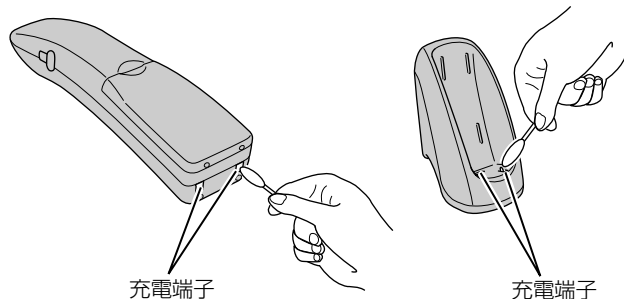
お手入れのしかた

● 本機を清掃する

● 本体は乾いた布で軽く拭いてください。



● 充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。子機の充電端子が汚れていると、充電できなったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。



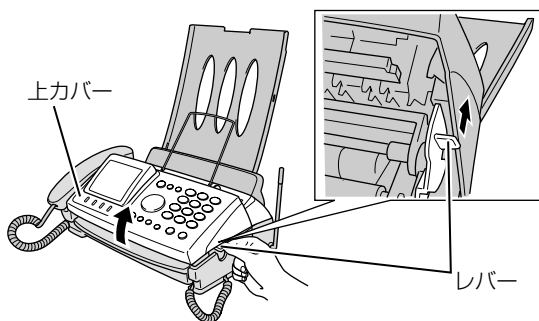
● 原稿読取部を清掃する

読取部が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに読取部を清掃してください。



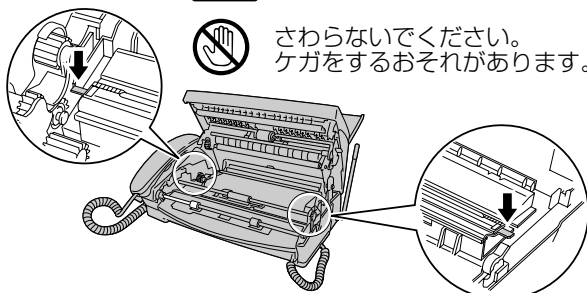
ベンジンやシンナーなどの有機溶剤、アルコールを使用をしたり、アルコールを染み込ませた布で拭いたりしないでください。

- 1** 記録紙を取り除き、上カバーを開ける
→ 記録紙を取り除き、右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

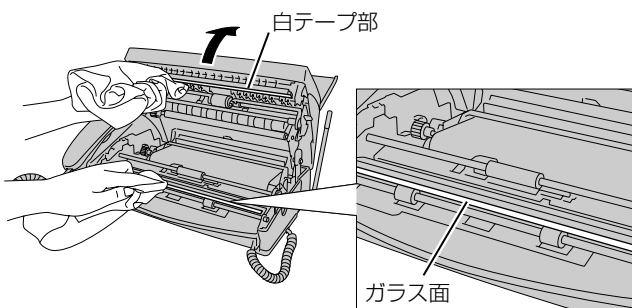


警告

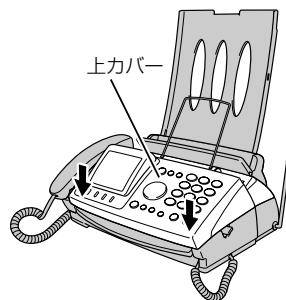
さわらないでください。
ケガをするおそれがあります。



- 2** 白テープ部とガラス面を拭く
→ 水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。



- 3** 上カバーを閉める
→ 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
→ 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されます。



- 4** 「いいえ」を押す
5 記録紙をセットし直す

ご使用の
前に

電
話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

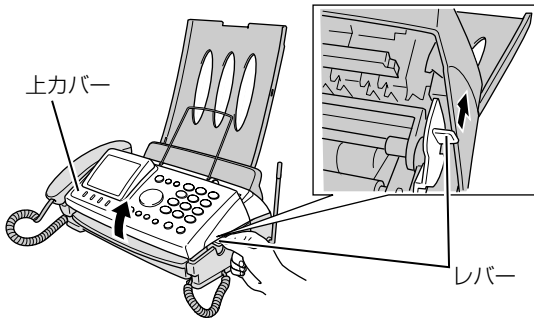
こんな
ときには

付
録

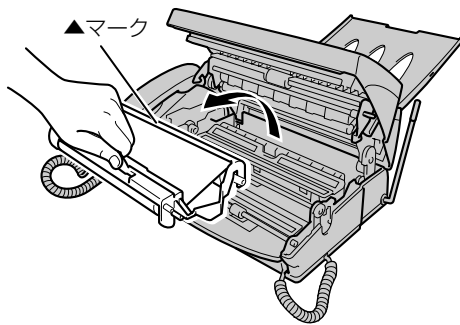
● 記録部を清掃する

記録部が汚れていると、本機から出力された用紙に縦縞が入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部を清掃してください。

- 1** 記録紙を取り除き、上カバーを開ける
 → 記録紙を取り除き、右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

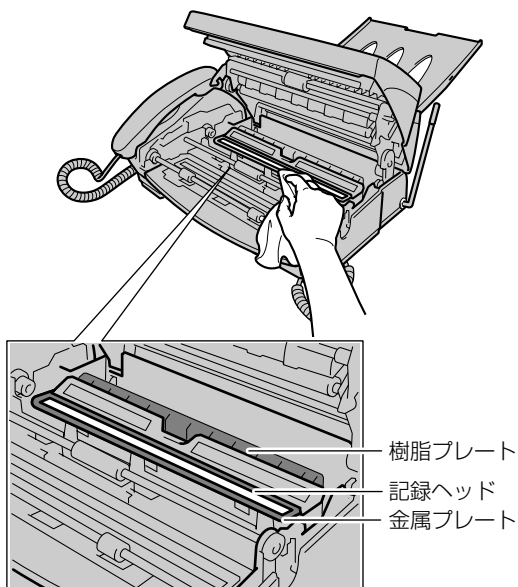


- 2** リボンカートリッジを取り外す

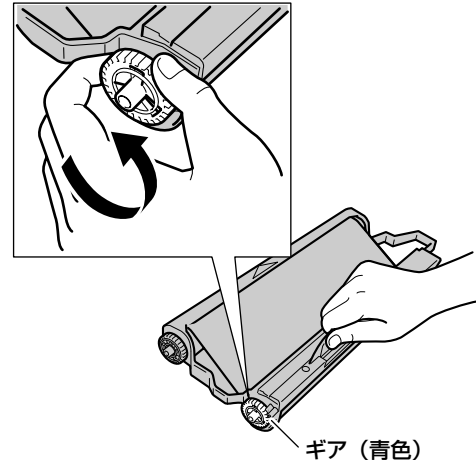


- 3** 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを拭く

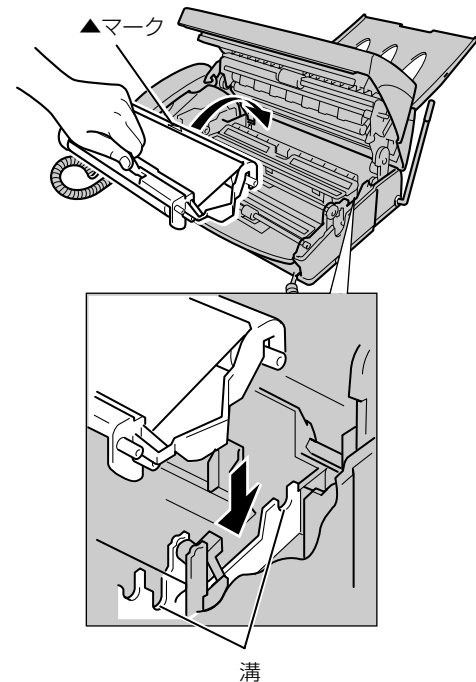
- アルコールなどを浸した柔らかい布で拭きます。
- 無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなどを使用してください。



- 4** リボンのたるみを取る
 → 青色のギアを矢印方向にゆっくり回してたるみをとります。



- 5** リボンカートリッジを本体にセットする



- 6** 上カバーを閉める
 → 上カバーの両端を押して確実に閉めます。
 → 正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されます。

- 7** 「いいえ」を押す

- 8** 記録紙をセットし直す

ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

付
録

紙がつまったら

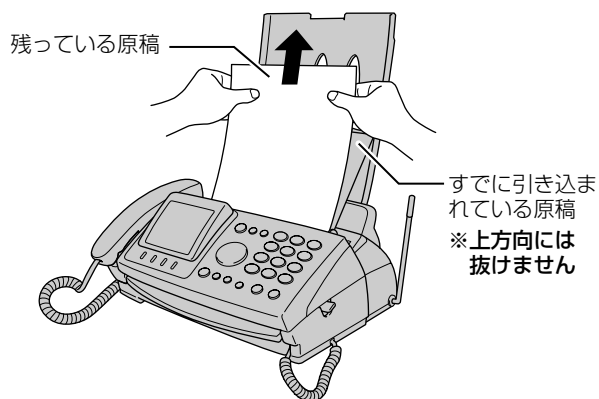
原稿や記録紙がつまると、ブザーが鳴ってディスプレイに次のメッセージが表示されます。

- ・原稿がつまったとき：「原稿を確認してください！原稿を取り除いて停止を押してください」
「原稿を確認してください！カバーを開けて、原稿を手前に引いてください」
- ・記録紙がつまったとき：「記録紙がつまっています！カバーを開け、記録紙を取り除いてください」

● 原稿がつまったときは

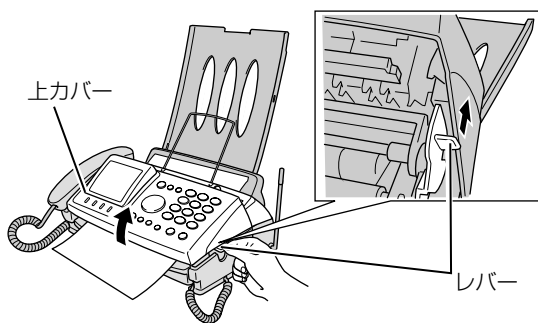
1 残っている原稿を取る

→すでに引き込まれている原稿は、以降の手順で取り除いてください。(上方向には抜けません。)

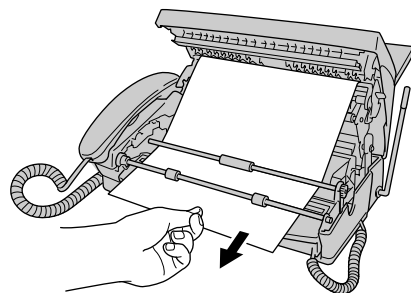


2 上カバーを開ける

→右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。

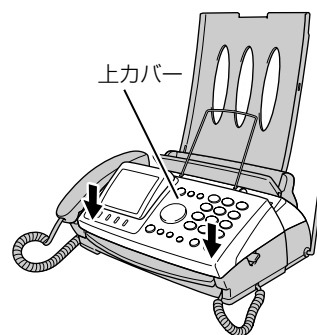


3 つまっている原稿を手前に引いて取り除く



4 上カバーを閉める

→上カバーの両端を押して確実に閉めます。
→正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか？」と表示されます。



5 「いいえ」を押す

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

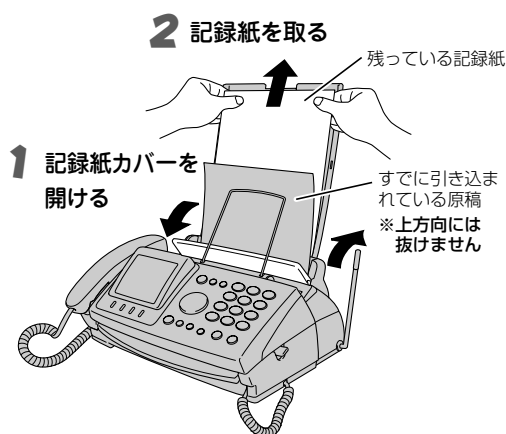
こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

● 記録紙が詰まったときは

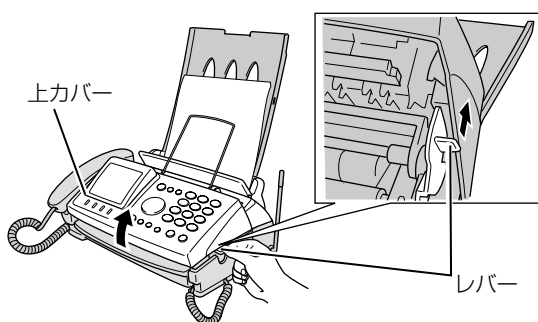
1 記録紙カバーを開け、残っている記録紙を取る

→すでに引き込まれている記録紙は、以降の手順で取り除いてください。(上方向には抜けません。)



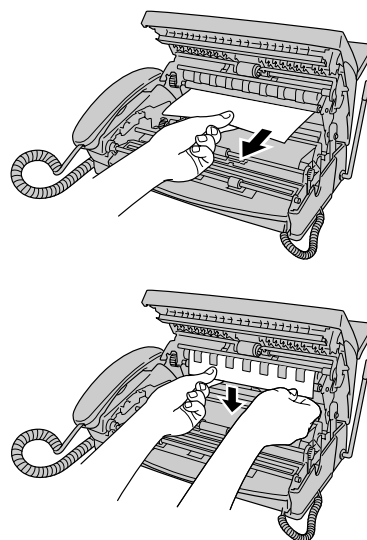
2 上カバーを開ける

→右側のレバーを持って矢印の方向へ押し上げます。



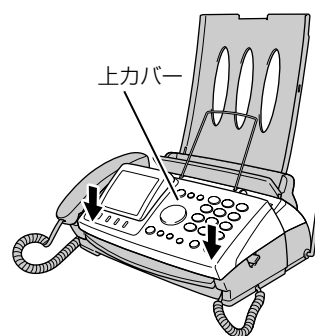
3 つまった記録紙を矢印の方向に引いて取り除く

→カバー内に破れた紙などが残っていないことを確認してください。



4 上カバーを閉める

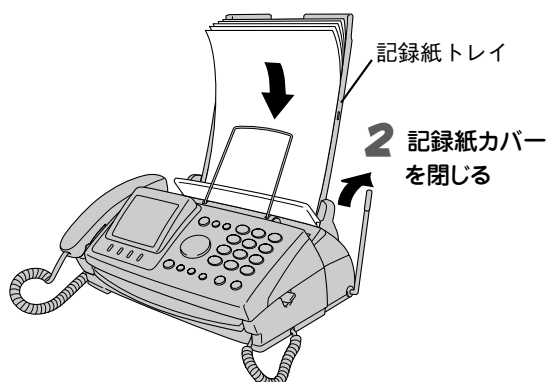
→上カバーの両端を押して確実に閉めます。
→正しく閉められると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されます。



5 「いいえ」を押す

6 記録紙をセットし直し、記録紙カバーを閉じる

1 印刷面を裏向きにして、紙をよくほぐしてセットする

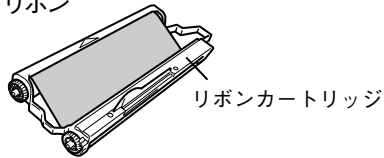
ご使用の
前に電
話フ
ァ
ク
スコ
ピ
ーオ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス活
用
す
るこ
ん
な
と
き
に
は付
録

リボンが少なくなったら

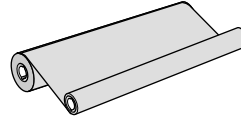
リボンが完全になくなると、ディスプレイに「リボン切れ」と表示されますので、すみやかにリボン、またはリボンカートリッジを交換してください。「詰め替え用リボン」、または「カセット付きリボン」では、約144枚の印刷が可能です。(消耗品などのご注文について▶138ページ)

〈リボン交換用当社指定品〉

カセット付リボン

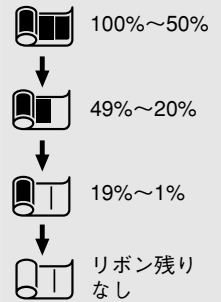


詰め替え用リボン



※「カセット付リボン」はリボンカートリッジごと交換します。

リボン残量表示



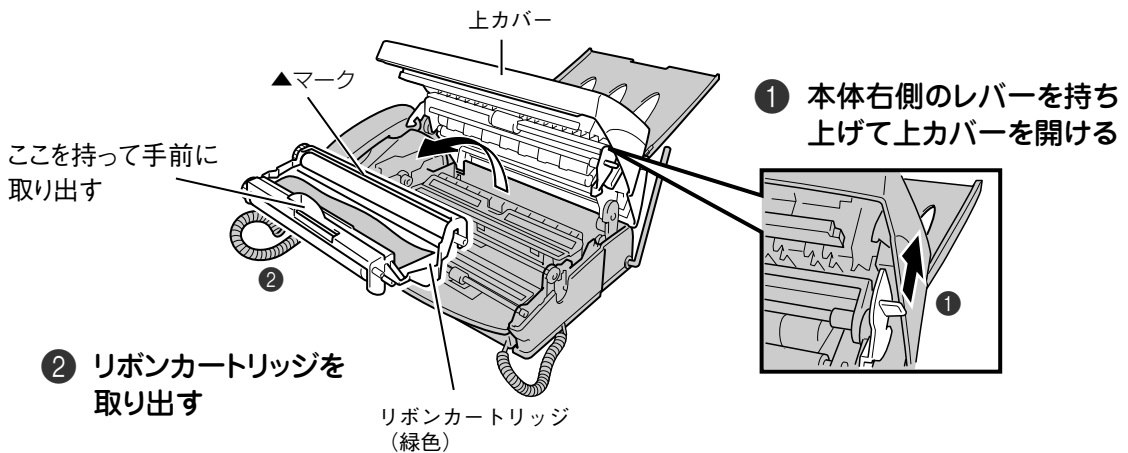
「詰め替え用リボン」、または「カセット付きリボン」は当社指定品をお使いください。
(▶139ページ)
当社指定以外のインクリボンをお使いいただくと、故障の原因になります。



- お買い上げ時には、約30枚分印刷できる「お試用インクリボン」がセットされており、そのリボンに応じたリボン残量がセットされています。
- リボンを交換したら、必ずリボンカウンタをリセットしてください。リセットしないと、誤った残量や警告が表示されることがあります。
- カバー開閉などの使用状況によって、リボン残量が少なくなることがあります。
- リボンが切れても、A4サイズ原稿で約60枚分までは本体のメモリーにファクスメッセージを記憶できます。

リボンカートリッジを交換する

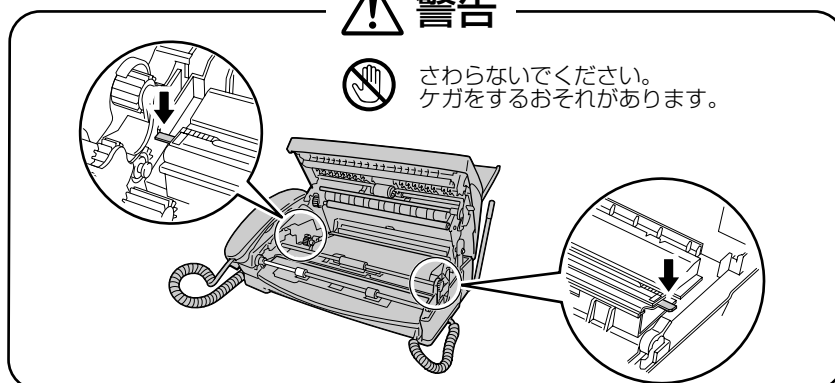
1 上カバーを開けて、リボンカートリッジ(緑色)を取り出す



警告



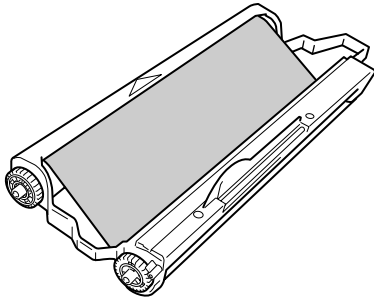
さわらないでください。
ケガをするおそれがあります。



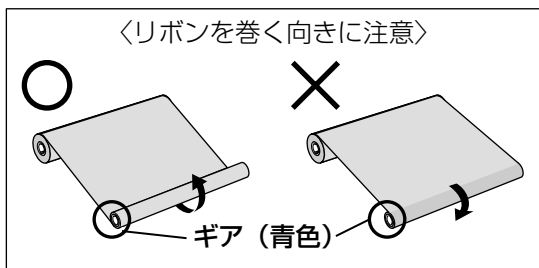
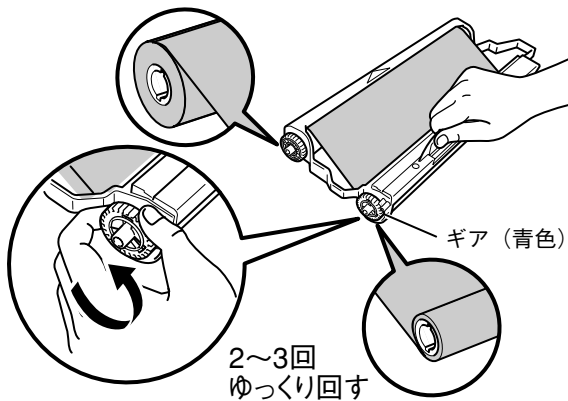
ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときには
付録

2 新しいリボンカートリッジを準備する

→ リボンカートリッジの向きを確認してください。

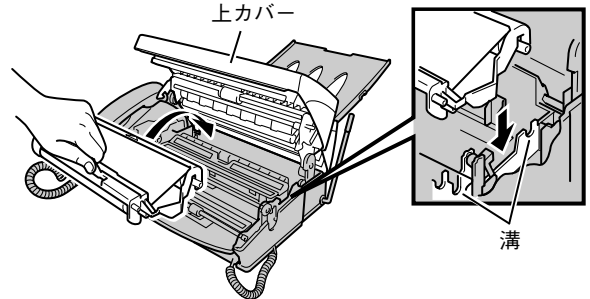


3 ギア (青色) を矢印の向きに2~3回まわして、リボンのたるみを取る

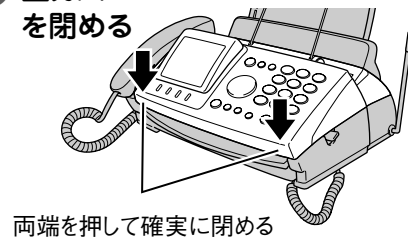


4 リボンカートリッジを本体にセットする

1 リボンカートリッジのギアを本体の溝に置く

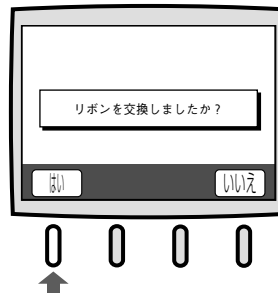


2 上カバーを閉める



5 リボンカウンタをリセットする

→ 上カバーを閉じると、ディスプレイに「リボンを交換しましたか?」と表示されます。



+ 補足
1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

1 1分以内に「はい」を押す

「再度確認します。リボンを交換しましたか?」と表示されます。

2 1分以内に「はい」を押す

+ 補足
「リボン 残り 約100%」と表示され、設定が終了します。

メモ カバーを開閉するたびに、ディスプレイに「リボン交換しましたか?」と表示されますが、リボン交換しなかったときは「いいえ」を押してください。「はい」を押すと、誤ったリボン残量が表示されることがあります。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

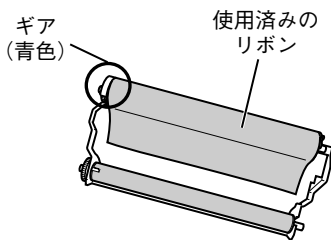


リボンを交換する

リボンのみを交換するとき、リボンカートリッジを取り出し(☞115ページ)、下記の手順で「詰め替え用リボン」と交換します。

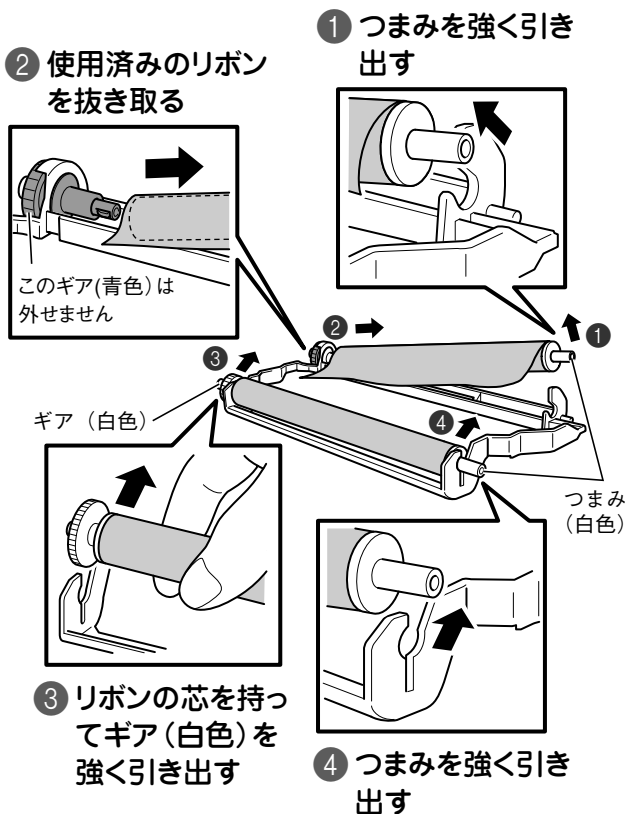
1 使用済のリボンカートリッジを準備する

→リボンカートリッジの向きを確認してください。



2 使用済みのリボンを取り外す

→115ページの手順1と同様にリボンカートリッジを本体から取り外してください。

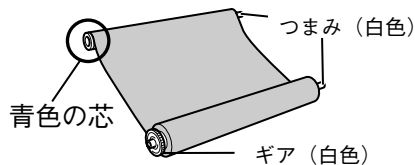


使用済みリボンの取扱いについて

- ご使用の済みのリボンには印刷した内容が白く残ります。廃棄の際には、リボンをはさみで切るなどして、印刷した内容の保護にご注意ください。
- ご使用済みのリボンは市町村分別基準に基づいて廃棄してください。リボンの芯は紙、青色の芯はプラスチック(ABS)、フィルムはポリエチレンテレフタレート(PET)フィルム、つまみ・ギア(白色)はプラスチック(ポリアセタール)などできています。

3 新しいリボンを準備する

→青色の芯の位置を確認してください。

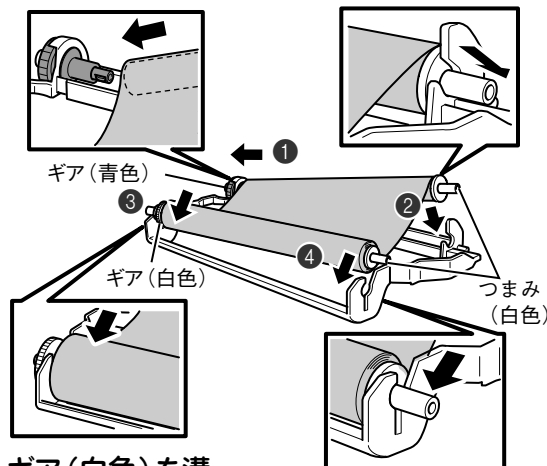


補足

新しいリボンを止めてあった輪ゴムは取り外しておきます。

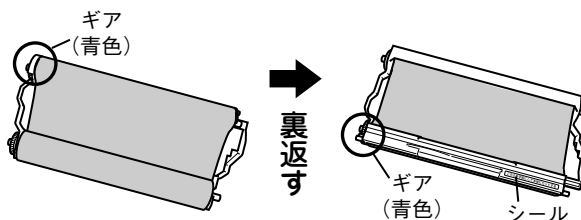
4 新しいリボンを取り付ける

- ① 青色の芯をギア(青色)に差し込む
- ② つまみを溝に強く押し込む



5 リボンカートリッジを裏返す

→リボンカートリッジをセットする向きに戻します。



6 リボンカートリッジを本体にセットする

→☞116ページの手順3・4・5と同様の手順でリボンカートリッジを本体にセットしてください。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

子機のバッテリーを交換する

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。

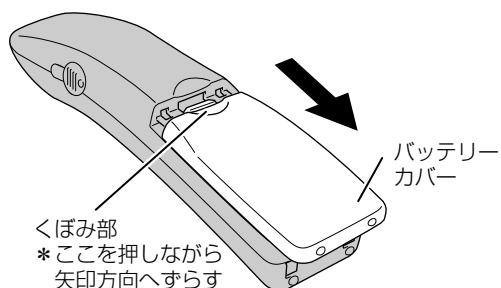
交換バッテリー（型名：BCL-BT）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。



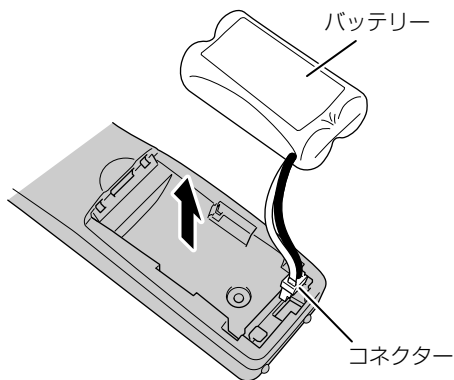
- バッテリーを覆っている保護フィルムをはがさないでください。

1 バッテリーカバーを開ける

➡ バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

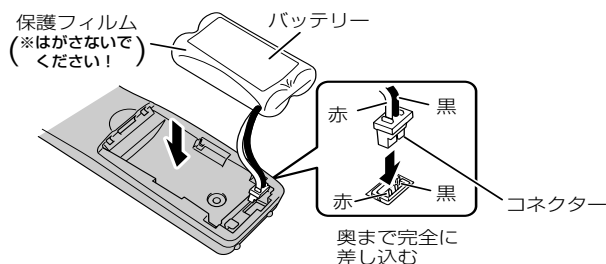


2 バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く

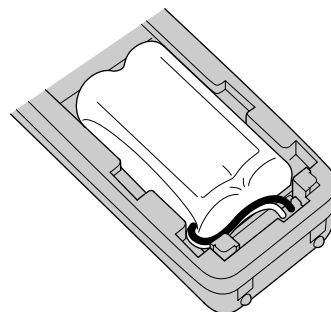


3 新しいバッテリーコネクターを差し込む

➡ コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

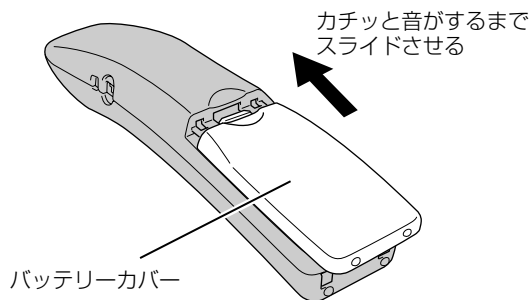


4 バッテリーを子機に入れる



5 バッテリーカバーを閉める

➡ バッテリーのコードを押し込み、カバーを閉めます。バッテリーコードをはさまないように注意してください。



- バッテリーを交換したら必ず15時間以上充電してください。
- バッテリーには充電式ニカド電池を使用しています。不要になったニカド電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
 - ・ 被覆をはがさないでリサイクル箱へ
 - ・ 分解しないでリサイクル箱へ



Ni-Cd

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

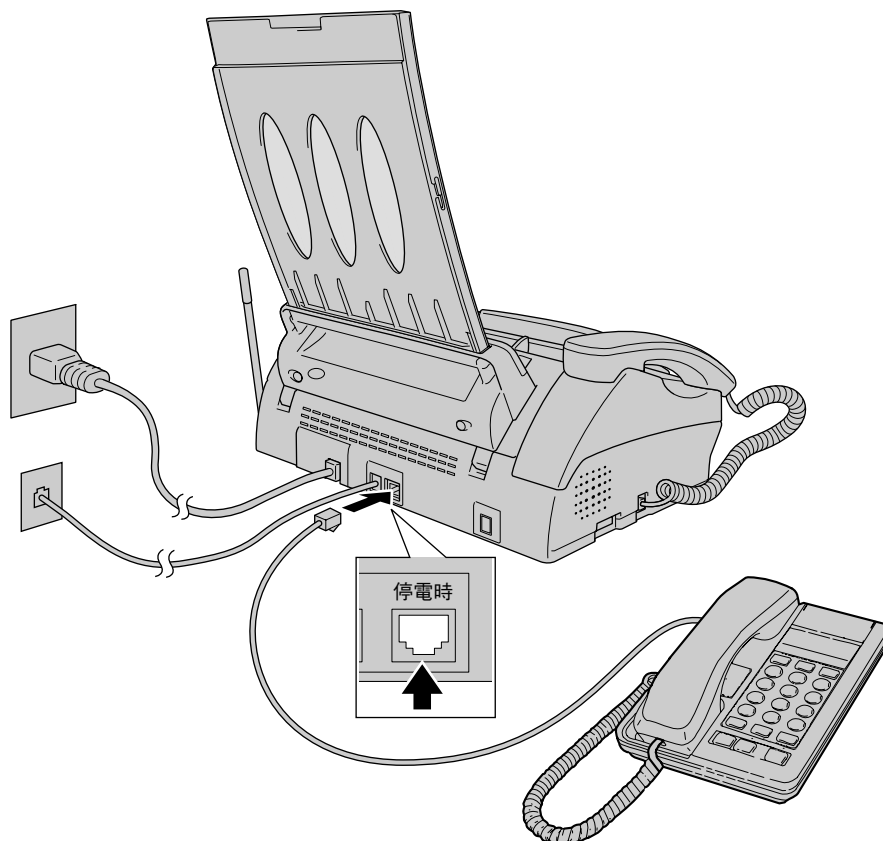
付
録

停電になったときは

本機は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。



- 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。



■ ナンバーディスプレイサービス、ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは

停電中に電話がかってくると、停電用電話機のみ、呼出音が短く 5～6 回鳴ります。その後、通常の呼出音に変わりますので、音が変わったら停電用電話機の受話器をとって電話を受けてください。

最初の短い呼出音のときに受話器をとると、通話できないことがあります。このときは、いったん受話器を戻し、再度呼出音が鳴ったら受話器をとってください



- 半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定してください。
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。



● 停電時のデータについて

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信記録（子機）、発信記録（子機）
数時間以上たつと消去されるデータ※	着信記録（親機）、発信記録（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、モーニングメロディ設定内容
停電後すぐ消去されるデータ	送信メモリー文書

※ただし、停電前に連続 1 週間以上、電源が入った状態にしておく必要があります。

- 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

ご使用の
前に

電
話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する


こんな
ときには

付
録

エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

■ 親機

ディスプレイ表示	原因	処置
相手先確認！	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
通信できませんでした！	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
カバーが開いています！ カバーを閉めてください	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを再度閉め直してください。
原稿を確認してください！ 原稿を取り除いて 停止ボタンを押してください	下記の原因で原稿がつまっている。 ・原稿が正しく挿入されていない ・原稿が正しく送信されていない ・原稿サイズが長い ・原稿受けが正しくセットされていない ・ハンドスキャナーが外れている	上カバーを開いて原稿を取り除きます。上カバーを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。(☎ 113 ページ) ハンドスキャナーが外れているときは、正しく本体にセットしてください。
原稿を確認してください！ カバーを開けて、原稿を 手前に引いてください		
装置確認！ カバーを開けてください	ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。	「お客様相談窓口0120-161170」へ連絡してください。
話し中／応答なし	相手が出ない。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
	相手が通信中（話し中）。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
記録紙がつまっています！ カバーを開け、記録紙を 取り除いてください	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。(☎ 114 ページ)
印刷できません！ ただ今、回復中です しばらくお待ちください	連続使用により記録部分が熱くなっている。	しばらく待ってください。回復すると待ち受け画面に戻ります。原稿がつまっているときは「停止ボタンを押してください」と表示されます。このときは、  を押してください。
リボンがなくなりました！ リボンを確認して、 新しいリボンと 交換してください	リボンがなくなった。	新しいリボンと交換してください。(☎ 115 ページ)
ダイヤルイン設定が まちがっています！ 設定を確認してください 停止ボタンを押してください	ダイヤルインサービスの登録番号が間違っている。	番号を NTT に確認して、もう一度登録し直してください。(☎ 81 ページ)
	ダイヤルインサービスに加入していない、またはサービスが開始されていないのにダイヤルインモードの設定が「親機／子機」または「電話／ファクス」になっている。	いったんダイヤルインモードの設定を「しない」にしてください。サービスが開始されたら、本機のダイヤルインモードの設定をしてください。(☎ 81 ページ)

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
は

付
録

ディスプレイ表示	原因	処置
メモリーがいっぱいです！ ファクスや留守録を 削除してください	空きメモリーが不足している。	46, 54 ページの手順にしたがって、メモリーに記憶されているメッセージを消去してください。
エラーが発生しました！ エラー番号：**** お客様相談窓口へ お電話ください	ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。	「お客様相談窓口0120-161170」へ連絡してください。
記録紙がありません 確認してください 〔再試行〕を押すと、 印刷を開始します	記録紙がない。 記録紙カバーが開いてる。	A4 サイズの記録紙を多め（50 枚以下）にセットし、記録紙カバーを閉じてから〔再試行〕を押してください。
回線種別が 設定できませんでした！	回線種別が設定できない。	12 ページの手順にしたがって、回線種別を設定してください。
スキャナーが外れています！ 入れ直してください 停止ボタンを押してください	ハンドスキャナーが外れているか、 正しくセットされていない。	ハンドスキャナーを正しくセットします。 (☞ 4 ページ)
携帯電話に接続されていません または、電源が入っていません 確認してください	ファクシミリ本体と携帯電話が正しく 接続されていないか、携帯電話の 電源が入っていない。	ファクシミリ本体と携帯電話を正しく 接続してください。 または携帯電話の電源を入れてく ださい。(☞ 101 ページ)

■ 子機

ディスプレイ表示	原因	処置
ジユウテン シテクガイ 《テンチコリナシ》	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、約 15 秒以内に <small>内線/クリア</small> (保通) を押して充電器に置き、親機を受話器を取って通話を続けてください。
オキニチカツ テクガイ 《ツウケンガイ》	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	約 15 秒以内に使用圏内に戻ってください。
テンソクテキマセン テータル マハ ツウシエラー	親機を使っているときに、子機で「メロディヨミコミ」を行った。	親機を待ち受け画面にした後で、もう一度「メロディヨミコミ」を行ってください。
テイキテキニ ジユウテンタンシヨ フイテクガイ	何らかの理由によりその他の操作ができなかった。	もう一度操作をし直してください。
	子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約 60 秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。（☞ 111 ページ） 充電器に子機を戻す、または (切) を押しと表示が消えます。

ご使用の

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス


活用する

こんな
ときには付
録

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「フリーダイヤル 0120 - 161170」へご連絡ください。

■ 親機／子機

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。(☎ 12 ページ)
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。(☎ 19 ページ)
	電話のベルの音が小さい	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。(☎ 19 ページ)
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。(☎ 20 ページ)
	相手に声が聞こえないと言われる	受話器の送話口(マイク)をふさいでいませんか。	送話口(マイク)をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない	まわりの音がうるさくないですか。	受話器を上げて、受話器で通話してください。(または、 <small>スピーカホン</small> (スピーカーホン) を押して受話器に切り換えてください。) 子機の場合は  を押して子機を持って話してください。
	ハンズフリー着信ができない(返事をしてもつながらない)	返事が短くないですか。	長く返事をしてください。(☎ 39 ページ)
		返事が小さくないですか。	大きな声で返事をしてください。 感度設定を高くしてください。(☎ 40 ページ)
		返事の声が高すぎませんか。	少し低い声で返事をするか、返事のしかたを変えてください。(例：おーい) (☎ 39 ページ)
	電話がかかってきても応答しない／着信メロディが鳴らない	着信回数は正しく設定されていますか。	受信モードに合わせて着信回数を設定します。
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプターの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		構内交換器に接続しているのに、ナンバーディスプレイの設定が「あり」になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を「なし」に設定してください。(☎ 70 ページ)
		ダイヤルインサービスに加入していないのに、ダイヤルインの設定が「親機／子機」または「電話／ファクス」になっていませんか。	ダイヤルインの設定を「しない」に設定してください。(☎ 81 ページ)
ドアホン通話中ではありませんか。		ドアホン通話中は、外線からの着信があっても、着信音やメロディが鳴らないことがあります。設定を確認してください。(☎ 108 ページ)	
内線通話中ではありませんか。		着信を設定していると、内線通話中に外線からの着信があっても、着信音が鳴らないことがあります。設定を確認してください。(☎ 108 ページ)	
着信音をベルやメロディに変更したが設定した着信音が鳴らない	ハンズフリー着信に設定されていますか？	ハンズフリー着信に設定した場合、設定したベルやメロディは鳴らず、「ベル1」が鳴ります。設定を確認してください。(☎ 40 ページ)	

ご使用前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときは

付録

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた	
電話	受話器からダイヤルトーンが聞こえない	☉ (親機のスピーカーホン) を押して、スピーカーホンからダイヤルトーンが聞こえていますか。	ダイヤルトーンが聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり差し込まれているか確認してください。聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。	
		電話機コードが正しく接続されていますか。	ターミナルアダプターの設定に誤りがあります。設定を確認してください。	
	通話中に突然ファクスに切り替わる	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 (☞ 61 ページ) ※このときは、ファクスは手動で受信します。(☞ 53 ページ)	
	キャッチホン 雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。 (☞ 13 ページ)	
	ダイヤル 正常に動作しない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。 (☞ 13 ページ)	
	ディスプレイ 電話番号が表示されない	並列接続していませんか。	正しく接続し直してください。 (☞ 13 ページ)	
	キャッチホン ディスプレイ キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホンディスプレイデータを受けられない	キャッチホンディスプレイの設定が「なし」に設定されていませんか。	キャッチホンディスプレイの設定を「あり」にします。(☞ 74 ページ)	
	子機	動作しない 着信音が鳴らない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 (☞ 15 ページ)
			バッテリーの残量がなくなっていますか。	バッテリーの充電をしてください。 (☞ 15 ページ)
			回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 (☞ 12 ページ)
着信音量が「OFF」になっていませんか。			着信音量を「OFF」以外に設定してください。 (☞ 19 ページ)	
親機から離れすぎていませんか。			呼出音が鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。	
近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。			電気製品などから離してください。	
親機で機能の設定・登録をしていませんか。			設定が終わるのを待ってください。	
親機でコピーをしていませんか。			コピーが終わるのを待ってください。	
親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。			
親機のアンテナと子機用ACアダプターのコードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。 (アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)			

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた		
電話	子機	通話が突然切れる	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を「しない」に設定してください。 (☞ 61 ページ) ※このときは、ファクスは手動で受信します。(☞ 53 ページ)	
		ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「[ハンズフリー]」が表示されている	☞ を押してください。		
		連続再ダイヤルができない	まわりがうるさすぎませんか。	まわりの電気製品のボリュームを下げたり、静かなところへ移動するなどして、もう一度連続再ダイヤルをし直してください。(☞ 31 ページ) 普通の再ダイヤルでかけ直してください。(☞ 31 ページ)	
		雑音が入りやすい	近くに電気製品や障害物はありませんか。(☞ 16 ページ) ※設置環境を確認してください。 (「子機の設置、使用範囲を確かめる」☞ 16 ページ)	親機のアンテナをのぼし、向きを前後/右側に変えてみてください。	親機の置き場所や向きを変えてみてください。
				親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)	親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)
				親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。	親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
				放送局、高圧線などが近くにありませんか。	親機の置き場所や向きを変えてみてください。
			自動車、オートバイ、飛行機が近くを通過していませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。または、一時的に親機をご使用ください。	
			蛍光灯のスイッチを「入」「切」していませんか。		
			ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。
		相手の声が聞こえにくい	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。	
		相手から聞こえないと言われる	送話口(マイク)をふさいでいませんか。	受話口、送話口(マイク)をふさがないでください。	
		子機の呼出音が遅れて鳴る	故障ではありません。 (電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。)	そのままお使いください。	
		充電器に置いても「[充電完了]」と表示しない	充電器の子機用 AC アダプターは確実に差し込まれていますか。		
			充電台に正しく置かれていますか。	ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。	
充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。 (☞ 111 ページ)				
電池を交換していませんか。	新しい電池はバッテリーが完全に消耗していることがあります。このときは、充電台に置いて約 1 分後には「[充電完了]」と表示されます。表示されたら約 15 時間充電してください。				
子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。				

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときは

付録

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときは

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
子機 (警告音)	充電器からとったり、 ^① 外線押すと、「ピーピーピー」と鳴り、 ^② 外線が消灯する。	親機や他の子機を使用していませんか。 親機から離れすぎではありませんか。 電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。 親機の近くに (通話圏内) に戻ってください。 通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音 (ピッピッピッ…) が鳴り、ディスプレイに「バッテリーが少なくなっています」と表示される	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 (☎ 118 ページ) バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、ACアダプターの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください (☎ 15 ページ)
	警告音 (ピッピッピッ) が鳴り、ディスプレイに「充電端子が汚れています」と表示される	充電端子が汚れていませんか。 充電台から子機を取り、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。 (☎ 111 ページ) 子機を充電台に戻してください。
	通話中に警告音 (ピッピッピッ) が鳴る	子機で通話中に電波の届かない所に出ていますか。	親機の近く (通話圏内) に戻ってください。
	通話中に警告音 (ピッピッピッ…) が鳴る	バッテリーが少なくなっていますか。	通話を終了して子機を充電台に戻してください。 通話を保留にして子機を充電台に戻し、親機で通話を続けてください。
	留守番電話	外出先からの操作ができない	トーン信号 (ピッポッパッ) が出せる電話機からかけていない。
メッセージが録音の途中で切れている		録音中に 8 秒以上無音が続いた。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
メッセージが録音できない		メモリー容量がいっぱいになっている。	音声メッセージを消去してください。 メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを削除してください。
ADSL 回線	以前に比べて自分の声が響いたり、相手の声が聞きにくい	ADSL のスプリッタが影響している可能性があります。	ADSL 回線のスプリッタを交換すると改善する場合があります。 スプリッタの製造メーカーにお問い合わせください。
	通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなる	ADSL 回線を使用して、並列接続をしていませんか。	並列接続をしないでください。
ISDN 回線	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい	ISDN 回線の TA (ターミナルアダプター) に接続していませんか。	TA に受話音量の設定がある場合には、受話音量「小」に設定してください。また、本機を受話音量を小さくしてください。(☎ 20 ページ)
	電話がかかけられない	回線種別が「プッシュ回線」に設定されていない。 本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。(☎ 12 ページ) 「使用する」に設定してください。
	電話を受けてもベルが鳴らない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。 契約回線番号、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
	本機が接続されているアナログポートに 1 ~ 2 回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ~ 2 回おきにしか着信できません。	

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	ISDN回線	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。
		本機を接続しているアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」	ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 ダイヤルイン番号、または i・ナンバーを登録する サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」
		ターミナルアダプターの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係 (113) へご連絡ください。	
		契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。
			グローバル着信は「しない」に設定してください。
ファクス/コピー	特定の相手とファクス通信できない	「お客様相談窓口 0120-161170」へご連絡ください。	
	ファクス送受信ができない (電話も使えない)	ターミナルアダプターの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係 (113) へご連絡ください。回線に異常がなければ、「お客様相談窓口 0120-161170」へご連絡ください。	
	スタートボタンを押しても送信 / 受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿を外して受信します。 (☎ 52 ページ)
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。
		スタート (スタート) を押す前に、受話器を戻していませんか。	スタート (スタート) を押してから受話器を戻します。(☎ 53 ページ)
	回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 (☎ 12 ページ)	
受信したファクスの同じページを何度も印刷する	A4 サイズの記録紙を多め (50 枚以下) にセットしていますか。	A4 サイズの記録紙を多め (50 枚以下) にセットしてください。	

ご使用前に

電話

ファクス

コピー


オプションサービス

活用する

こんなときは

付録

ご使用の前に
電話
ファクス
コピー
オプションサービス
活用する
こんなときは

	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。(P.111 ページ)
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整します。(P.84 ページ)
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。(P.78 ページ)
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、または上カバーを正しくセットします。(P.114 ページ)
		記録紙がなくなっていないですか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	つまった記録紙を取り除きます。(P.114 ページ)
		記録紙がつまっていますか。	
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。	
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。(P.64 ページ)
	きれいに受信できない	電話回線の接続が悪いため起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか(うすい、かすれなど)。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
きれいにコピーできない	読取部が汚れていませんか。	読取部を清掃してください。(P.111 ページ) それでもきれいに印刷できないときは、黒線消去を行なってください。(P.110 ページ)	
記録紙が重なって送り込まれる	紙をほぐして入れ直してください。(P.14 ページ)		
B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。		
自動受信できない	着信回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは着信回数を6回以下に、留守モードのときは着信回数を2回以下に設定してください。(P.22、53、89 ページ) または  (スタート) を押して手動で受信してください。	
構内交換器に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、「お客様相談窓口0120-161170」にご連絡ください。		
原稿	原稿が繰り込まれていかない	原稿受けを使用していますか。	原稿を正しくセットします。(P.52 ページ)
		原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	
		上カバーは確実に閉まっていますか。	使用できる原稿を確認してください。(P.130 ページ)
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	
	原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。		
	原稿が小さすぎませんか。		
	原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	つまった原稿を取り除きます。(P.113 ページ)	
原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。	原稿を正しくセットします。(P.52 ページ)	
	原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	つまった原稿を取り除きます。(P.113 ページ)	
その他	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。(雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。)

■ ハンドスキャナー

こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
読み取りができない	ハンドスキャナー裏側のローラーにテープや異物がはさまっていませんか。	テープや異物を取り除いてください。
コピー(プリント出力)できない	本体の記録紙がなくなっていないですか。	記録紙を補給してください。 (☞ 14 ページ)
読み取り中に ^{スタート} ボタンを押していないのに読み取りが終了してしまう	読み取る長さが 90cm 以上になっていませんか。	読み取る長さが 90cm を超えると、自動的に読み取りを停止します。90cm 未満に分けて読み取ってください。
	メモリーがいっぱいになっていませんか。	不要なデータを消去してください。 (☞ 46 ページ)
	読み取りに 3 分以上の時間をかけていませんか。	読み取り時間が 3 分を超えると、自動的に読み取りを停止します。
	読み取り中に 15 秒以上ハンドスキャナーを止めていませんか。	ハンドスキャナーを動かさないと、自動的に読み取りを停止します。
コピー/送付した文書に黒い線が出る	原稿読み取り面のガラス面が汚れていませんか。	汚れを拭き取ってください。 (☞ 111 ページ)
	本体の記録部が汚れていませんか。	汚れを拭き取ってください。 (☞ 112 ページ)
ファクス送信/プリントした文書がぼやけたり、黒くなる	ハンドスキャナーを原稿に密着させて読み取っていますか。	原稿に押しあてて動かしてください。ハンドスキャナーをまっすぐに動かすににくいときは、厚手の定規などを置き、それにハンドスキャナーの左端をそわせて動かしてください。(☞ 65 ページ)
	原稿の上から読み取りを開始しましたか。	読み取りを始める時に、ハンドスキャナーの読取開始位置が読み取る原稿からはみ出していると、文書がぼやけたり、黒くなることがあります。
	正しく操作しても文書がぼやけたり黒くなったりする場合は、「黒線消去」を行ってください。(☞ 110 ページ)	
読み取ったつもりの読み始めの部分が読み取られていない	読取中ランプが点滅してからハンドスキャナーを動かしましたか。	読取開始位置が正しいかどうかを確認してから、ハンドスキャナーを動かしてください。(☞ 65 ページ)
	厚みのある原稿の端の部分から読み取りを始めるときに、ハンドスキャナーの裏側のローラーが原稿からはずれていませんか。	ローラーの下に原稿と同じ高さの本などを敷いて段差をなくし、ローラーが回るようにしてから読み取ってください。
読み取った文書の上下左右が反対に読み取られる	ハンドスキャナーを動かす方向が逆になっていませんか。	ハンドスキャナーに表示されている矢印の方向に動かしてください。 (☞ 65 ページ)

ご使用前に

電話

ファクス

コピー

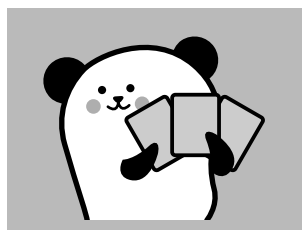
オプションサービス

活用する

こんなときは

付録

第8章



付 録

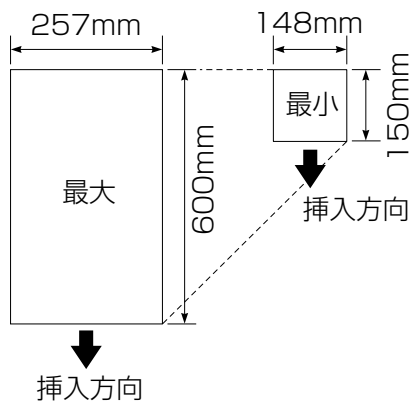
原稿について	130
原稿のサイズと紙厚.....	130
原稿の読み取り範囲.....	130
使用できない原稿.....	130
機能一覧	131
親機.....	131
子機.....	135
主な仕様	136
親機.....	136
子機.....	137
消耗品などのご注文について	138
リモコンアクセスカード	140
索引	142

原稿について

セットできる原稿のサイズと厚さは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿を使うときは、複写機で拡大・縮小コピーをするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてセットしてください。

● 原稿のサイズと紙厚

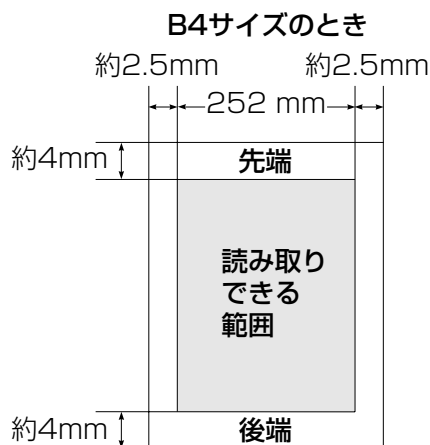
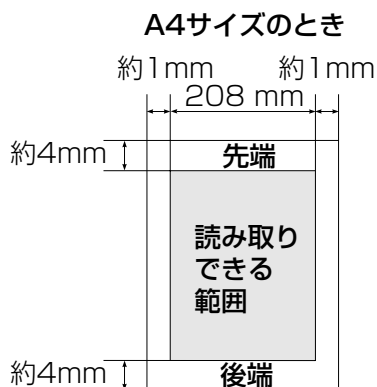
使用できる原稿のサイズや厚みは次の通りです。



- **最大原稿サイズ**：257（幅）× 600（長さ）mm
長さが 400mm 以上の原稿は手で支えながら送信してください。
- **最小原稿サイズ**：148（幅）× 150（長さ）mm
- **紙厚**：0.08 ～ 0.10mm
- **重量**：64g/m² ～ 81.4g/m²（55 ～ 70kg 紙）
（この取扱説明書に使用されている用紙は 64g/m²（55kg 紙）です。）

● 原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたとき、読み取ることのできない範囲がありますので、ご注意ください。
また、読み取ることのできる範囲は、原稿の紙質、紙厚、および原稿をセットした状態などにより変化する場合があります。



● 使用できない原稿

次のような原稿をセットすると原稿がつまったり破れたりすることがあります。必要な処置をしてセットしてください。

セットできない原稿	処置
ステープラーの針やクリップのついた原稿	ステープラー、クリップをはずしてください。
そり、折れ、しわのある原稿	たいらにするか、複写機でコピーしてください。
・ 穴、破れのある原稿 ・ 貼り合わせた原稿 ・ アート紙、銀紙、カーボン紙など表面が加工された原稿 ・ インデックス、付せんなどはみ出た部分がある原稿 ・ 登記書のように薄くてやわらかい原稿 ・ 官製はがきのように厚い原稿 ・ 本のようにとじてある原稿 ・ つるつるすべる原稿	キャリアシートを使うか、複写機でコピーしてください。
朱肉、修正液、インクなどが乾いていない原稿	完全に乾かしてください。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

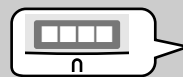
コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



本機で設定できる機能や設定は次のようになります。
ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

● 親機

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
初期登録	回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線 10PPS 20PPS 自動設定	1あ 1あ	12 ページ
	日時設定	現在の日付と時刻を登録します。	02年 01月 01日 00時 00分	1あ 2かABC	17 ページ
	発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前やファクス番号、電話番号を登録します。	—	1あ 3きDEF	18 ページ
	キー確認音	操作パネルのキーにタッチしたときのタッチ音の音量を設定します。	切 小 大	1あ 4たGHI	19 ページ
	みるだけ受信	ファクスの内容をディスプレイで確認します。	する しない	1あ 5なJKL	61 ページ
	ユーザー辞書登録	変換してもすぐに出てこない単語などを登録します。	—	1あ 6はMNO	99 ページ
	画面の明るさ	ディスプレイの表示濃度を調整します。	—	1あ 7まPQRS	93 ページ
受信設定	着信回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに着信音を鳴らす回数を設定します。 (詳しい設定回数については 21、22 ページを参照してください。)	在宅モード (0～(8回)～15回・無制限) 留守モード (0～(2回)～07回・トールセーバー)	2かABC 1あ	89 ページ
	親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	する しない	2かABC 2かABC	61 ページ
	A4自動縮小受信	A4 サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する / しないを設定します。	する しない	2かABC 3きDEF	61 ページ
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	—	2かABC 4たGHI	61 ページ
	在宅応答切替	在宅時の応答メッセージを切り替えます。	メッセージ ベル	2かABC 5なJKL	89 ページ

操作を途中で中止するときは、 を押します。



ご使用の
前に

電話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

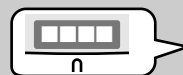
こんな
ときには

付
録

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
送信設定	送付書付き送信	ファクスを送信するとき、「送付書」を付ける／付けないを設定します。	いつも付けない いつも付ける 今回のみ付けない 今回のみ付ける		57 ページ
	送付書コメント登録	「送付書」に印刷するコメントを作成します。(2 種類のオリジナルコメントを登録できます。)	1. コメントなし 2. お電話ください 3. 至急 4. 親展 5. (ユーザー設定) 6. (ユーザー設定)		57 ページ
	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	濃く 普通 薄く		84 ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	する しない		55 ページ
	電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	する しない		55 ページ
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	—		55 ページ
待機一覧	タイマー送信やタイマーポーリング受信の設定を解除します。	—		59 ページ	
リストプリント	送信レポート	ファクス送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	出力する エラーのみ出力 出力しない		95 ページ
	通信管理レポート	最新の通信結果をプリントします。(送信、受信合わせて 30 件です。)	出力しない 出力間隔 (6/12/ 24 時間ごと、2/ 4/1 週間ごと)		95 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録した内容を 50 音順にプリントします。	—		95 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。	—		95 ページ
	メモリー使用状況リスト	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況をプリントします。	—		97 ページ
	消耗品オーダーシート	リボンカートリッジなどの消耗品を注文するオーダーシートをプリントします。	—		97 ページ
	一括送信レポート	一括送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	出力する エラーのみ出力		97 ページ
	機能案内リスト	本機の機能案内リストをプリントします。	—		97 ページ

操作を途中で中止するときは、 を押します。

ご使用の
前に電
話フ
ァ
ク
スコ
ピ
ーオ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス活
用
す
るこ
ん
な
と
き
に
は付
録



このボタンを示しています。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
留守録設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ(留守応答1、留守応答2)、在宅応答メッセージ(在宅応答)の録音/再生/消去をします。	留守応答1 留守応答2 在宅応答		91 ページ
	録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 秒 60 秒 120 秒 180 秒		89 ページ
	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる/聞こえないを設定します。	する しない		89 ページ
	暗証番号設定	外出先から本機を操作するための、暗証番号を設定します。	暗証番号：---*		47 ページ
	転送	メッセージを受信したとき、「用件転送」や「ファクス転送」をするための設定をします。	しない ファクス 留守録		49 ページ
メロディメニュー	着信音	着信音の鳴りかたを設定します。	ベル1 ~ベル4 メロディ1 ~メロディ50		85 ページ
	保留メロディ	保留音の鳴りかたを設定します。	メロディ1 (いつも何度でも) ~メロディ50		85 ページ
	モーニングメロディ	モーニングメロディの鳴りかたと時刻を設定します。	する しない ベル1 メロディ1 ~メロディ50		94 ページ
	子機転送ジャンル	子機にメロディを登録するときに、あらかじめ転送する曲のジャンルを設定します。	楽しい POPS/ アニメ 季節/イベント 童謡/その他 癒しのクラシック 元気が出るクラシック		87 ページ
ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	NTT のナンバーディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	あり なし		70 ページ
	着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	すべて 親機 子機1~子機4 ファクス 迷惑指定		71 ページ
	非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する しない		73 ページ
	公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する しない		73 ページ
	着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる/聞こえないを設定します。	する しない		74 ページ
	キャッチホンディスプレイ	NTT のキャッチホンディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	あり なし		74 ページ

操作を途中で中止するときは、 を押します。



ご使用の前に

電話

ファクス







コピー

オプションサービス


活用する

こんなときには

付録

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
その他のサービス	ダイヤルイン	NTT のダイヤルインサービスを使用する / しないを設定します。	する しない	  	81 ページ
	携帯データ転送 (別売り品)	携帯電話に電話帳のデータを転送したり、携帯電話のデータを電話帳に取り込んだりします。	—	  	103 ページ



操作を途中で中止するときは、 を押します。

ご使用の
前に電
話フ
ァ
ク
スコ
ピ
ーオ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス活
用
す
るこ
ん
な
と
き
に
は付
録

● 子機

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	操作	参照 ページ
電話帳登録	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	—	機能/確定	35 ページ
電話帳変更	電話帳に登録した内容を変更・消去します。	—	機能/確定	35 ページ
電話帳転送	子機に登録した電話番号を、親機へ転送できます。	—	機能/確定	37 ページ
着信音選択	着信音を選択します。 ※メロディ 4 ~ 7 は親機から読み込んだメロディです。	ベル メロディ 1 メロディ 2 メロディ 3 メロディ 4 ~ 7	機能/確定	85 ページ
発信記録クリア	発信記録の内容をすべて消去します。	—	機能/確定	32 ページ
着信記録クリア	着信記録の内容をすべて消去します。	—	機能/確定	77 ページ
メロディ読み込み	親機に登録されているメロディを子機に読み込みます。	—	機能/確定	87 ページ
画面の明るさ	ディスプレイの明るさを設定します。	1 ~ 7 (4)	機能/確定	93 ページ
キー確認音	キータッチ音を鳴らす／鳴らさないを設定します。	ON OFF	機能/確定	19 ページ

操作を途中で中止するときは、 を押します。



メモ

ご使用
前に

電
話

ファ
クス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

主な仕様

● 親機

形式	送受信兼用卓上型 G3 機
圧縮方式	MH (モディファイドハフマン)
電送時間 *1	約 9 秒
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 BPS (自動フォールバック方式)
原稿サイズ幅	最大：257mm、最小：148mm
最大有効読取幅 *2	252mm
最大有効記録幅	205mm
記録紙サイズ	210mm × 297mm (A4 普通紙)
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
最大読取枚数 *3	約 30 枚
ハーフトーン	64 階調 (誤差拡散方式)
走査線密度	主走査：8 ドット / mm 副走査：3.85 本 / mm (普通字) 7.7 本 / mm (細かい字 / 写真) 15.4 本 / mm (精細字 / 写真)
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網 (16Hz のみ対応)
総録音可能時間 *4	約 30 分
メモリー記憶枚数 *4	約 60 枚
使用環境	温度：5 ~ 35 °C、湿度：45 ~ 80%
電源	AC100V ± 10V 50 / 60Hz
消費電力 *5	待機時：約 3.8W ピーク時：約 170W コピー時：約 19.4W ファクス送信時：約 9.5W ファクス受信時：約 16.8W
直流抵抗値	254Ω
外形寸法	341.5 (横幅) × 208 (奥行き) × 141.5 (高さ) mm (アンテナ部、記録紙トレイ、ダストカバー、その他突起部を除く) 実設置寸法：350.5 (横幅) × 264 (奥行き) × 377.5 (高さ) mm
質量	約 3.5kg (ハンドスキャナー、リボンカートリッジ含む)

*1：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット × 3.85 本 / mm) で高速モード (14400bps) で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2：B4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。

*3：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット × 3.85 本 / mm) で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。

*4：録音可能時間やメモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。(例えば、ファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。)

*5：コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会 No.4 チャートを使用。(常温、常湿にて測定)

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

● 子機

	コードレス電話機	充電器
使用可能距離	見通し距離約 100m	-
充電完了時間	約 15 時間	-
使用可能時間 (充電完了後)	待機状態：約 110 時間 連続通話：約 6 時間	-
使用環境	温度：5～35℃、湿度：45～80%	
電源	DC2.4V (子機用バッテリー使用)	AC100 ± 10V 50 / 60Hz
消費電力	-	約 2W 以下 (充電時)
外形寸法	42.8(横幅) × 37.1(奥行き) × 182.1(高さ)mm	67(横幅) × 100(奥行き) × 111(高さ)mm
質量	約 150g (子機用バッテリーを含む)	約 106g

ご使用
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
プ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

消耗品などのご注文について

- ・ 消耗品につきましては、お買い上げの販売店・家電量販店にてお買い求めいただくか、インターネット（弊社ホームページ）、お電話、オーダーシートによる FAX などの方法でご注文頂けます。
- ・ ご注文いただきました商品は、受付け終了後（振り込みの場合は入金確認後）通常 3 日程度（土・日・祝日、長期休暇を除く）で宅配便にて発送させていただきます。
- ・ 送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。5,000 円未満の場合は 500 円の送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- ・ 銀行／郵便振込時の振り込み手数料はお客様負担となります。お振込みの場合は、ご入金確認後の商品発送となります。（銀行／郵便局備え付けの振り込み用紙等からお振り込みください。）
- ・ カードでのお支払いの場合は、カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。
- ・ 配送先が離島の場合、代引きによるお支払はご利用できません。
- ・ 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

ご注文先

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
インターネット：<http://www.brother.co.jp/direct/>
住所：〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL：052-824-3414
FAX：052-825-0311
お客様ご注文窓口：0120-118825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～17 時）
振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行 上前津（カミマエツ）支店 普通 6428357
郵便：振り込み番号 00860-1-27600

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

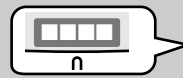
コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録



このボタンを示しています。

● 消耗品オーダーシートを印刷する

本機では「消耗品オーダーシート」を印刷することができます。「詰め替え用リボン」などの消耗品をご注文いただくときはあらかじめ印刷しておかれると便利です。

ご使用の前に

電話

ファクス

コピー

オプションサービス

活用する

こんなときには

付録

1 **機能** 0 [機能] → [5.リスト出力] → [6.消耗品オーダーシート] を押す

2 記録紙をセットする

3 **開始** 0 [開始] を押す

終了

※本機からプリントすることができます。

(キリトリ線)

消耗品オーダーシート				
ブラザー販売(株) 情報機器事業部 ダイレクトクラブ 行 FAX: 052-825-0311 (お客様住所) 〒				
(お名前)		(TEL)	(FAX)	
(お支払い方法) 1)銀行前振込 2)郵便前振込 3)代引き 4)カード				
(カード種類) 1)VISA 2)JCB 3)UC 4)DINERS 5)CF 6)Master 7)JACCS				
(カード名義人名)		(有効期限)	年	月
(カードNo.)				
品名	部品コード	単価(税別)	ご注文数	金額
カセット付きリボン1個入り PC-451 *1	LE5253001	1,900円		
詰め替え用リボン1本入り PC-400RF *1	LE4957001	1,280円		
詰め替え用リボン4本入り PC-404RF *1	LE4991001	4,500円		
増設子機 BCL-500S (シルバー)	5XX20100101	16,000円		
子機用バッテリー BCL-BT	UF8731-001	1,600円		
携帯電話接続ケーブル	5XX30100101	1,750円		
			小計	
			配送料 *2 (どちらかに○を付けて下さい) ●小計が5,000円未満→ 500円 ●小計が5,000円以上→ 0円	
			合計 (小計+配送料)	
			消費税 *3 (合計×0.05)	
			総合計	
振込先: □座名義: ブラザー販売株式会社 銀行: 三井住友銀行 上野津(カミマエツ)支店 普通6428357 郵便: 振込番号 00860-1-27600				
日頃からブラザーファクスをご愛用頂きまして、誠にありがとうございます。 インターネットをご利用されているお客様は、URLにてブラザーダイレクトクラブにアクセスできます。 (URL) http://www.brother.co.jp/direct/ URLにて直接消耗品をご注文頂けます。 ぜひ一度ご覧ください。				

- *1: リボン1本あたりの長さはA4サイズ約144枚分です。
- *2: 配送料は変わる可能性があります。
- *3: 消費税は変わる可能性があります。
- ※ お振込の場合はご入金確認後の商品発送となります。

リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合（☎ 47 ページ）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。
その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。
その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、**(#)**、**(*)**、暗証番号を入力します。
3. 暗証番号を入力すると、「ピー」という受付音が鳴り、「録音メッセージは〇〇件です」というガイダンスが聞こえます。
その後、「リモコンコードを入れてください。」というガイダンスが聞こえます。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、「番号が間違っています。リモコンコードを入れてください」というガイダンスが聞こえますので、もう1度やり直してください。

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

〈キリトリ線〉

リモコンコード		
操作内容	ボタン操作	
音声のメッセージを再生	91 (※4)	
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)	
送り (再生中から送り)	912 (91+2)	
ボイスメモを録音	92 (※1、※4)	
音声メッセージを消去 (※2)	93	
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420 (※1、※4)
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421 (※1、※4)
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422 (※1、※4)
留守録転送、 ファクス転送の設定変更	しない	951
	ファクス転送	952 (※5)
	留守録転送	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##	
留守録転送番号の登録・変更	955+転送番号入力+##	

操作内容	ボタン操作	
みるだけ受信の設定	する	956
	しない	957
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (※3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了	90	

- ※1: リモコンコード入力後、録音します。
 ※2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないが、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
 ※3: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
 ※4: 中止するときは[9]を入力してください。
 ※5: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

リモコンコード		
操作内容	ボタン操作	
音声のメッセージを再生	91 (※4)	
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)	
送り (再生中から送り)	912 (91+2)	
ボイスメモを録音	92 (※1、※4)	
音声メッセージを消去 (※2)	93	
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420 (※1、※4)
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421 (※1、※4)
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422 (※1、※4)
留守録転送、 ファクス転送の設定変更	しない	951
	ファクス転送	952 (※5)
	留守録転送	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##	
留守録転送番号の登録・変更	955+転送番号入力+##	

操作内容	ボタン操作	
みるだけ受信の設定	する	956
	しない	957
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (※3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了	90	

- ※1: リモコンコード入力後、録音します。
 ※2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないが、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
 ※3: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
 ※4: 中止するときは[9]を入力してください。
 ※5: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

〈キリトリ線〉

リモコンコード		
操作内容	ボタン操作	
音声のメッセージを再生	91 (※4)	
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)	
送り (再生中から送り)	912 (91+2)	
ボイスメモを録音	92 (※1、※4)	
音声メッセージを消去 (※2)	93	
留守応答メッセージ1	再生	9410
	録音	9420 (※1、※4)
留守応答メッセージ2	再生	9411
	録音	9421 (※1、※4)
在宅応答メッセージ	再生	9412
	録音	9422 (※1、※4)
留守録転送、 ファクス転送の設定変更	しない	951
	ファクス転送	952 (※5)
	留守録転送	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##	
留守録転送番号の登録・変更	955+転送番号入力+##	

操作内容	ボタン操作	
みるだけ受信の設定	する	956
	しない	957
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (※3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了	90	

- ※1: リモコンコード入力後、録音します。
 ※2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないが、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
 ※3: 「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
 ※4: 中止するときは[9]を入力してください。
 ※5: 転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。

ご使用の
前に

電
話

ファクス

コピー

オプション
サービス

活用する

こんな
ときには

付
録

索引

A ~ Z, α

A4 自動縮小受信	61
ADSL	105
ISDN	105
PC モデム	105
PHONE 端子	105

あ

アース端子	4
暗証番号設定	47
アンテナ	3
一括送信	59
エラーメッセージ	120
応答メッセージ	91
押しボタン式	12
お手入れ	111
親機専用番号	80
音声メッセージ	46
音量	19

か

海外送信	55
回線種別	12
回線接続端子	3
回転ダイヤル式	12
拡大・縮小コピー	63
画質	84
カートリッジ付リボン	115
キー確認音	19
機能案内リスト	97
機能/確定ボタン	9
キャッチボタン	5, 9
キャッチホン	78
キャッチホンディスプレイサービス	74
記録紙	
記録紙	14, 114
記録紙カバー	3
記録紙挿入口	3
記録紙トレイ	3
記録紙排出口	3
黒線消去	110
携帯電話	105
携帯電話接続端子	3
原稿	
原稿について	130
原稿受け	3
原稿ガイド	3
原稿挿入口	3
原稿のサイズと紙厚	130
原稿の読み取り範囲	130
原稿排出口	3
原稿読取部	4, 111
交換	
カートリッジ付きリボンの交換	115
子機のバッテリーの交換	118
リボンの交換	117
公衆電話拒否機能	73
子機	
子機	9
子機間通話	43
子機間通話ボタン	9
子機専用番号	80
子機にメモディを転送する	87
故障	122
コピー	63
コピーボタン	5

さ

再生/録音ボタン	6
再ダイヤル	
再ダイヤル(親機)	29
再ダイヤル(子機)	31
再ダイヤル/P/文字切替ボタン	9
再ダイヤル/ポーズボタン	6
自動受信	53
ジャンル	86
充電	15
充電端子	111
縮小コピー	63
受信	
受信のしかた	21
受信の設定	89
主番号	80
受話音量	20
受話器	
受話器	3
受話器コード	3
受話器接続端子	3
仕様	136
消去/キャッチボタン	6
消耗品オーダーシート	139
初期設定	17
親切受信	61
スタートボタン	5
スタック	63
スピーカー	
スピーカー音量	20
スピーカーと受話口	9
スピーカーホンボタン	6, 9
清掃	111
接続	10
設定内容リスト	95
選択ボタン	5
操作パネル	5
送信	
送信設定の解除	59
送信レポート	95
送付書送信	57
ソート	53

た

タイマー送信	55
ダイヤルインサービス	80
ダイヤルボタン	6, 9
着信	
着信音	85
着信鳴り分け機能	71
着信音量	19
着信回数	89
着信拒否	73
着信拒否モニター	74
着信記録	75, 77
着信記録機能	68
着信記録ボタン	9
著作権	vi
通信管理レポート	95
通話のとき	41
詰め込みコピー	63
停止ボタン	5
ディスプレイ	
ディスプレイ(親機)	7
ディスプレイ(子機)	9
ディスプレイの明るさ	93
停電になったとき	119
停電用電話機接続端子	3
適合ドアホン一覧	107

ご使用の
前に

電
話

フ
ァ
ク
ス

コ
ピ
ー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

デモ画面.....	11
電源コード.....	3
電話	
電話.....	27
電話専用番号.....	80
電話帳検索（親機）.....	29
電話帳検索（子機）.....	31
電話帳転送.....	37
電話帳登録（親機）.....	33
電話帳登録（子機）.....	35
電話帳リスト.....	95
電話番号表示機能.....	68
電話予約.....	55
ドアホン.....	106
トールセーバー.....	21
トーン信号.....	82
トーンボタン.....	6, 9
取手部.....	4
取り次ぐ.....	41

ご使用の
前に

電
話

ファ
クス

コ
ピー

オ
フ
シ
ョ
ン
サ
ー
ビ
ス

活
用
す
る

こ
ん
な
と
き
に
は

付
録

内線.....	43
内線番号.....	44
名前表示機能.....	68
ナンバーディスプレイサービス.....	68
日時設定.....	17
ネームディスプレイ.....	69
濃度.....	84

な

は

パソコン.....	105
発信記録（親機）.....	30
発信記録（子機）.....	32
発信元登録.....	18
バッテリー（子機）.....	15
バッテリーカバー.....	15
バッテリー交換（子機）.....	119
ハンズフリー.....	39
ハンズキャナー	
ハンズキャナー.....	4
ハンズキャナーで読み取った内容を送信.....	59
ハンズキャナーを使う.....	65
非通知着信拒否機能.....	68
ファクス	
ファクス一覧.....	54
ファクス転送.....	49
ファクスメッセージ.....	46
ファクスを受ける.....	53
ファクスを送る.....	52
複数枚コピー.....	62
副番号.....	80
付属品.....	2
ブランチ接続.....	13
並列接続.....	13
傍受.....	16
ホームテレホン.....	13
ポーズ.....	23, 25
ポーリング受信.....	61
保守用端子.....	3
保留	
保留.....	27, 42
保留ボタン.....	6, 9
保留音.....	85

ま

マイク.....	3, 9
待ち受け画面.....	7
マルチコピー.....	63
マルチセレクトボタン.....	5, 9
みるだけ受信.....	61
迷惑電話防止機能.....	68
メッセージ.....	46
メッセージの録音時間.....	89
メモリー	
メモリー使用状況リスト.....	97
メモリー送信.....	59
メロディー一覧.....	86
モーニングメロディ.....	93
文字の入れかた（親機）.....	23
文字の入れかた（子機）.....	25

や

ユーザー辞書登録.....	99
読取開始位置.....	4

ら

リスト.....	95
リボンカウンタ.....	11
リボン交換.....	117
リモコン	
リモコンアクセス.....	47
リモコンアクセスカード.....	46
リモコンコード表.....	47
留守	
留守.....	28
留守番機能.....	45
留守ボタン.....	6
留守録転送.....	49
留守録モニター.....	89
レバー.....	3
レポート.....	95
連続再ダイヤル（子機）.....	31
録音.....	41

お客様相談窓口 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のお客様相談窓口にお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9：00～午後7：00

営業日 月曜日～土曜日

(日・祝日および当社(ブラザー販売(株))休日は休みとさせていただきます。)

ダイレクトクラブにて消耗品のファクス注文受付中！

ファクス番号：052-825-0311

(消耗品オーダーシートは親機からプリントできます。)

本文139ページ参照

- 純正品のブラザーリボンをご使用いただいた場合のみ機能・品質保証されます。

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。